

令和7年度 三田市市民意識調査
調査結果報告書

令和7年10月
三田市

目次

I 調査概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査内容.....	1
3. 調査方法.....	2
4. 標本誤差.....	3
5. 報告書の見方.....	4
6. 設問の構成とまとめ.....	5
II 調査結果.....	8
1. 回答者の属性.....	8
2. まちづくりや市政全般について.....	17
(参考) 調査票.....	63

I 調査概要

1. 調査目的

この調査は、市民生活での基本的な意識について把握することにより、第5次三田市総合計画の進捗確認、今後の施策運営の基礎資料を得ることを目的としています。

2. 調査内容

(1) 回答者の属性

- 問1 居住地区
- 問2 年齢
- 問3 世帯構成
- 問4 家族構成員
- 問5 職業
- 問6 通勤、通学先

(2) まちづくりや市政全般について

- 問7 日常生活での健康づくりの取り組み状況
- 問8 週一回以上の運動やスポーツの取り組み状況
- 問9 「かかりつけ医」の有無
- 問10 広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等の閲読状況
- 問11 隣近所との困った時の助け合い
- 問12 隣近所との付き合いの程度
- 問13 地域活動への参加状況
- 問14 三田市のまちづくりへの関心度
- 問15 三田市のまちづくりで関心のある分野
- 問16 三田市のまちづくりに関心がない理由
- 問17 よりよい三田のまちのための取り組み状況
- 問18 よりよい三田のまちのために行っている事例
- 問19 今後の三田市での居留意向
- 問20 転出・転居したい理由
- 問21 人権問題の解決に向けての自分の努力
- 問22 三田市役所に対する信頼の程度
- 問23 三田市役所を信頼できない理由
- 問24 三田市に住んでいる理由
- 問25 三田市に住んでいてよかったと思うこと
- 問26 「住みたいまち」として重視すること
- 問27 第5次総合計画で定める施策の満足度・重要度

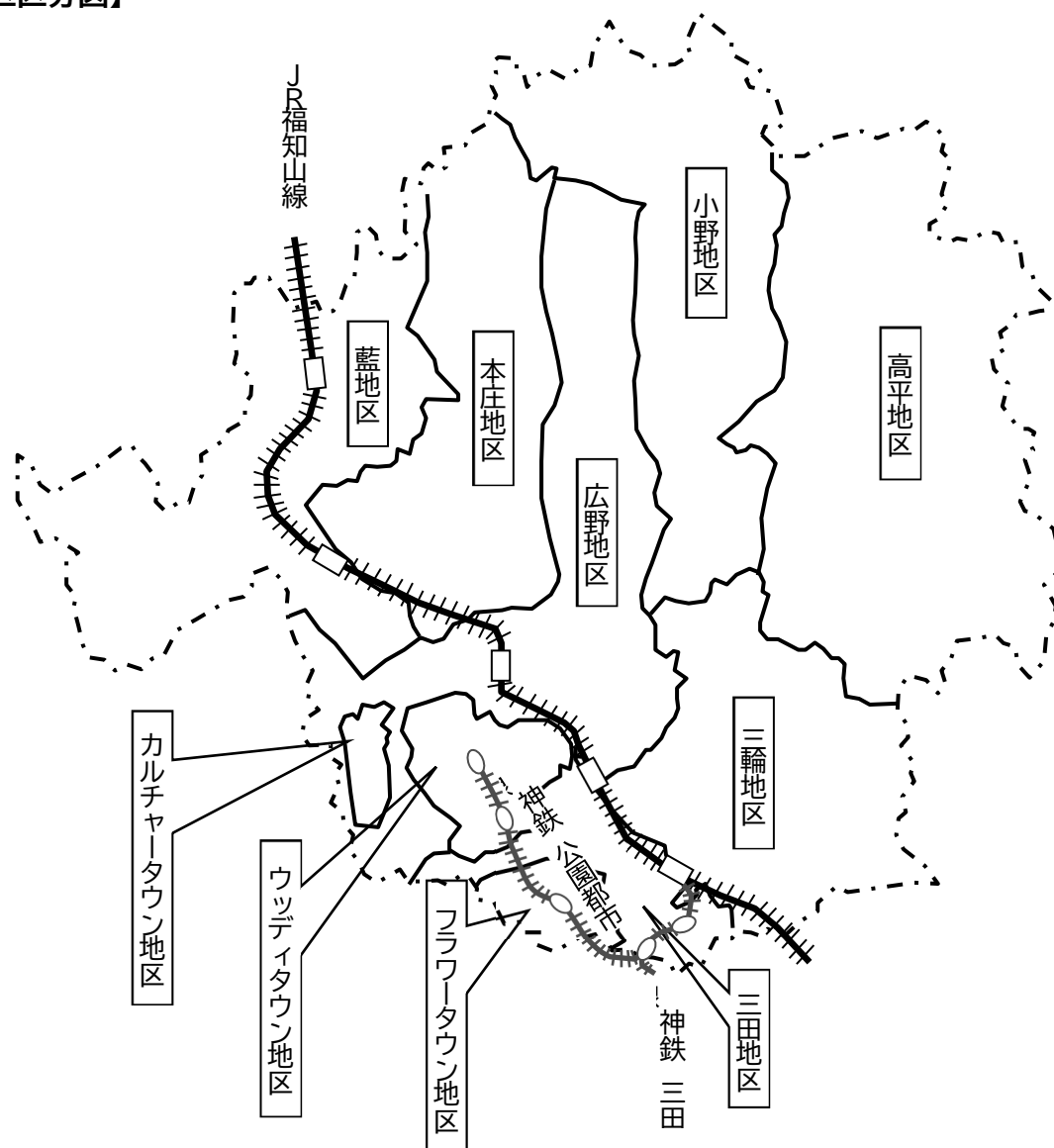
3. 調査方法

- (1) 調査地域 三田市内
 (2) 調査対象 市内に在住する18歳以上の市民3,000人
 (3) 抽出方法 地域ごとの人口分布を考慮した無作為抽出
 (4) 配布方法 郵送
 (5) 回収方法 郵送（インターネットによる回答も可）
 ※お礼状兼督促状1回送付
 (6) 調査期間 令和7年6月9日（月）～7月11日（金）
 (7) 有効配布数 3,000件（不到着8件）
 (8) 有効回収数 1,424件（回収率47.6%）
 ※インターネットによる回答478件含む

【地区別配布・回収結果】

地区名	配布数	不着数	実質配布数	回収数	回収率
三田地区	391	1	390	178	45.6
三輪地区	445	1	444	172	38.7
広野地区	158	2	156	70	44.9
小野地区	57	1	56	23	41.1
高平地区	77	-	77	33	42.9
藍地区	258	-	258	136	52.7
本庄地区	44	-	44	7	15.9
フラワータウン地区	570	1	569	285	50.1
ウッディタウン地区	911	2	909	465	51.2
カルチャータウン地区	89	-	89	41	46.1
不明（無回答）	-	-	-	14	-
合計	3,000	8	2,992	1,424	47.6

【地区区分図】



4. 標本誤差

一般的に、標本調査においては、標本（有効回答）から母集団（総人口）の精度として、信頼度 95% のレベルでの結果を評価することが妥当とされています。

（信頼度 95% とは、同一の調査を 100 回実施すれば 95 回は、この結果数値の前後の一定の幅の間におさまるとのこと。）

そして、この信頼度 95% における測定値（%）の標本誤差は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (100-P)}{n}}$$

N：母集団数（18 歳以上の市民 90,378 人（令和 7 年 7 月末日現在））

n：標本数（本調査では回答総数=1,424）

P：測定値（%）（本調査では回答比率）

【信頼度 95%における主要な標本誤差】

標本数	P(%) n	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
	3,000	±0.8%	±1.1%	±1.3%	±1.4%	±1.5%	±1.6%	±1.7%	±1.7%	±1.8%	±1.8%
	2,500	±0.8%	±1.2%	±1.4%	±1.5%	±1.7%	±1.8%	±1.8%	±1.9%	±1.9%	±1.9%
	2,000	±0.9%	±1.3%	±1.5%	±1.7%	±1.9%	±2.0%	±2.1%	±2.1%	±2.2%	±2.2%
	1,500	±1.1%	±1.5%	±1.8%	±2.0%	±2.2%	±2.3%	±2.4%	±2.5%	±2.5%	±2.5%
全体	1,424	±1.1%	±1.5%	±1.8%	±2.1%	±2.2%	±2.4%	±2.5%	±2.5%	±2.6%	±2.6%
	1,000	±1.3%	±1.8%	±2.2%	±2.5%	±2.7%	±2.8%	±2.9%	±3.0%	±3.1%	±3.1%
	500	±1.9%	±2.6%	±3.1%	±3.5%	±3.8%	±4.0%	±4.2%	±4.3%	±4.3%	±4.4%
	250	±2.7%	±3.7%	±4.4%	±5.0%	±5.4%	±5.7%	±5.9%	±6.1%	±6.2%	±6.2%
	100	±4.3%	±5.9%	±7.0%	±7.8%	±8.5%	±9.0%	±9.3%	±9.6%	±9.7%	±9.8%

この表について、例えば、回答総数（1,424）を 100.0%とする設問で、選択肢に対する回答率が 90%であった場合、18 歳以上の市民（90,378 人）における回答比率の誤差範囲は、±1.5%（%）の間であることを推測できます。

なお、クロス集計の場合、回答者数（該当者数）が 50 人未満の場合は標本誤差が多いため、参考に留めてください。

5. 報告書の見方

- ① 集計結果は、小数点以下第 2 位を四捨五入しており、比率の合計が 100.0%にならないことがあります。複数回答を求めた設問は、回答者に対する割合を示しているため合計が 100.0%を超えています。
- ② 「全体」は、回答者数（1,424）であり、「回答総数」は複数回答の場合の全回答数を指しています。「n」は各設問の母数を、「n（該当者）」は回答者を特定した場合の母数を表しています。
- ③ 地区別集計は、地区区分として、三田地区、三輪地区、広野地区、小野地区、高平地区、藍地区、本庄地区、フラワータウン地区、ウッディタウン地区、カルチャータウン地区に分けて分析しています。
- ④ 年代別や地区別は、対象者ごとに%を算出しており、複数回答については、第 1 位、第 2 位、第 3 位として順位を表しています。
- ⑤ 複数の回答を合わせた『取り組んでいる』などは、回答者数を全体で除しており、単数の合計とは合わないことがあります。

6. 設問の構成とまとめ

設問のねらい・趣旨	設問項目
◆第5次三田市総合計画の成果指標の進捗や今後の三田市での居住意向などを把握します。	問7 日常生活での健康づくりの取り組み状況
	問8 週一回以上の運動やスポーツの取り組み状況
	問9 「かかりつけ医」の有無
	問10 広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等の閲読状況
	問11 隣近所との困った時の助け合い
	問12 隣近所との付き合いの程度
	問13 地域活動への参加状況
	問14 三田市のまちづくりへの関心度
	問15 三田市のまちづくりで関心のある分野
	問16 三田市のまちづくりに関心がない理由
	問17 よりよい三田のまちのための取り組み状況
	問18 よりよい三田のまちのためにしている事例
	問19 今後の三田市での居住意向
	問20 転出・転居したい理由
	問21 人権問題の解決に向けての自分の努力
	問22 三田市役所に対する信頼の程度
	問23 三田市役所を信頼できない理由
	問24 三田市に住んでいる理由
	問25 三田市に住んでいてよかったと思うこと
	問26 「住みたいまち」として重視すること
	問27 第5次総合計画で定める施策の満足度・重要度

I 調査概要

まとめ（概要）	
問7	日常生活での健康づくりの取り組み状況について、「大いに取り組んでいる」と「少しは取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』は、59.4%となっています。一方、「あまり取り組んでいない」と「何も取り組んでいない」を合わせた『取り組んでいない』は、39.7%となっています。
問8	週一回以上のスポーツの取り組み状況について、「している」が42.1%。「していない」が56.9%となっています。
問9	「かかりつけ医」の有無について、「いる」が63.9%、「いない」が35.3%となっています。
問10	広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等の閲読状況について、「読んでいる」が52.9%、「読んでいない」が46.6%となっています。
問11	隣近所の人と「困ったときに助け合うことができる」と思うかについて、「思う」が61.4%、「思わない」が37.9%となっています。
問12	隣近所の人との付き合いの程度について、「会えば挨拶をする程度」が54.8%と最も高くなっています。次いで、「世間話や立ち話をする程度」(27.5%)、「困った時に助け合っている」(12.4%)、「全く付き合いをしていない」(5.2%)の順となっています。
問13	地域活動への参加状況について、「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が44.7%と最も高くなっています。次いで、「現在参加している」(31.4%)、「現在参加していないが、今後参加したい」(23.2%)の順となっています。
問14	三田市のまちづくりへの関心度について、「ある程度関心がある」が69.9%と最も高くなっています。次いで、「あまり関心がない」(16.2%)、「非常に関心がある」(11.2%)、「まったく関心がない」(2.6%)の順となっています。
問15	三田市のまちづくりで関心のある分野について、「地域医療・高齢者や障害者などの福祉について」が59.7%と最も高くなっています。次いで、「交通ネットワークについて」(40.8%)、「住まい・土地利用・まちの基盤の整備について」(36.7%)の順となっています。
問16	三田市のまちづくりに関心がない理由について、「行政や地域活動に対して興味や関心が持てない」、「現状に満足しているため、特に関与する必要性を感じていない」、「行政への不信感、施策への不満」、「将来的に転居を予定しているため」などの意見が挙げられています。
問17	よりよい三田のまちのための取り組み状況について、「行っている」が16.4%、「行っていない」が82.3%となっています。
問18	よりよい三田のまちのために行っている事例について、「地域の行事、イベントに参加している」、「地域の緑化と美化に向けた環境整備活動を行っている」、「区、自治会、まちづくり協議会などの地域の活動に関わっている」などが挙げられています。
問19	今後の三田市での居留意向について、「今後も住み続けたい」が62.4%と最も高くなっています。次いで、「今のところ、わからない」(27.2%)、「市外に移りたい」(6.5%)、「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」(3.2%)の順となっています。
問20	転出・転居したい理由について、「医療機関や福祉施設が充実していない」が36.5%と最も高くなっています。次いで、「買い物などの日常生活が不便」(34.3%)、「都会としての楽しさや魅力がない」(32.8%)の順となっています。
問21	人権問題の解決に向けて、社会全体で取り組むとともに、自分も努力すべきだと思うかについて、「そう思う」が(82.2%)、「そう思わない」が15.9%となっています。

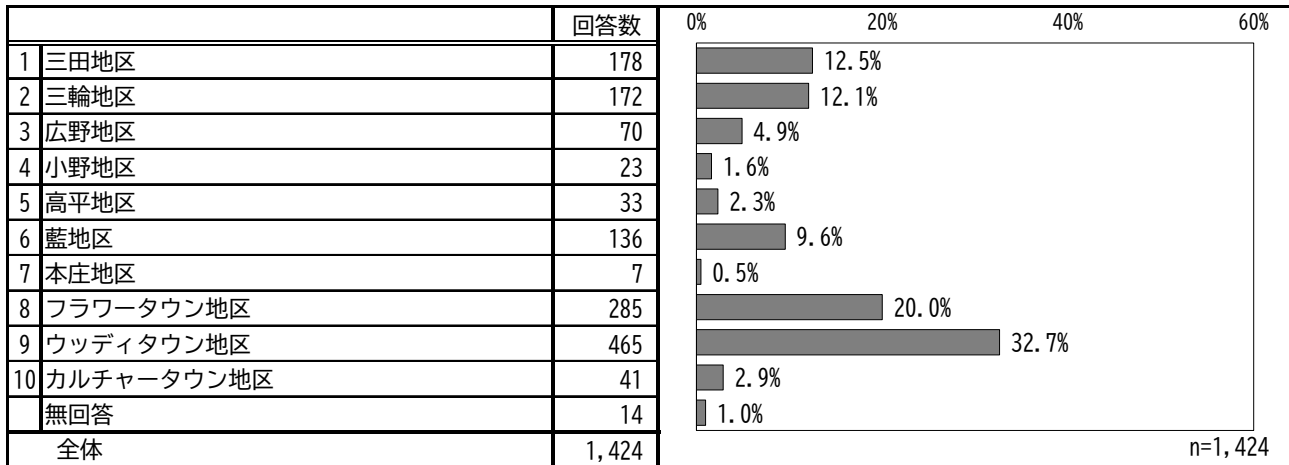
問 22	三田市役所に対する信頼の程度について、「信頼できる」と「まあ信頼できる」を合わせた『信頼できる』は80.0%、となっています。一方、「あまり信頼できない」と「信頼できない」を合わせた『信頼できない』は19.4%となっています。
問 23	三田市役所を信頼できない理由について、「政策等に不満や不信がある」、「職員の対応への不信感（努力不足、高圧的、対応の遅れなど）」、「部署ごとの対応の質の違い、縦割りの弊害を感じた」などが挙げられています。
問 24	三田市に住んでいる理由について、「自然環境が良いから」が50.4%と最も高くなっています。次いで、「住み慣れたまちだから」(42.9%)、「買い物など日常生活に便利だから」(29.6%)の順となっています。
問 25	三田市に住んでいてよかったと思うことについて、「自然が豊か」、「生活しやすい」、「都心部へのアクセスが便利」などが挙げられています。
問 26	住みたいまちとして重視することについて、合計点では「買い物施設が便利（スーパーマーケット、商店街、ショッピングモール）日常的に楽しめるカフェやレストランが多い」が3,085点と最も高くなっています。次いで、「交通の便が良い(電車やバスなどの公共交通機関が充実)」(2,930点)、「自然環境が豊か、公園や緑地、里山が近い」(2,906点)の順となっています。
問 27	三田市がこれまで進めてきたまちづくりの各分野に関する満足度について、「水の保全」が3.60ポイントと最も高くなっています。また、重要度については、「地域医療の安心」が4.47ポイントと最も高くなっています。満足度、重要度それぞれの平均より満足度が低く、重要度が高い分野は、「地域医療の安心」、「交通ネットワーク」、「高齢者の安心」などとなっています。
	<p>三田市のまちづくりへの関心度（問 14）について、『関心がある』は、81.1%となっており、まちづくりへの関心度が高いことがうかがえます。</p> <p>あわせて、三田市のまちづくりで関心のある分野（問 15）では、「地域医療・高齢者や障害者などの福祉について」が59.7%と最も高く、また、まちづくりの各分野の満足度と重要度（問 27）においても、『満足度が低く、重要度が高い』に分類されている項目の中で「地域医療の安心」が最も高くなっていることから、市民が安心して暮らせるように優先度を高く取り組む必要があることがうかがえます。</p> <p>第5次三田市総合計画の成果指標に関連する設問の結果については、進捗状況を確認し、行政評価に活用します。その他にもデータの経年変化等を勘案し、より効率的な市政への展開が可能となるよう、分析や立案に活かしていきます。</p>

Ⅱ 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 居住地区

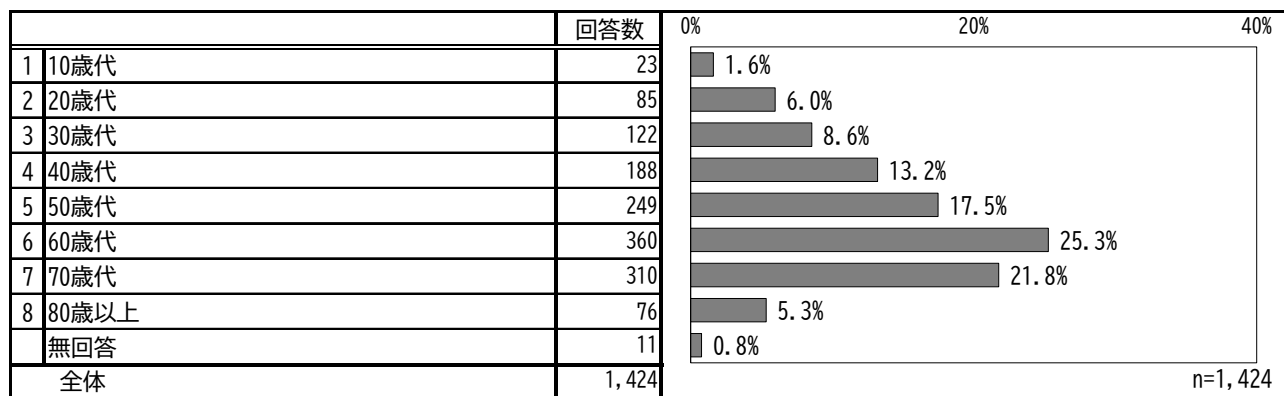
問1 あなたがお住まいの地区を選んでください。(○は1つ)



回答者の居住地区は、「ウッディタウン地区」が32.7%と最も高くなっています。次いで、「フラワータウン地区」(20.0%)、「三田地区」(12.5%)の順となっています。

(2) 年齢

問2 令和7年6月1日現在のあなたの年齢を選んでください。(○は1つ)

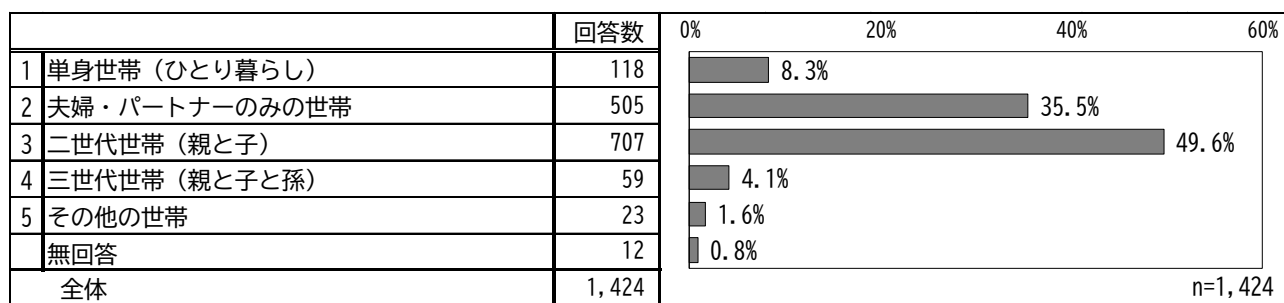


回答者の年齢は、60歳代が25.3%と最も高くなっています。次いで、70歳代(21.8%)、50歳代(17.5%)の順となっています。

II 調査結果

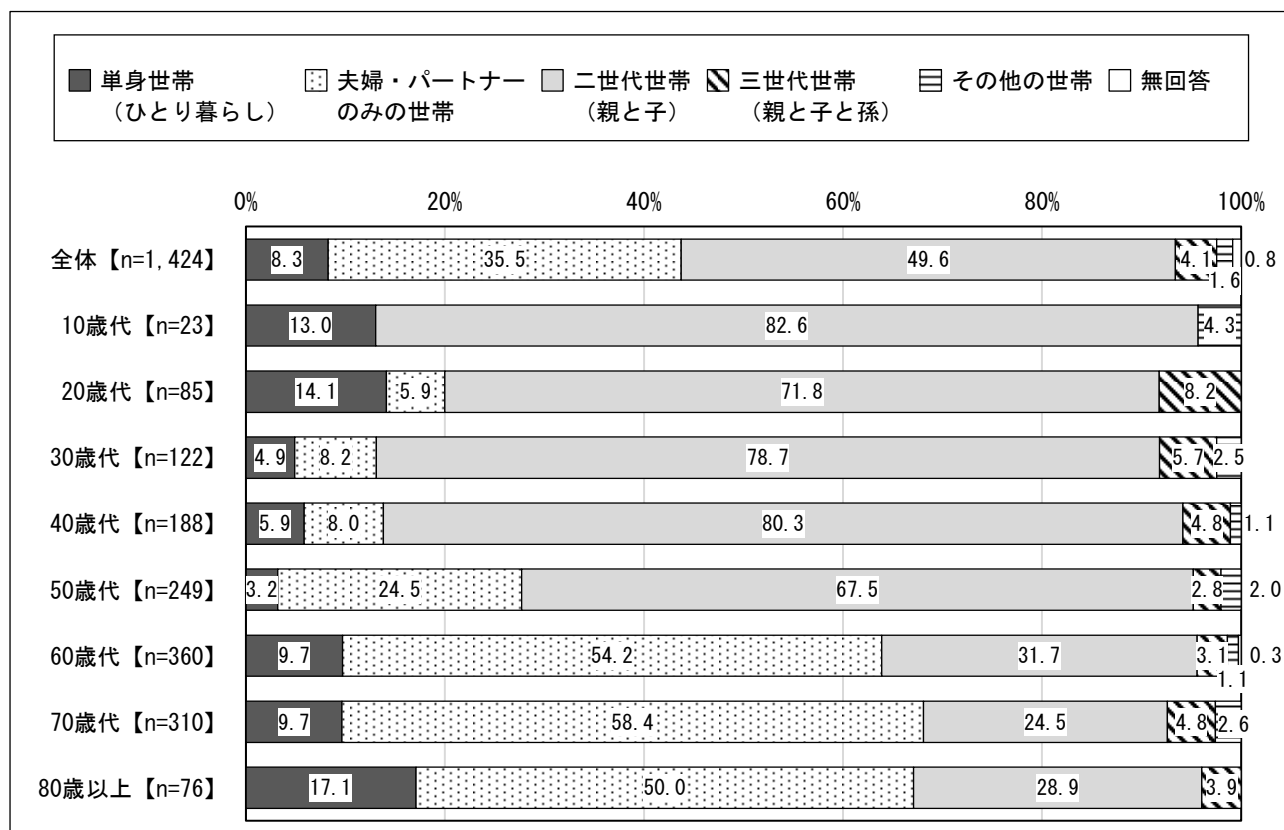
(3) 世帯構成

問3 あなたの世帯構成を選んでください。(○は1つ)



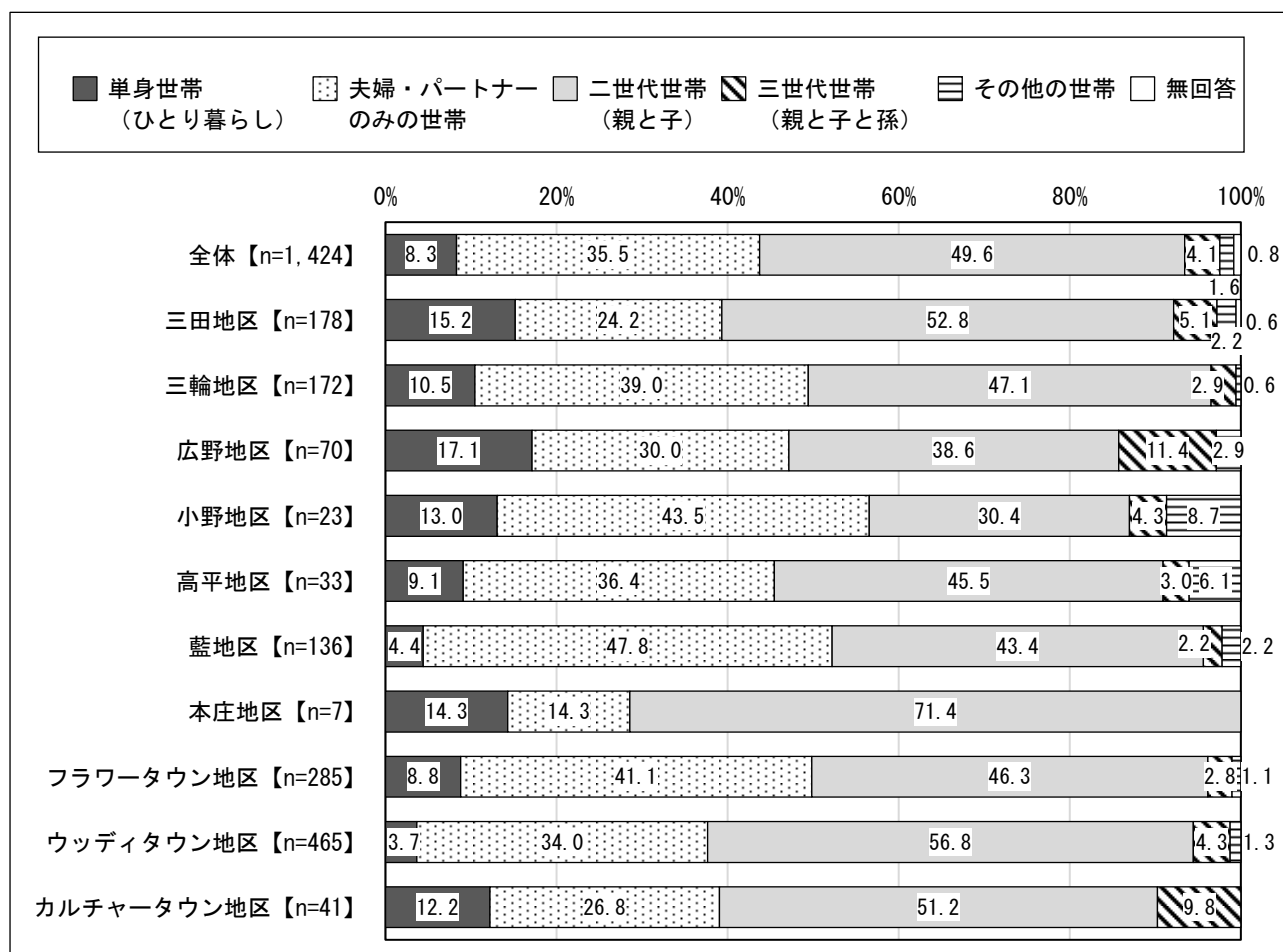
回答者の世帯構成は、「二世帯世帯 (親と子)」が49.6%と最も高くなっています。次いで、「夫婦・パートナーのみの世帯」(35.5%)、「単身世帯 (ひとり暮らし)」(8.3%)の順となっています。

【年代別】



年代別にみると、10～50歳代は「二世帯世帯 (親と子)」が半数を超えています。60歳代、70歳代及び80歳以上は「夫婦・パートナーのみの世帯」が最も高くなっており、60歳代及び70歳代では半数を超えています。次いで、「二世帯世帯 (親と子)」(各31.7%、24.5%、28.9%)、「単身世帯 (ひとり暮らし)」(各9.7%、9.7%、17.1%)となっています。

【地区別】

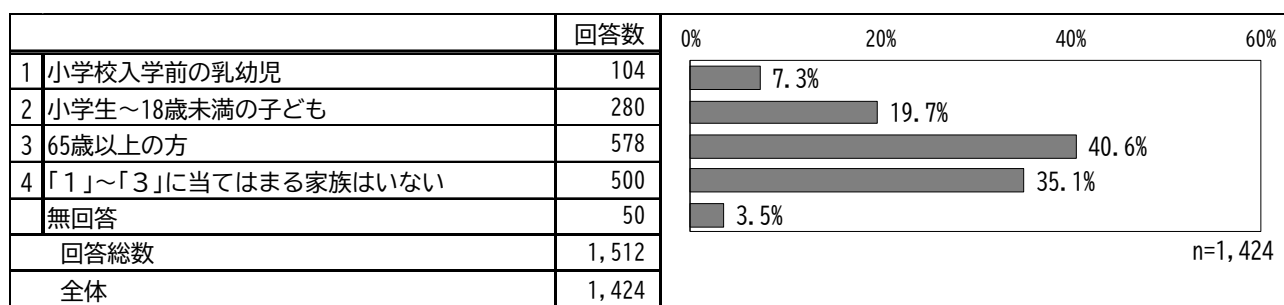


地区別にみると、「単身世帯（ひとり暮らし）」は、広野地区が17.1%と最も高くなっています。次いで、三田地区（15.2%）、本庄地区（14.3%）の順となっています。「夫婦・パートナーのみの世帯」は、藍地区が47.8%と最も高くなっています。次いで、小野地区（43.5%）、フラワータウン地区（41.1%）の順となっています。「二世帯世帯（親と子）」は、本庄地区が71.4%と最も高くなっています。次いで、ウッディタウン地区（56.8%）、三田地区（52.8%）の順となっています。「三世帯世帯（親と子と孫）」は、広野地区が11.4%と最も高くなっています。次いで、カルチャータウン地区（9.8%）、三田地区（5.1%）の順となっています。

II 調査結果

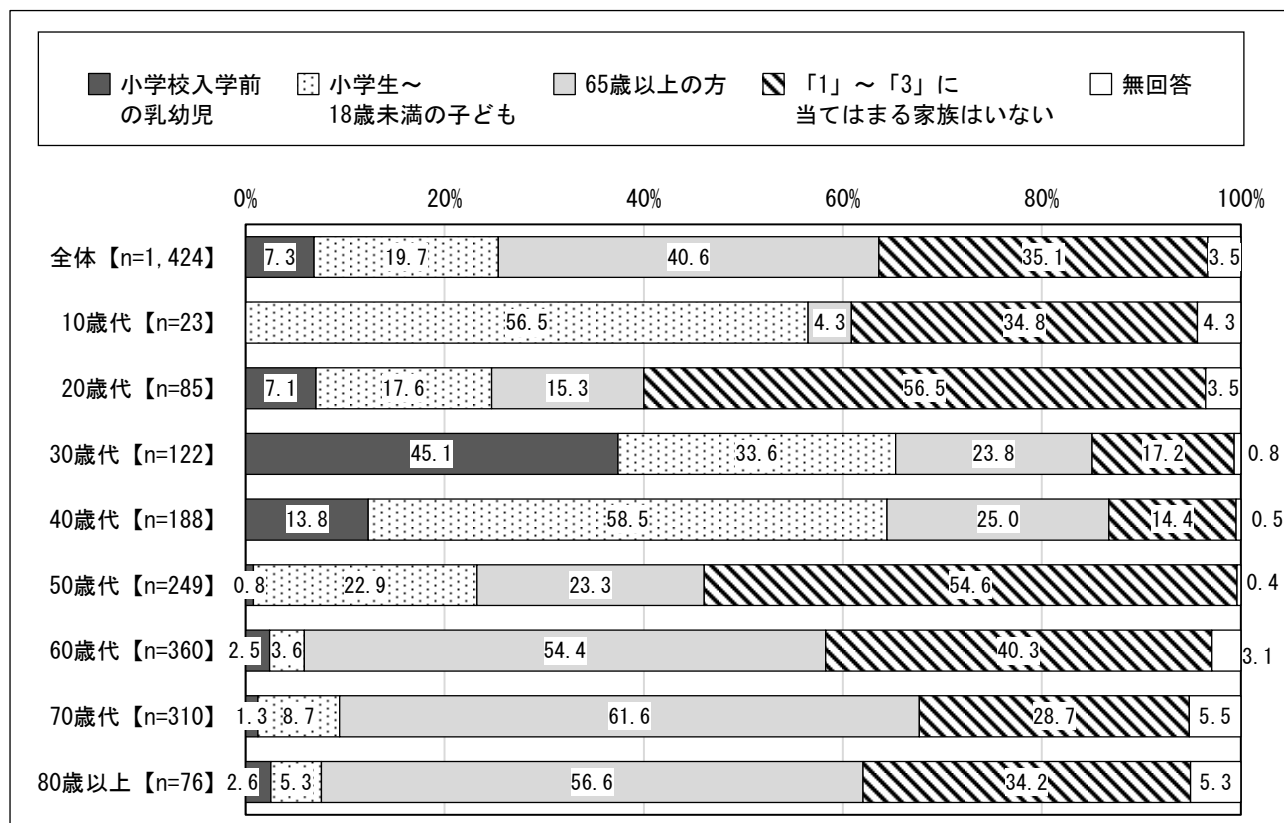
(4) 家族構成員

問4 あなたのご家族に次の方はおられますか。該当するものを選んでください。(○はいくつでも)



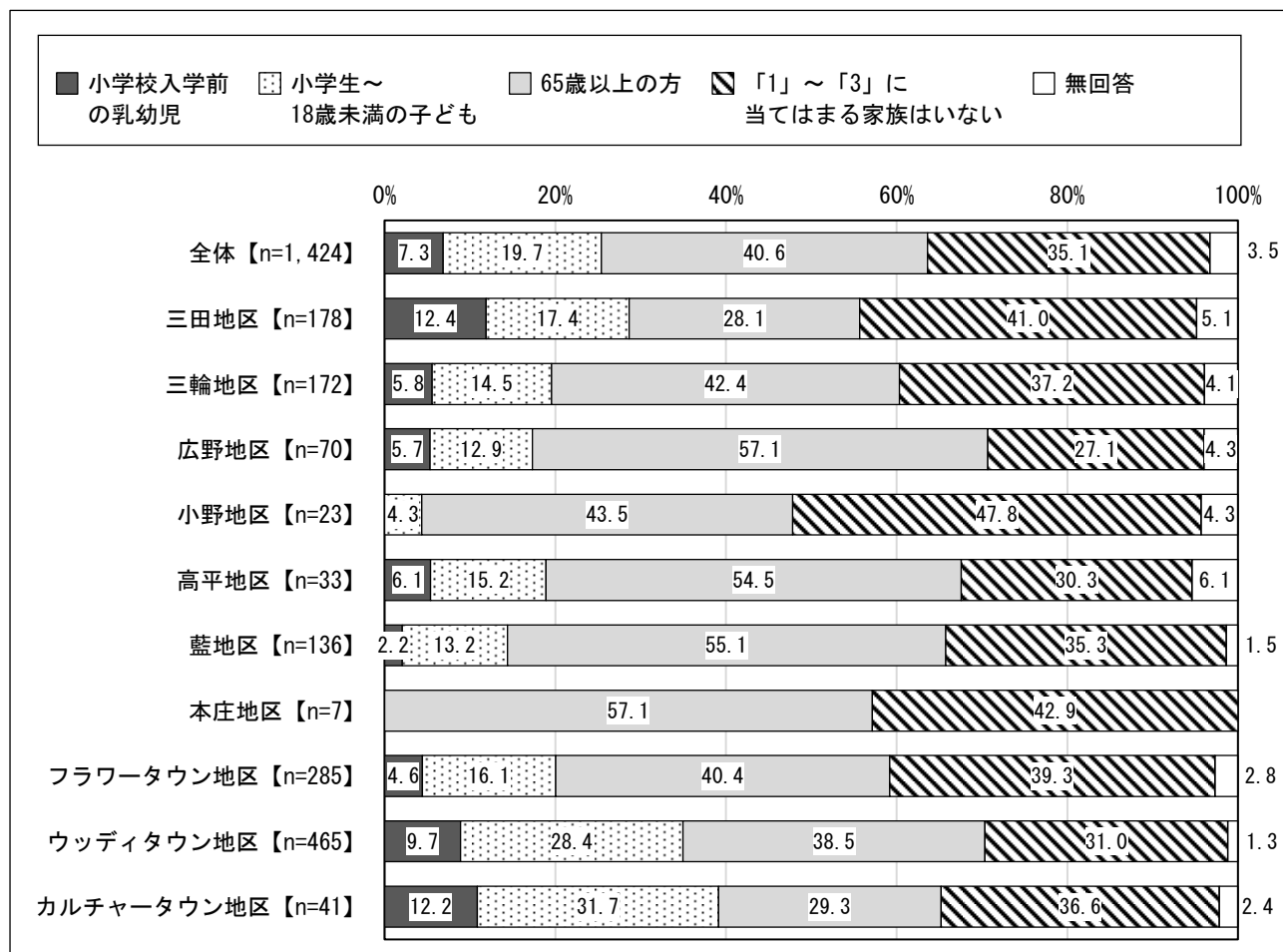
回答者の家族構成は、「65歳以上の方」が40.6%と最も高くなっています。次いで、『「1」～「3」に当てはまる家族はいない』(35.1%)、「小学生～18歳未満の子ども」(19.7%)の順となっています。

【年代別】



年代別にみると、10歳代及び40歳代では「小学生～18歳未満の子ども」が最も高くなっています。20歳代及び50歳代では『「1」～「3」に当てはまる家族はいない』、30歳代では「小学校入学前の乳幼児」、60歳代、70歳代及び80歳以上では「65歳以上の方」が最も高くなっており、年代ごとの特徴がうかがえます。

【地区別】

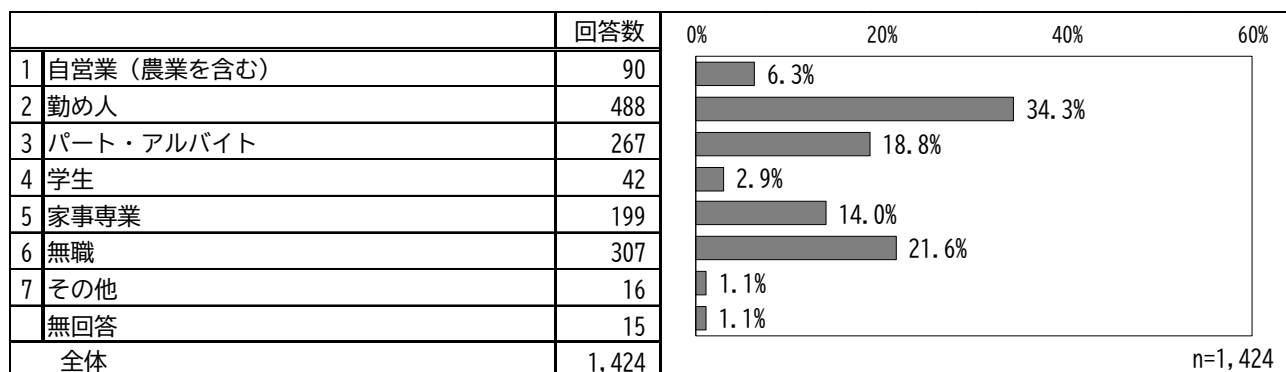


地区別にみると、「小学校入学前の乳幼児」は、三田地区が12.4%と最も高くなっています。次いで、カルチャータウン地区（12.2%）、ウッディタウン地区（9.7%）の順となっています。「小学生～18歳未満の子ども」は、カルチャータウン地区が31.7%と最も高くなっています。次いで、ウッディタウン地区（28.4%）、三田地区（17.4%）の順となっています。「65歳以上の方」は、本庄地区と広野地区が57.1%と最も高くなっています。次いで、藍地区（55.1%）、高平地区（54.5%）の順となっています。

II 調査結果

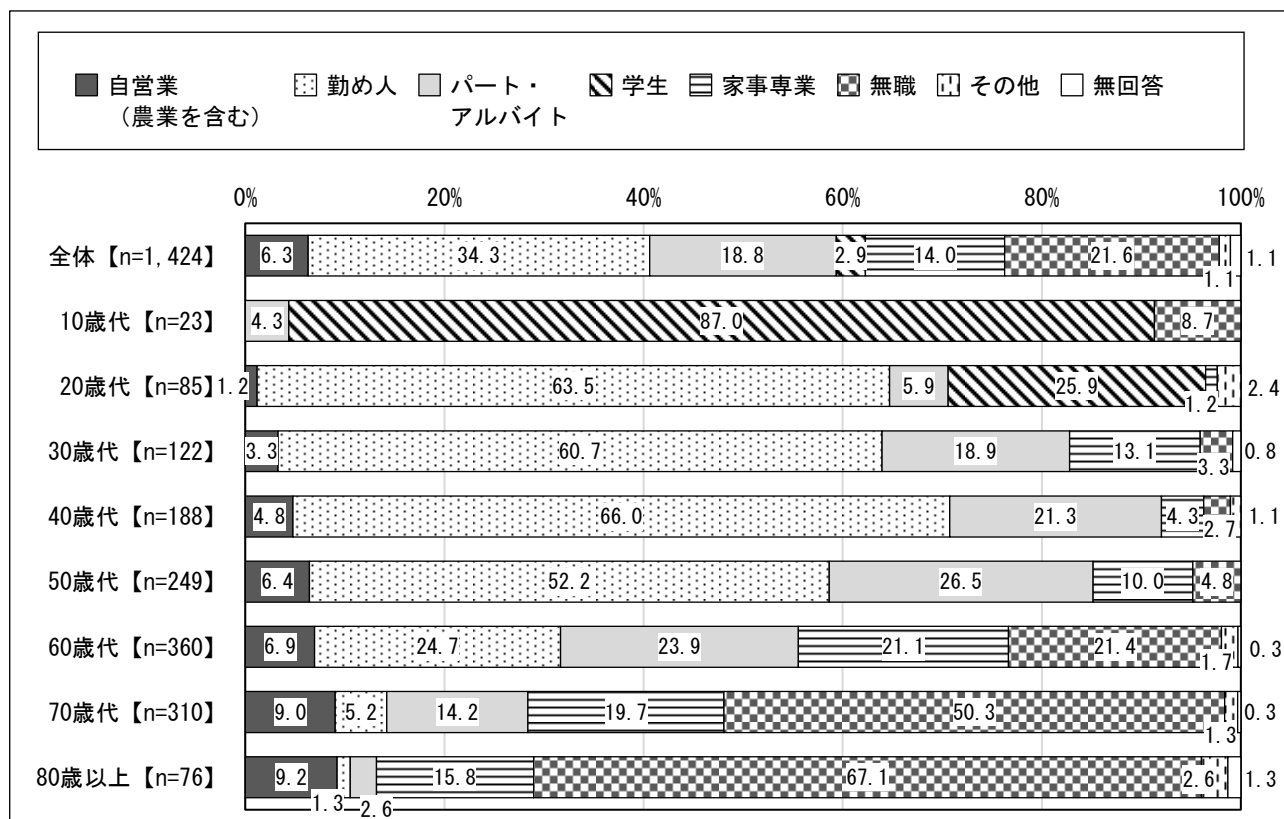
(5) 職業

問5 あなたの職業を選んでください。(○は1つ)



回答者の職業は、「勤め人」が34.3%と最も高くなっています。次いで、「無職」(21.6%)、「パート・アルバイト」(18.8%)の順となっています。

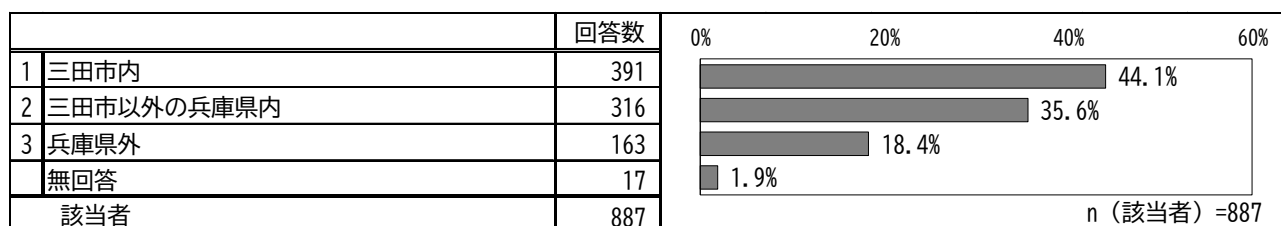
【年代別】



年代別にみると、10歳代は「学生」が87.0%と最も高くなっています。20～50歳代は「勤め人」が半数を超えています。70歳代及び80歳以上は「無職」(各50.3%、67.1%)が最も高くなっています。

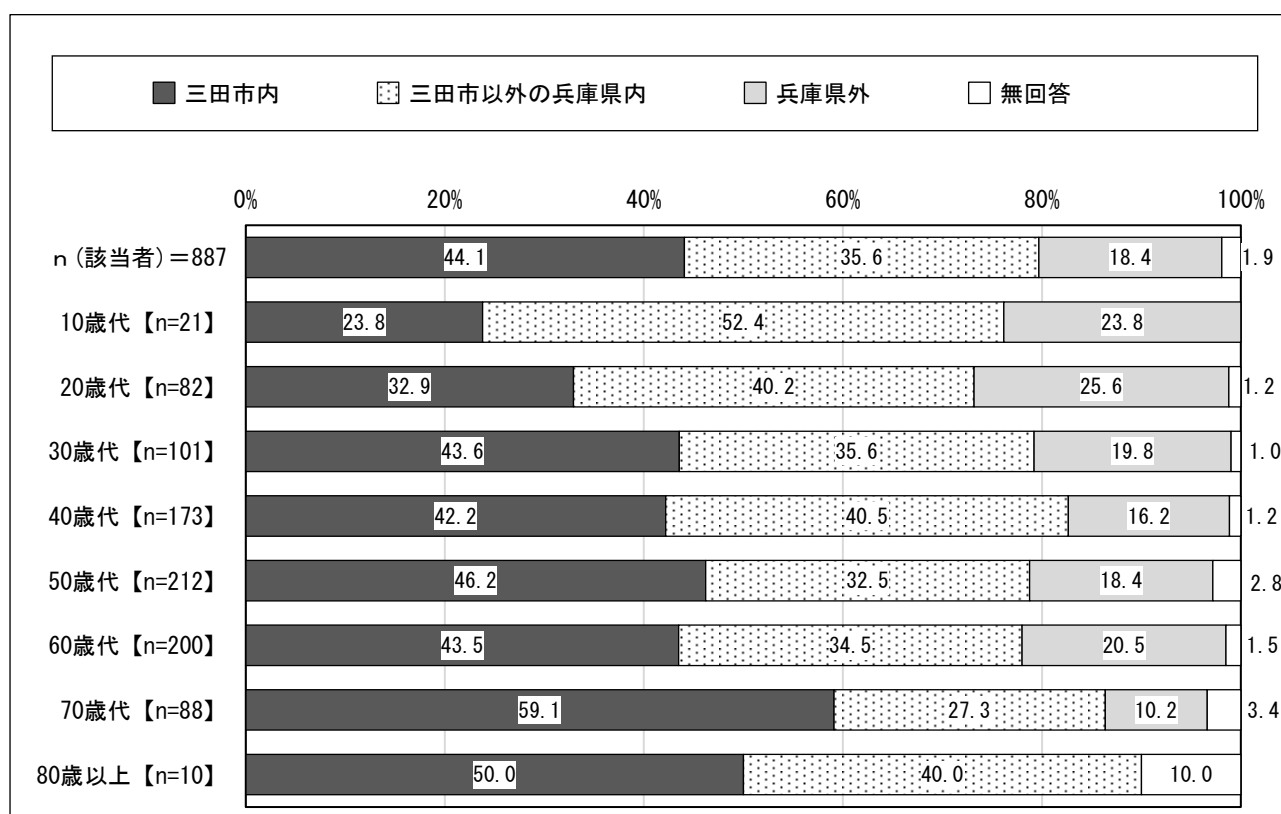
(6) 通勤、通学先

問6 問5で「1 自営業（農業を含む）」、「2 勤め人」、「3 パート・アルバイト」、「4 学生」を選択した方にお聞きします。通勤・通学先や事業を営んでいる場所を選んでください。(○は1つ)



職業で「自営業（農業を含む）」、「勤め人」、「パート・アルバイト」、「学生」を選択した 887 人を対象に、通勤・通学先を尋ねたところ、「三田市内」が 44.1%と最も高くなっています。次いで、「三田市以外の兵庫県内」(35.6%)、「兵庫県外」(18.4%)の順となっています。

【年代別】

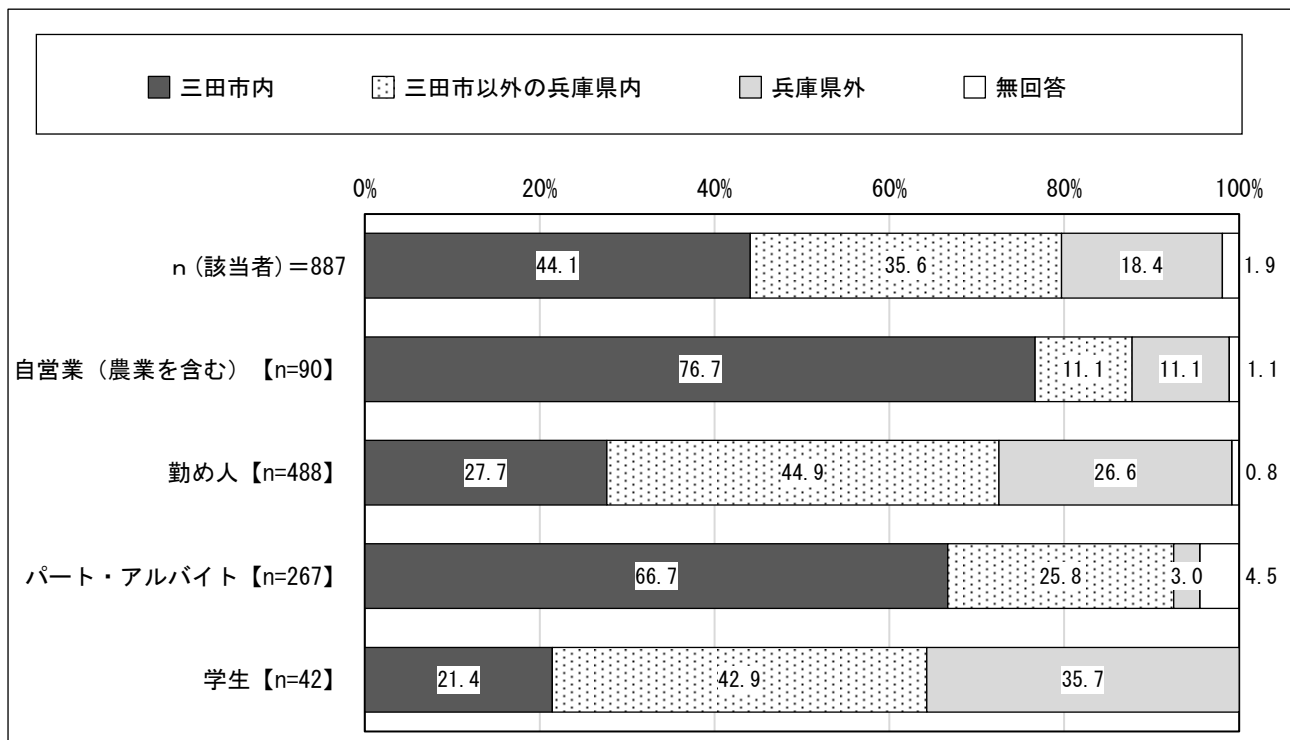


年代別にみると、10～60 歳代は、「三田市以外の兵庫県内」と「兵庫県外」を合わせた『三田市外』が半数を超えています。

一方、「三田市内」は 70 歳代では半数を超えており、80 歳以上は半数となっています。

Ⅱ 調査結果

【職業別】

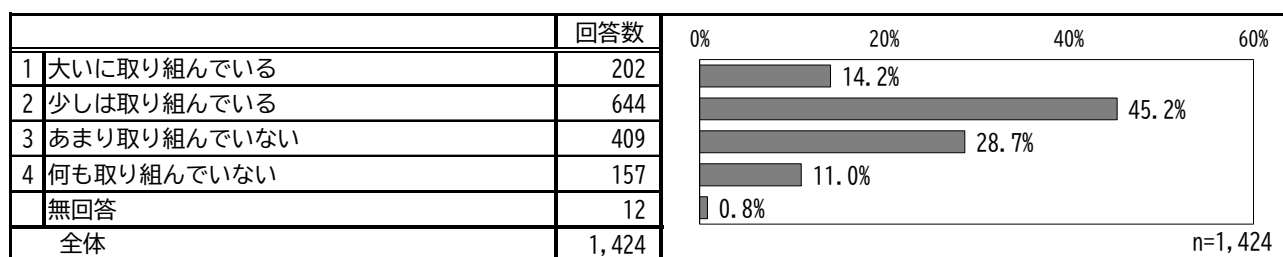


職業別にみると、自営業（農業を含む）及びパート・アルバイトは「三田市内」が各76.7%、66.7%と高い割合を占めています。勤め人及び学生は「三田市以外の兵庫県内」と「兵庫県外」を合わせた『三田市外』が各71.5%、78.6%となっており、職業による特徴がうかがえます。

2. まちづくりや市政全般について

(7) 日常生活での健康づくりの取り組み状況

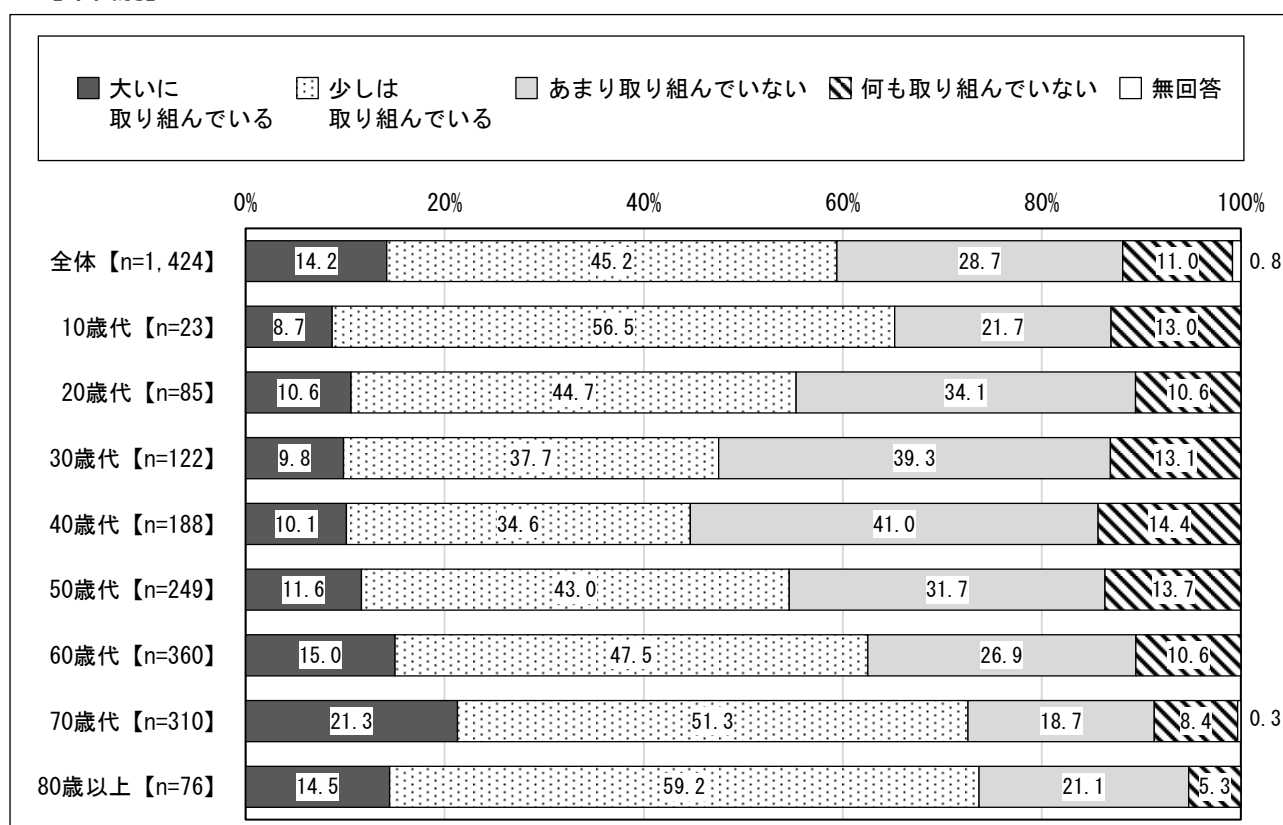
問7 あなたは、日常生活で健康づくりに取り組んでいますか。(○は1つ)



日常生活での健康づくりの取り組み状況について、「少しは取り組んでいる」が45.2%と最も高くなっています。次いで、「あまり取り組んでいない」(28.7%)、「大いに取り組んでいる」(14.2%)、「何も取り組んでいない」(11.0%)の順となっています。

「大いに取り組んでいる」と「少しは取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』は、59.4%となっています。一方、「あまり取り組んでいない」と「何も取り組んでいない」を合わせた『取り組んでいない』は、39.7%となっています。

【年代別】



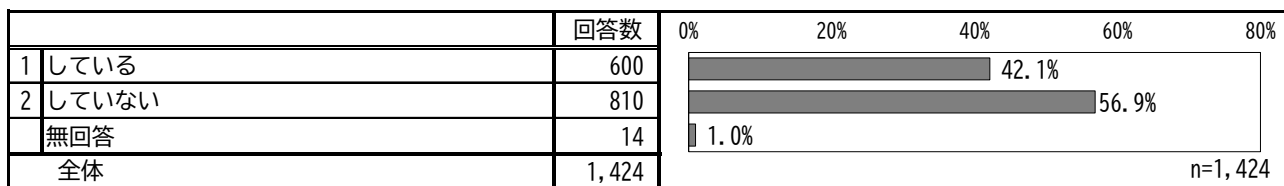
年代別にみると、『取り組んでいる』が10歳代、20歳代、50歳代及び60歳代では半数を超えています。70歳代及び80歳以上は70%を超えており、他の年代よりも健康づくりに取り組んでいる割合が高い状況です。

一方で、『取り組んでいない』は、30歳代及び40歳代で半数を超えています。

Ⅱ 調査結果

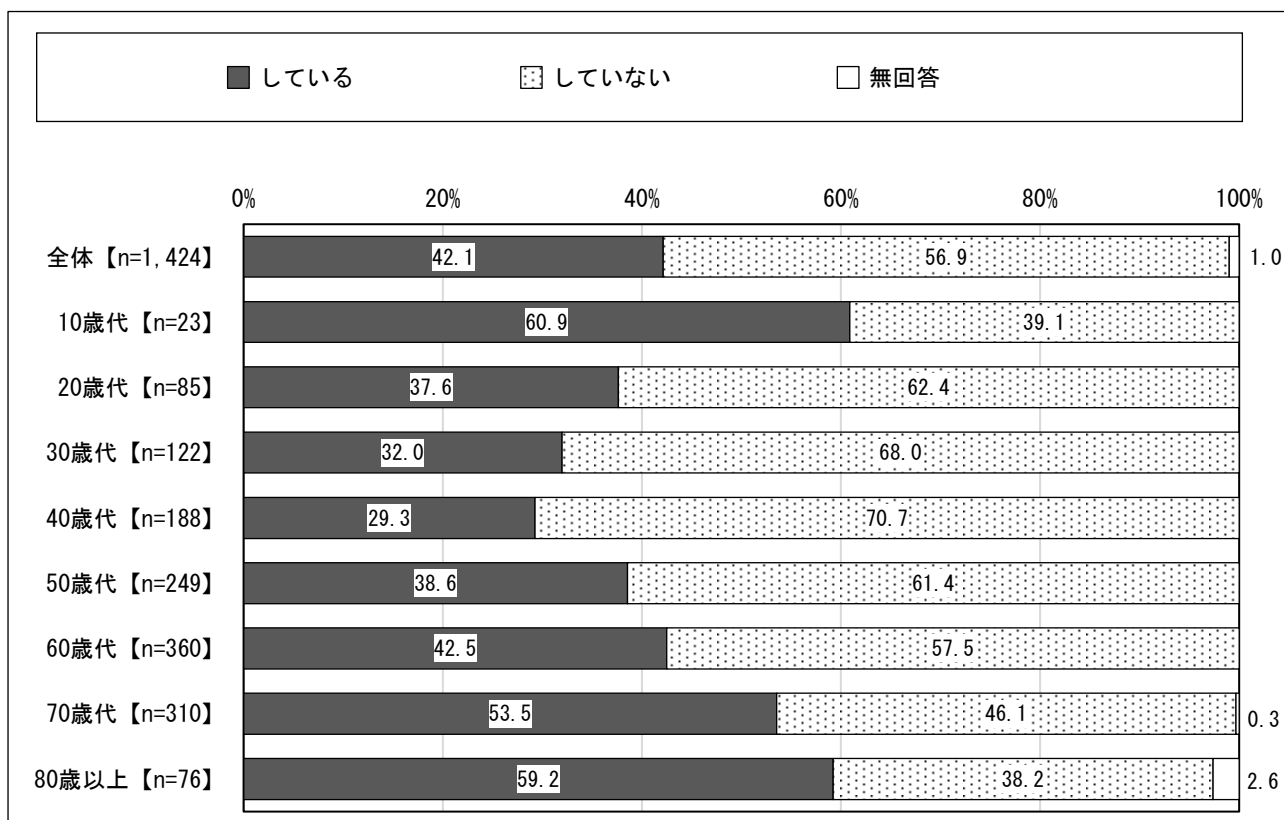
(8) 週一回以上の運動やスポーツの取り組み状況

問8 あなたは、週一回以上運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)



週一回以上の運動やスポーツの取り組み状況について、「している」が42.1%。「していない」が56.9%となっています。

【年代別】

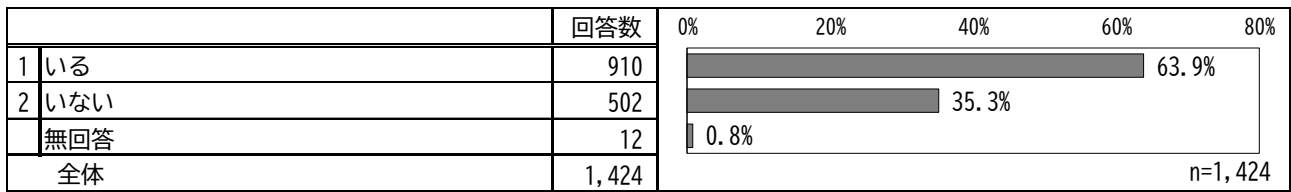


年代別にみると、「している」は10歳代、70歳代及び80歳以上が半数を超えており、10歳代は60.9%と最も高くなっています。

一方、「していない」は20～60歳代で半数を超えており、40歳代では70.7%と最も高くなっています。

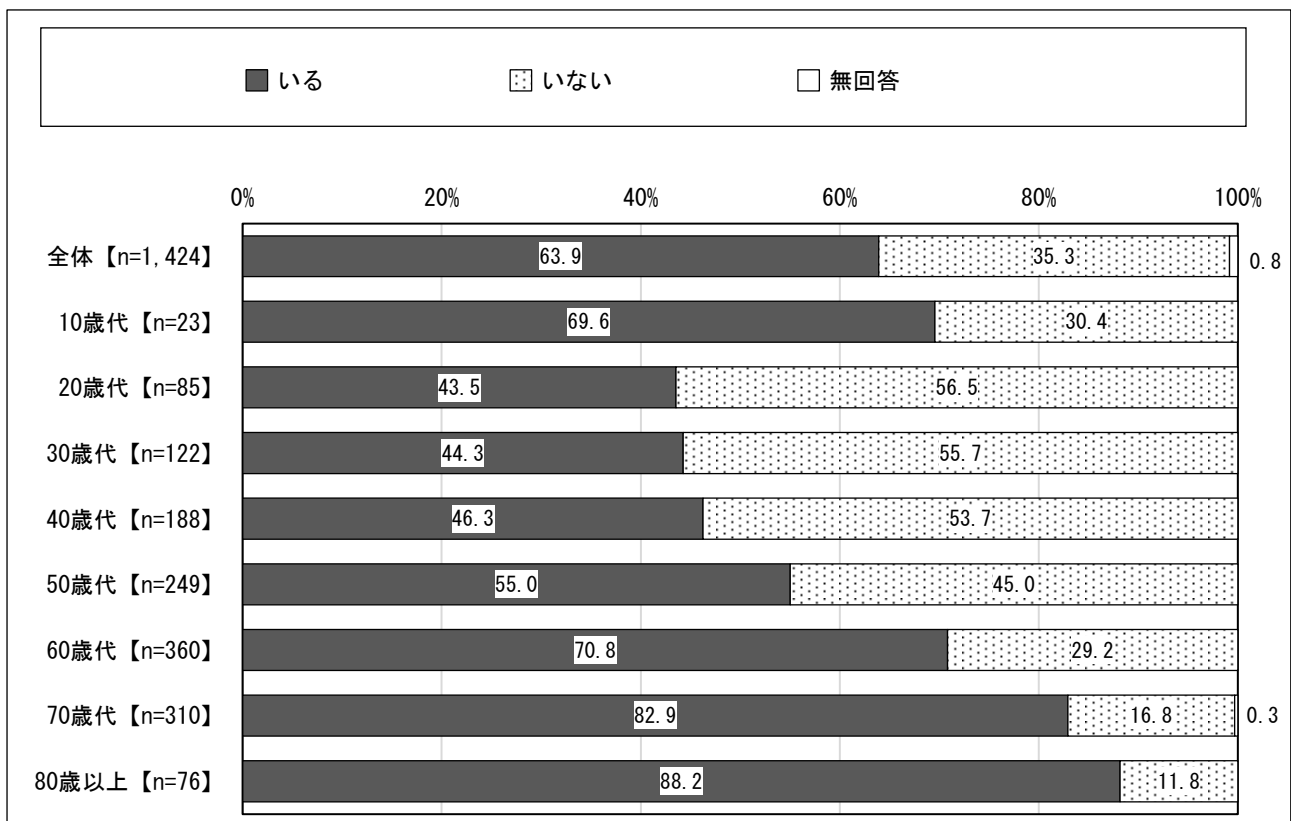
(9)「かかりつけ医」の有無

問9 あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(○は1つ)



「かかりつけ医」の有無について、「いる」が63.9%、「いない」が35.3%となっています。

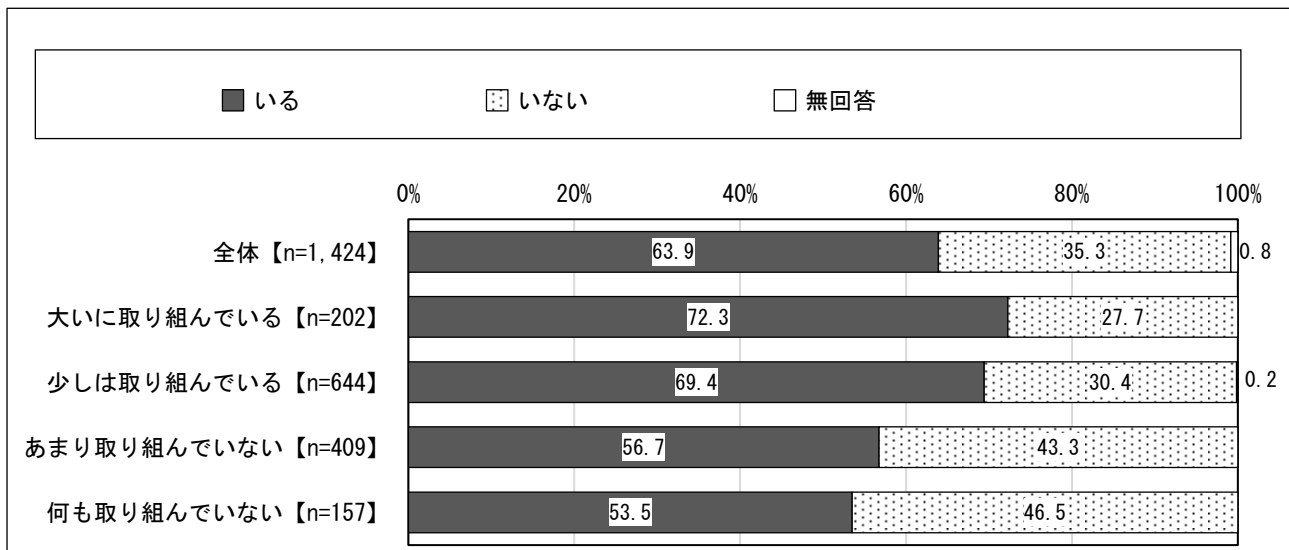
【年代別】



年代別にみると、「いる」は10歳代及び50～80歳以上で半数を超えており、70歳以上では80%を超えています。20～40歳代は半数を下回っており、年代ごとの特徴が表れています。

Ⅱ 調査結果

【健康づくりの取り組み状況別】

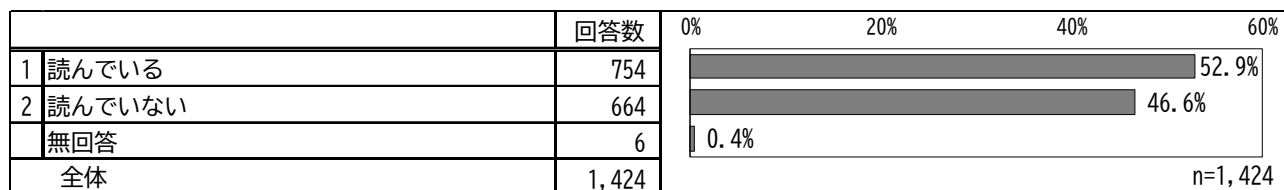


「かかりつけ医」の有無を、健康づくりの取り組み状況別にみると、「大いに取り組んでいる」では72.3%が「いる」と回答しています。「何も取り組んでいない」では、53.5%であり、健康づくりに取り組んでいる人ほど、「かかりつけ医」がいる割合が高い状況となっています。

(10) 広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等の閲読状況

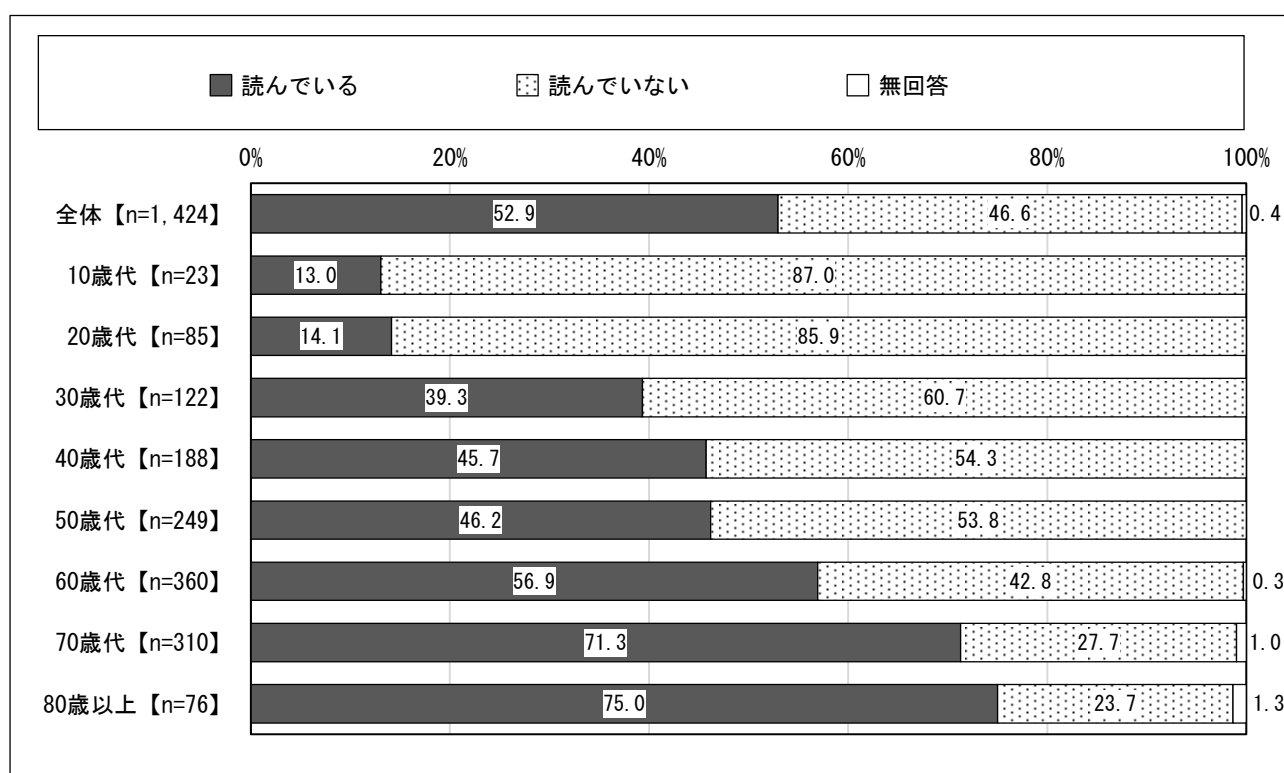
問 10 あなたは、広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等を読んでいますか。

(○は1つ)



広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等の閲読状況について、「読んでいる」が52.9%、「読んでいない」が46.6%となっています。

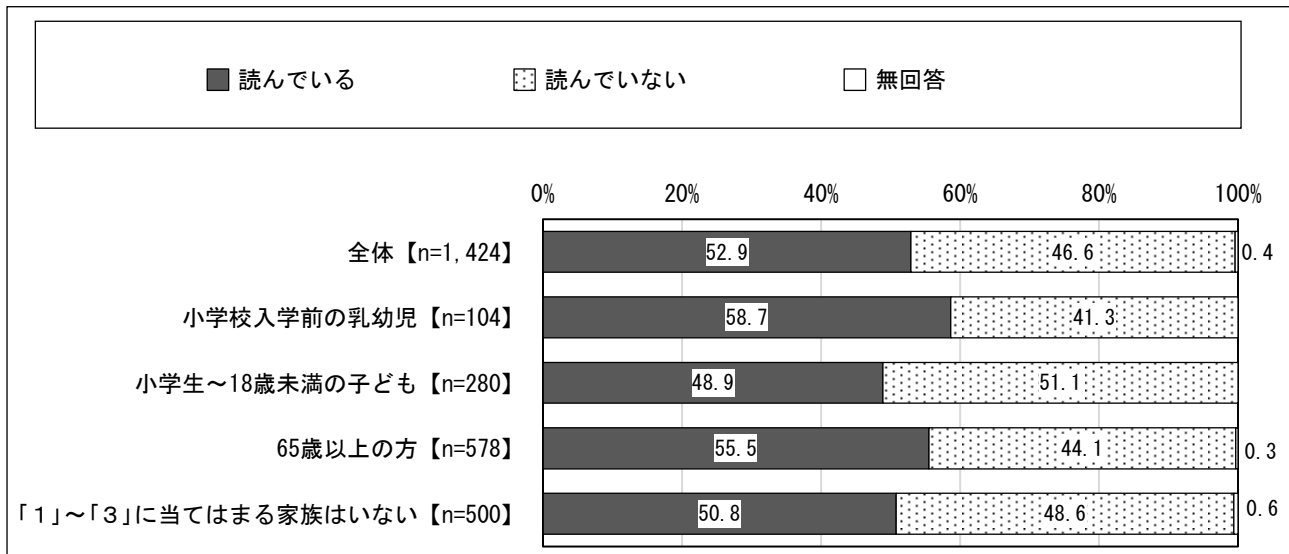
【年代別】



年代別にみると、60歳代以上から「読んでいる」が半数を超えています。70歳代及び80歳以上は70%を超えており、年齢層が高くなるほど割合が高くなる状況となっています。10歳代及び20歳代は、各13.0%、14.1%であり、他の年代に比べると低い割合にとどまっています。

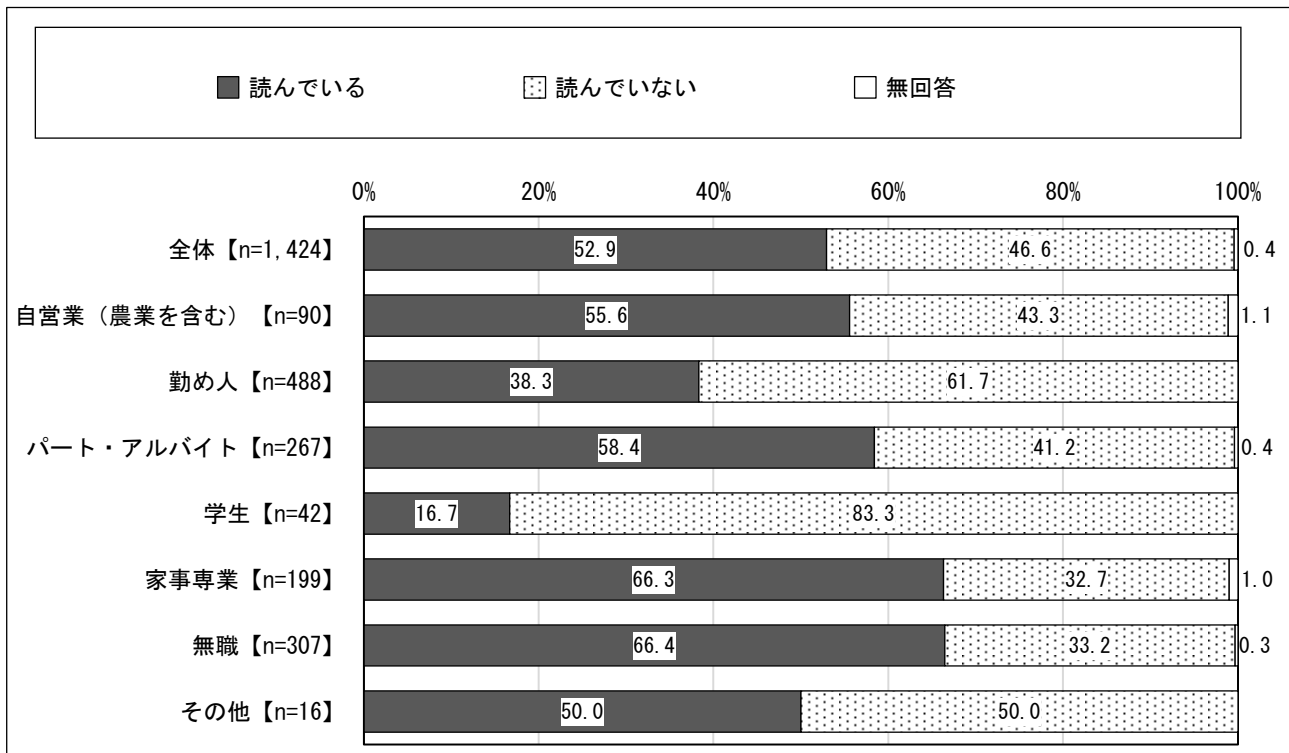
Ⅱ 調査結果

【家族構成員別】



家族構成員別にみると、「小学生～18歳未満の子ども」がいる人を除いて「読んでいる」が半数を超えており、「小学校入学前の乳幼児」がいる人は58.7%と最も高くなっています。

【職業別】



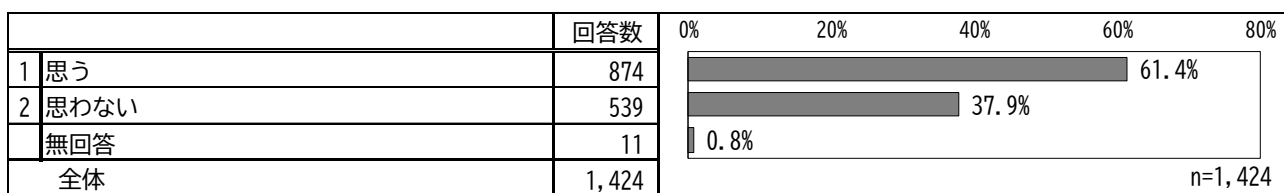
職業別にみると、勤め人及び学生を除いて「読んでいる」が半数を超えており、家事専業と無職がほぼ同数の約66%と最も高くなっています。

一方、「読んでいない」では、学生が83.3%と最も高くなっています。

Ⅱ 調査結果

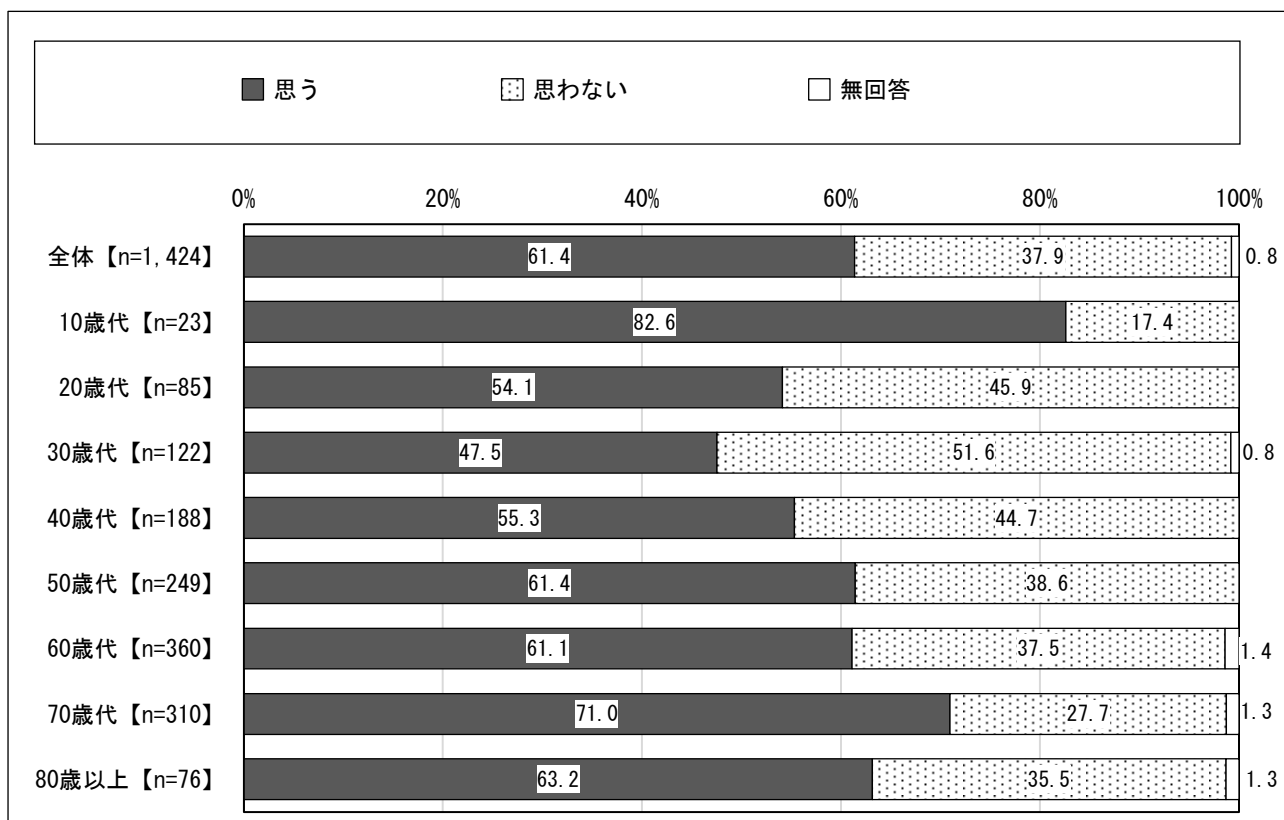
(11) 隣近所との困った時の助け合い

問 11 あなたは、隣近所の人と「困った時に助け合うことができる」と思いますか。(○は1つ)



隣近所の人と「困った時に助け合うことができる」と思うかについて、「思う」が61.4%、「思わない」が37.9%となっています。

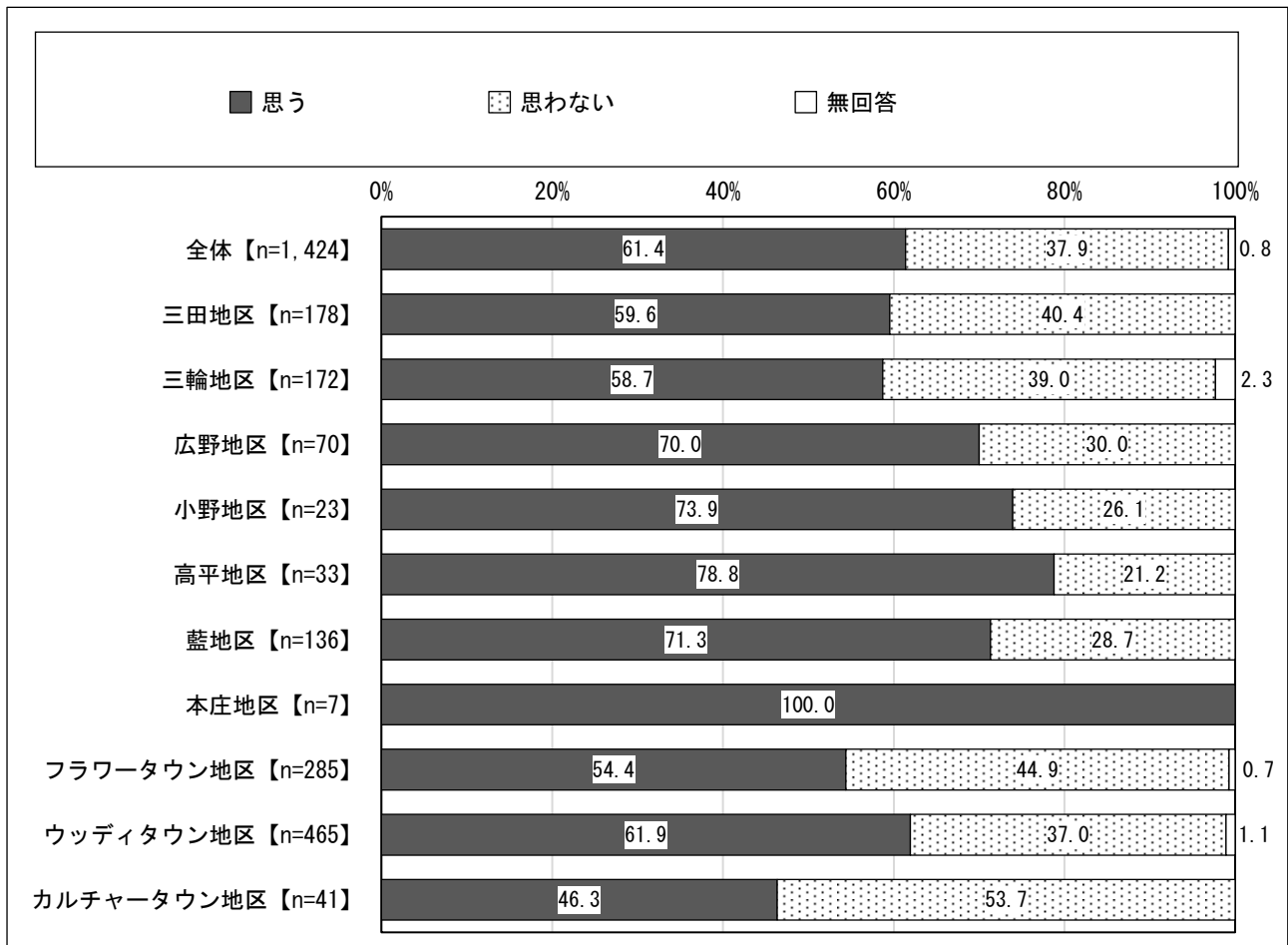
【年代別】



年代別にみると、「思う」が10歳代で82.6%と最も高くなっており、次いで、70歳代(71.0%)、80歳以上(63.2%)の順となっています。

一方、「思わない」は、30歳代が51.6%と半数を超え最も高くなっています。

【地区別】



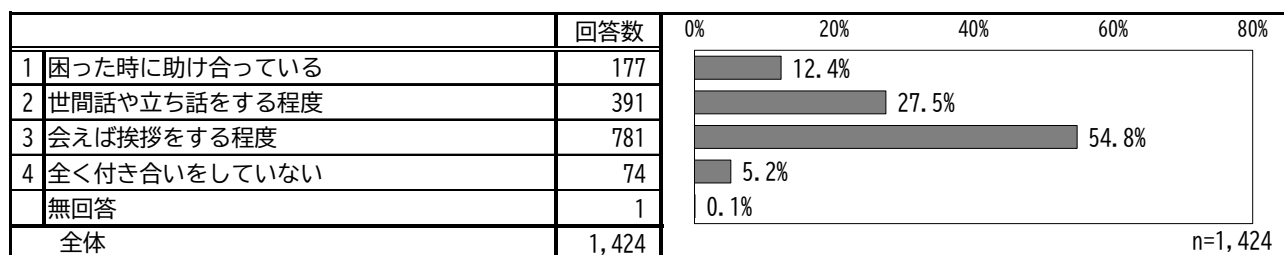
地区別にみると、「思う」は本庄地区が100%と最も高くなっており、次いで、高平地区（78.8%）、小野地区（73.9%）の順となっています。

一方、「思わない」はカルチャータウン地区が53.7%と最も高くなっており、次いでフラワータウン地区（44.9%）、三田地区（40.4%）の順となっています。

Ⅱ 調査結果

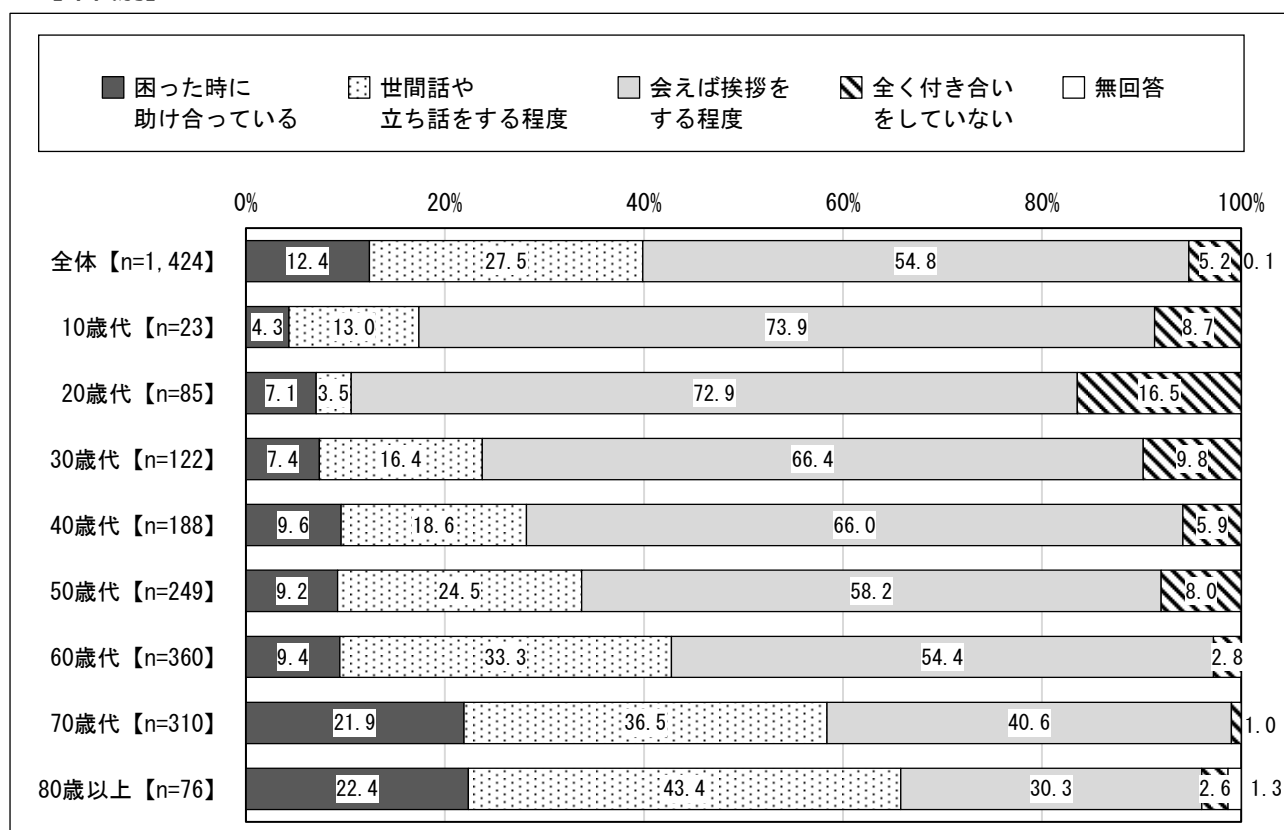
(12) 隣近所との付き合いの程度

問 12 あなたは、隣近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(○は1つ)



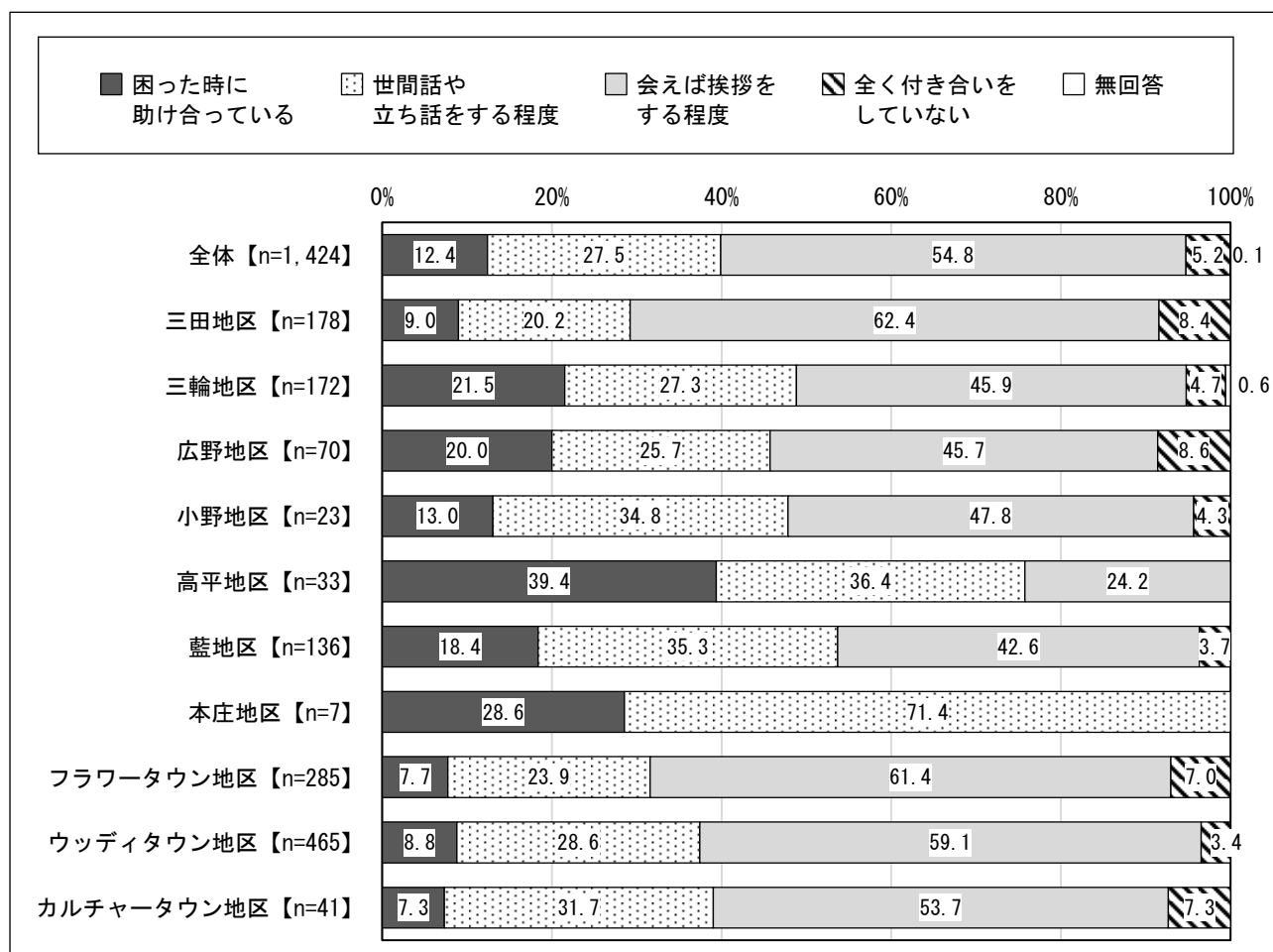
隣近所の人との付き合いの程度について、「会えば挨拶をする程度」が 54.8%と最も高くなっています。次いで、「世間話や立ち話をする程度」(27.5%)、「困った時に助け合っている」(12.4%)、「全く付き合いをしていない」(5.2%)の順となっています。

【年代別】



年代別にみると、「困った時に助け合っている」は70歳代及び80歳以上が20%を超えており、他の年代と比べると特に高い割合となっています。「世間話や立ち話をする程度」は30歳代以上で年齢層が高くなるほど割合も高くなっており、80歳以上では43.4%となっています。「会えば挨拶をする程度」は10～60歳代で半数を超えており、10歳代が73.9%と最も高くなっています。「全く付き合いをしていない」は、20歳代が16.5%と最も高くなっています。

【地区別】



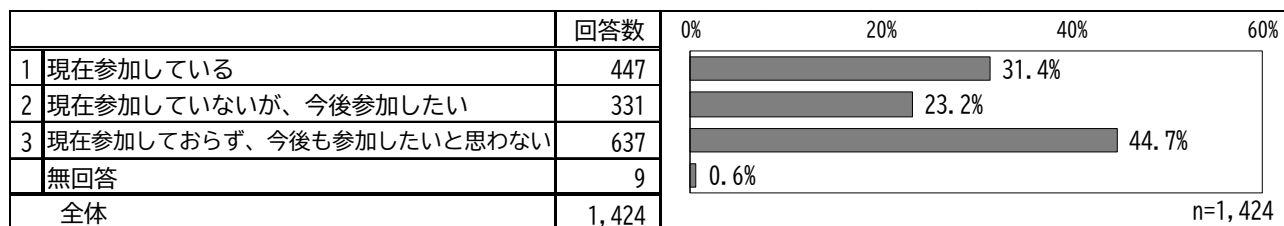
地区別にみると、「困った時に助け合っている」は、高平地区(39.4%)、本庄地区(28.6%)、三輪地区(21.5%)の順となっています。「世間話や立ち話をする程度」は、本庄地区(71.4%)、高平地区(36.4%)、藍地区(35.3%)の順となっています。「会えば挨拶をする程度」は、三田地区(62.4%)、フラワータウン地区(61.4%)、ウッディタウン地区(59.1%)の順となっています。「全く付き合いをしていない」は、広野地区(8.6%)、三田地区(8.4%)、カルチャータウン地区(7.3%)の順となっています。

II 調査結果

(13) 地域活動への参加状況

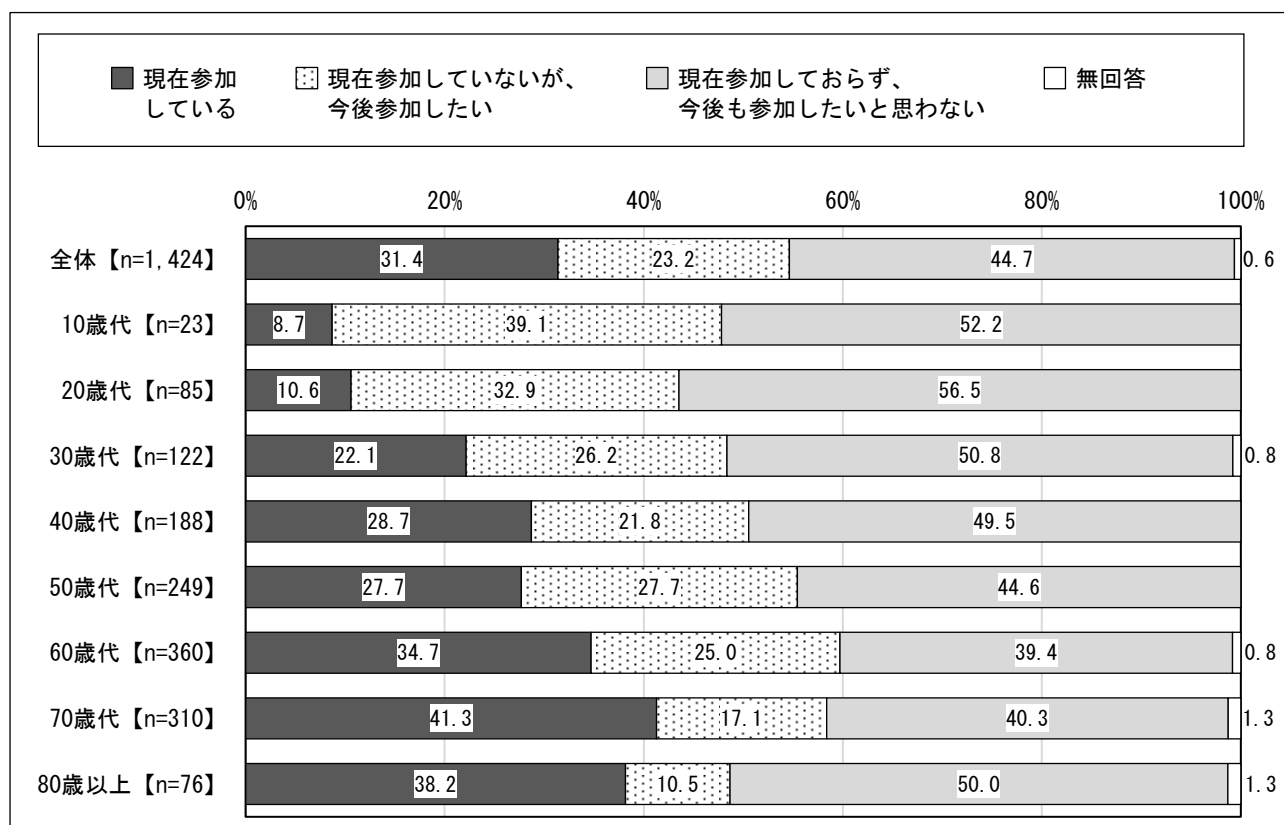
問 13 あなたは、地域活動（自治会の活動やボランティアの活動など）に参加していますか。

(○は1つ)



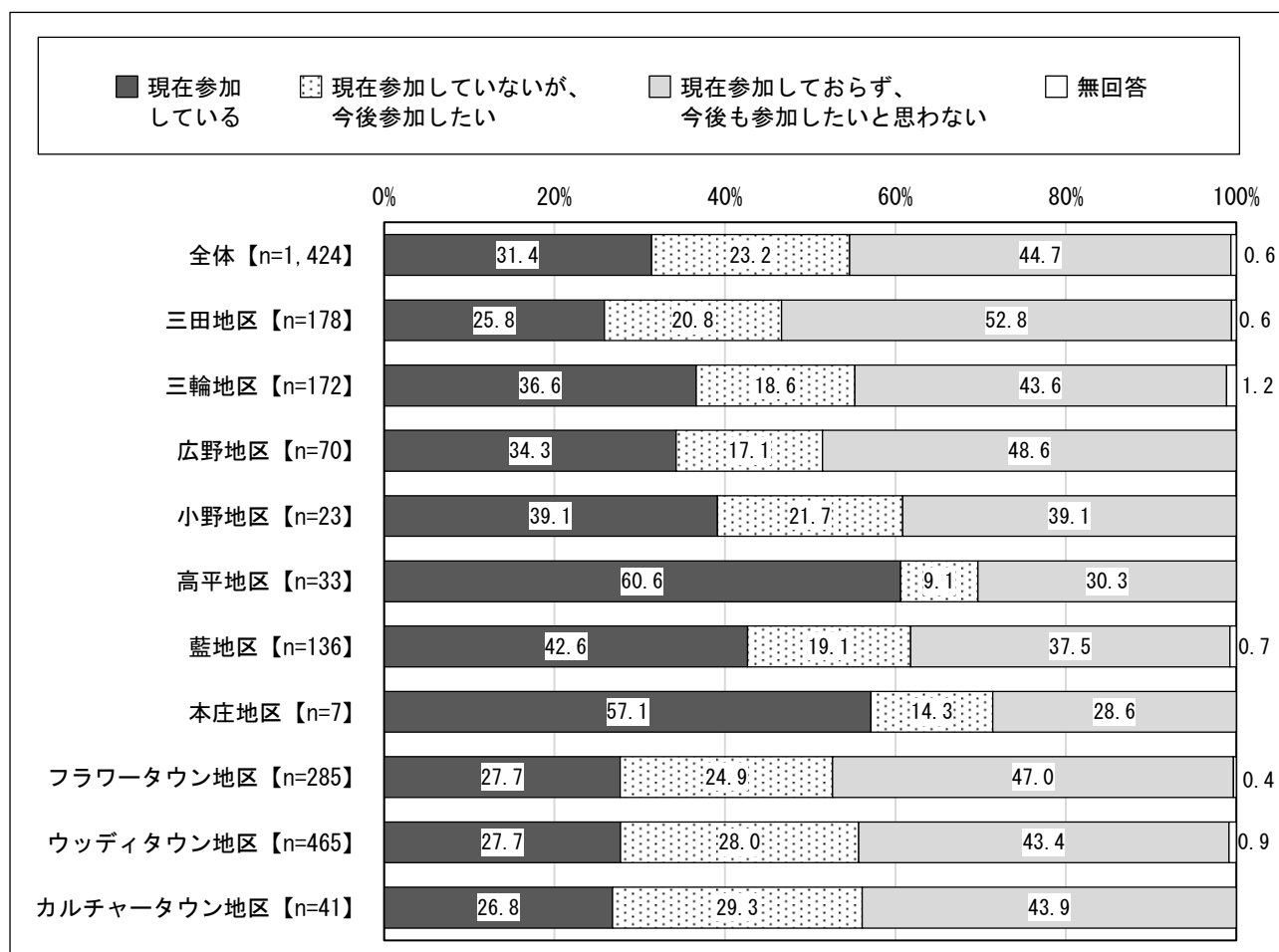
地域活動への参加状況について、「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が44.7%と最も高くなっています。次いで、「現在参加している」(31.4%)、「現在参加していないが、今後参加したい」(23.2%)の順となっています。

【年代別】



年代別にみると、「現在参加している」は、70歳代が41.3%と最も高くなっています。次いで、80歳以上(38.2%)、60歳代(34.7%)の順となっています。「現在参加していないが、今後参加したい」は、10歳代が39.1%と最も高くなっています。次いで、20歳代(32.9%)、50歳代(27.7%)の順となっています。「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」は、20歳代が56.5%と最も高くなっています。次いで、10歳代(52.2%)、30歳代(50.8%)の順となっています。

【地区別】

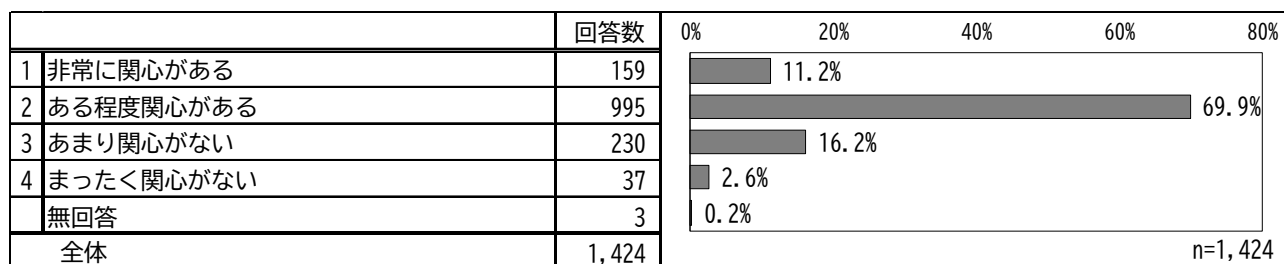


地区別にみると、「現在参加している」は、高平地区（60.6%）、本庄地区（57.1%）、三輪地区（36.6%）の順となっています。「現在参加していないが、今後参加したい」は、カルチャータウン地区（29.3%）、ウッディタウン地区（28.0%）、フラワータウン地区（24.9%）の順となっています。「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」は、三田地区（52.8%）、広野地区（48.6%）、フラワータウン地区（47.0%）の順となっています。

Ⅱ 調査結果

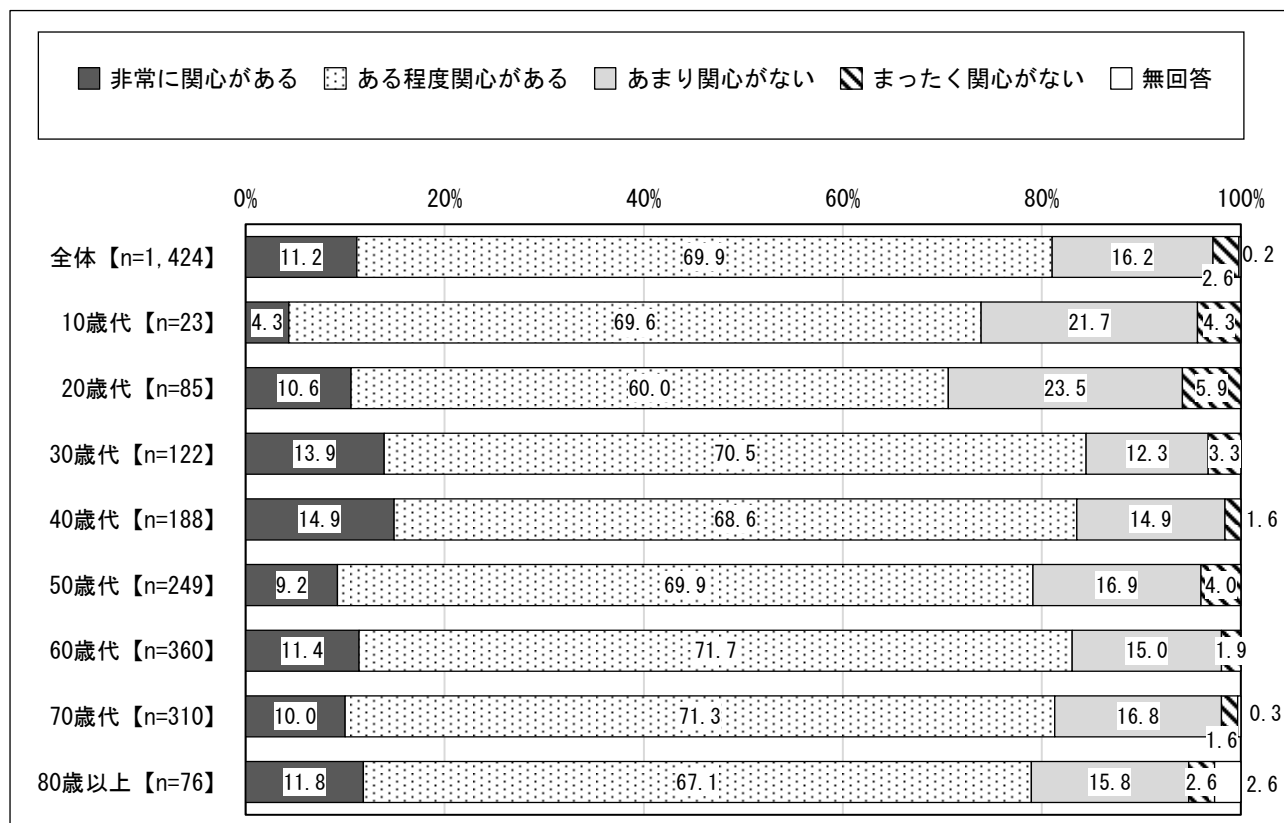
(14) 三田市のまちづくりへの関心度

問 14 あなたは、三田市のまちづくりにどの程度関心がありますか。(○は1つ)



三田市のまちづくりへの関心度について、「ある程度関心がある」が69.9%と最も高くなっています。次いで、「あまり関心がない」(16.2%)、「非常に関心がある」(11.2%)、「まったく関心がない」(2.6%)の順となっています。

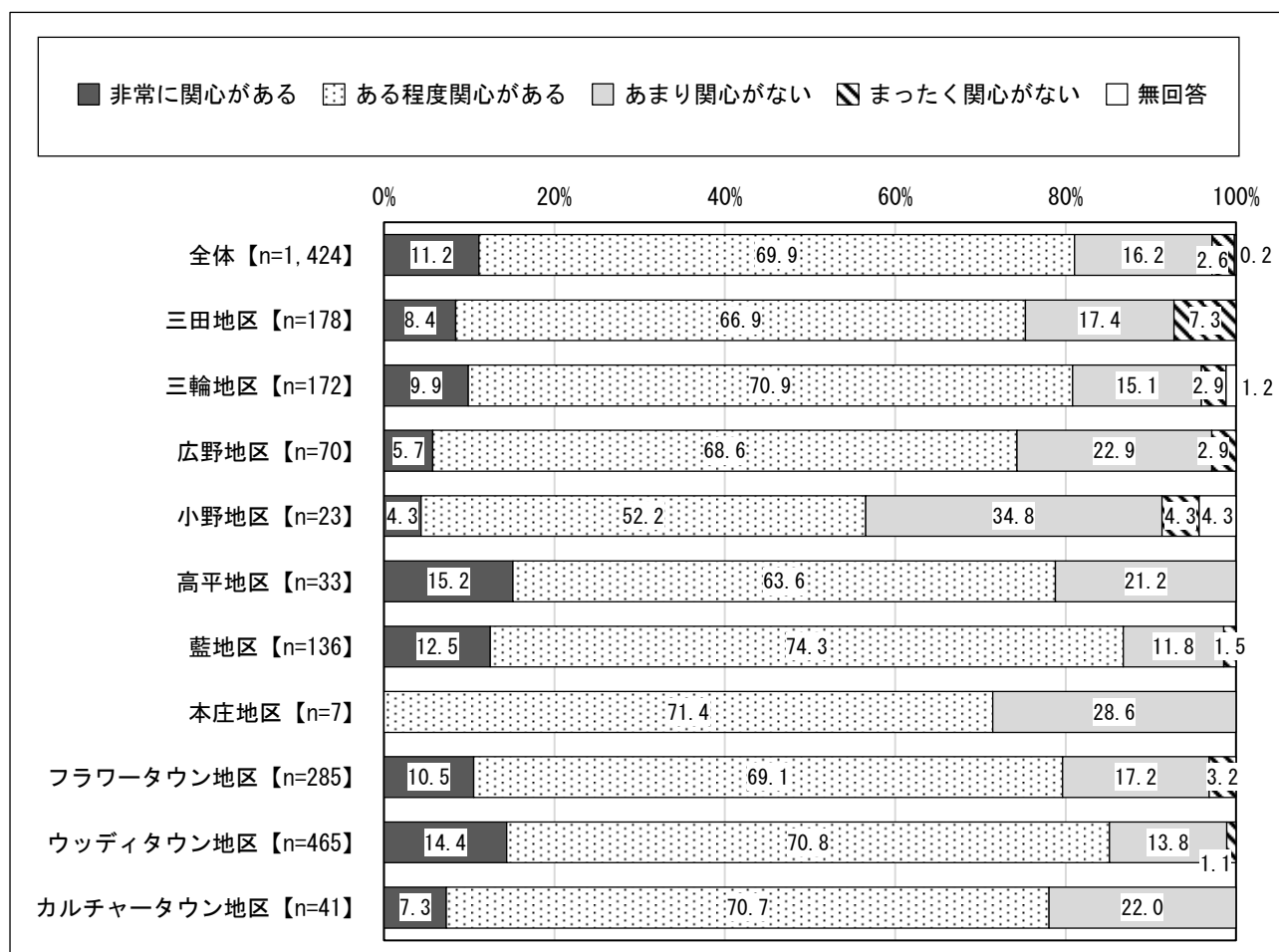
【年代別】



年代別にみると、全ての年代で「ある程度関心がある」は半数を超えています。「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』は30歳代で84.4%と最も高く、次いで、40歳代(83.5%)、60歳代(83.1%)の順となっています。

一方、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた『関心がない』は20歳代が29.4%と最も高く、次いで、10歳代(26.0%)、50歳代(20.9%)の順となっています。

【地区別】



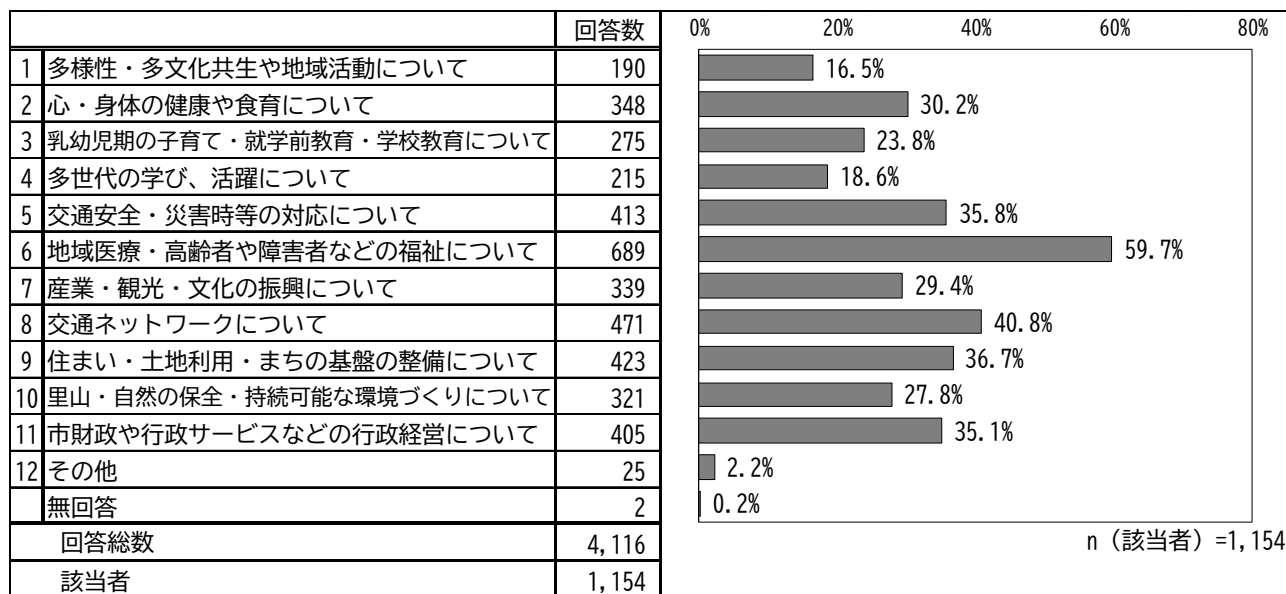
地区別にみると、全ての地区で「ある程度関心がある」は、半数を超えています。『関心がある』は、藍地区（86.8%）、ウッディタウン地区（85.2%）、三輪地区（80.8%）の順となっています。

一方、『関心がない』は、小野地区（39.1%）、本庄地区（28.6%）、広野地区（25.8%）の順となっています。

Ⅱ 調査結果

(15) 三田市のまちづくりに関心のある分野

問15 問14で「1 非常に関心がある」、「2 ある程度関心がある」を選択した方にお聞きします。
三田市のまちづくりに関心のある分野は何ですか。(〇はいくつでも)



三田市のまちづくりへの関心度で「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」を選択した1,154人を対象に、関心のある分野について尋ねたところ、「地域医療・高齢者や障害者などの福祉について」が59.7%と最も高くなっています。次いで、「交通ネットワークについて」(40.8%)、「住まい・土地利用・まちの基盤の整備について」(36.7%)の順となっています。

【年代別】

	1 多 様 性 ・ 多 文 化 共 生 や 地 域 活 動 に つ い て	2 心 ・ 身 体 の 健 康 や 食 育 に つ い て	3 乳 幼 児 期 の 子 育 て ・ 就 学 前 教 育 ・ 学 校 教 育 に つ い て	4 多 世 代 の 学 び 、 活 躍 に つ い て	5 交 通 安 全 ・ 災 害 時 等 の 対 応 に つ い て	6 地 域 医 療 ・ 高 齢 者 や 障 害 者 な ど の 福 祉 に つ い て	7 産 業 ・ 観 光 ・ 文 化 の 振 興 に つ い て	8 交 通 ネ ッ ト ワ ー ク に つ い て	9 住 ま い ・ 土 地 利 用 ・ ま ち の 基 盤 の 整 備 に つ い て	10 里 山 ・ 自 然 の 保 全 ・ 持 続 可 能 な 環 境 づ く り に つ い て	11 市 財 政 や 行 政 サ ー ビ ス な ど の 行 政 経 営 に つ い て	12 そ の 他	無 回 答
n(該当者) =1154	16.5%	30.2%	23.8%	18.6%	35.8%	59.7%	29.4%	40.8%	36.7%	27.8%	35.1%	2.2%	0.2%
10歳代 【n=17】	23.5%	23.5%	35.3%	5.9%	29.4%	17.6%	52.9%	35.3%	41.2%	29.4%	29.4%	0.0%	0.0%
20歳代 【n=60】	21.7%	26.7%	26.7%	18.3%	40.0%	28.3%	41.7%	36.7%	30.0%	18.3%	30.0%	0.0%	0.0%
30歳代 【n=103】	15.5%	34.0%	66.0%	19.4%	34.0%	27.2%	30.1%	32.0%	48.5%	27.2%	32.0%	0.0%	0.0%
40歳代 【n=157】	18.5%	26.1%	43.3%	21.0%	33.8%	38.2%	29.9%	35.0%	36.9%	23.6%	39.5%	0.6%	0.0%
50歳代 【n=197】	13.2%	26.9%	19.3%	16.8%	39.6%	62.9%	31.5%	42.6%	34.0%	28.4%	34.0%	2.5%	0.0%
60歳代 【n=299】	16.4%	32.8%	14.0%	22.4%	35.1%	71.2%	27.8%	44.1%	41.1%	28.8%	37.1%	2.7%	0.3%
70歳代 【n=252】	16.7%	31.7%	11.1%	15.1%	34.5%	74.2%	27.4%	43.7%	33.3%	29.8%	34.9%	3.2%	0.4%
80歳以上 【n=60】	18.3%	33.3%	13.3%	18.3%	36.7%	83.3%	15.0%	38.3%	21.7%	36.7%	31.7%	3.3%	0.0%

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

年代別にみると、10歳代及び20歳代は、「産業・観光・文化の振興について」が最も高くなっています。30歳代及び40歳代は、「乳幼児期の子育て・就学前教育・学校教育について」が最も高くなっています。50～80歳以上は「地域医療・高齢者や障害者などの福祉について」が最も高くなっており、割合は60～80%と多くの方の関心を集めています。一方、10～30歳代では30%未満にとどまり、年代ごとの特徴がうかがえます。

II 調査結果

【地区別】

	1 多様性・多文化共生や地域活動について	2 心・身体の健康や食育について	3 乳幼児期の子育て・就学前教育・学校教育について	4 多世代の学び、活躍について	5 交通安全・災害時等の対応について	6 地域医療・高齢者や障害者などの福祉について	7 産業・観光・文化の振興について	8 交通ネットワークについて	9 住まい・土地利用・まちの基盤の整備について	10 里山・自然の保全・持続可能な環境づくりについて	11 市財政や行政サービスなどの行政経営について	12 その他	無回答
n(該当者) =1,162	16.5%	30.2%	23.8%	18.6%	35.8%	59.7%	29.4%	40.8%	36.7%	27.8%	35.1%	2.2%	0.2%
三田地区 【n=166】	17.9%	28.4%	27.6%	14.9%	40.3%	46.3%	32.8%	29.9%	33.6%	17.2%	38.1%	2.2%	0.0%
三輪地区 【n=114】	11.5%	30.9%	20.1%	17.3%	36.0%	61.9%	21.6%	38.1%	33.8%	28.8%	31.7%	3.6%	0.0%
広野地区 【n=55】	17.3%	36.5%	13.5%	13.5%	30.8%	53.8%	28.8%	40.4%	36.5%	23.1%	46.2%	1.9%	0.0%
小野地区 【n=24】	15.4%	30.8%	23.1%	15.4%	46.2%	69.2%	23.1%	69.2%	38.5%	53.8%	15.4%	0.0%	0.0%
高平地区 【n=26】	19.2%	23.1%	30.8%	26.9%	46.2%	61.5%	34.6%	46.2%	38.5%	46.2%	23.1%	0.0%	3.8%
藍地区 【n=99】	13.6%	19.5%	17.8%	12.7%	34.7%	65.3%	21.2%	48.3%	33.9%	33.9%	35.6%	2.5%	0.8%
本庄地区 【n=19】	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	40.0%	80.0%	40.0%	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%
フラワータウン地区 【n=235】	17.6%	27.3%	21.1%	24.2%	33.0%	63.0%	33.5%	43.2%	40.1%	27.8%	30.4%	2.6%	0.0%
ウッディタウン地区 【n=384】	18.2%	35.4%	27.8%	18.7%	34.8%	59.6%	31.3%	39.1%	36.6%	27.8%	38.4%	1.5%	0.0%
カルチャータウン地区 【n=23】	18.8%	28.1%	34.4%	28.1%	43.8%	56.3%	21.9%	46.9%	46.9%	34.4%	31.3%	0.0%	0.0%

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

地区別にみると、全ての地区で「地域医療・高齢者や障害者などの福祉について」が最も高くなっています。「交通ネットワークについて」は、三田地区を除く地区で高くなっています。

(16) 三田市のまちづくりに関心がない理由

問 16 問 14 で「3 あまり関心がない」、「4 まったく関心がない」を選択した方にお聞きします。
三田市のまちづくりに関心がない理由をご記入ください。(30 文字まで)

問 14 で三田市のまちづくりに「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と回答した 267 名を対象に、その理由を尋ねたところ、185 件の意見があり、以下のとおりとなっています。

【行政運営について】 (71 件)

- ・ 行政や地域活動に対して興味や関心が持てない..... 13 件
- ・ 現状に満足しているため、特に関与する必要性を感じていない..... 12 件
- ・ 行政への不信感、施策への不満..... 10 件
- ・ 地域活動や行政に関する情報を十分に得られていない..... 7 件
- ・ 市民の意見が反映されにくいと感じる..... 4 件
- ・ 地域によって対応に差があると感じる..... 4 件
- ・ 施策の対象外で恩恵がない..... 4 件
- ・ 参加や協力の方法が分からないため関わりづらい..... 4 件
- ・ 期待していない..... 3 件
- ・ 信頼できない..... 3 件
- ・ まちづくりに積極性が見られないから..... 2 件
- ・ 政策を知らないため..... 2 件
- ・ 行政の方針や方向性が明確になってから関わりたいと考えている..... 2 件
- ・ 税金の使い方に納得できない..... 1 件

【まちへの思い】 (38 件)

- ・ 将来的に転居を予定しているため..... 10 件
- ・ 三田市に将来性を感じないため..... 6 件
- ・ 生活環境の不便さ・住みにくさ(交通・街灯・買い物等)..... 6 件
- ・ 三田市に魅力を感じない..... 5 件
- ・ 三田市に住み続けるかわからない..... 5 件
- ・ 三田市に愛着を感じない..... 2 件
- ・ 地域の人と関わりを持つのが難しいと感じるため..... 2 件
- ・ 活動の機会不足(参加できそうな活動がない)..... 2 件

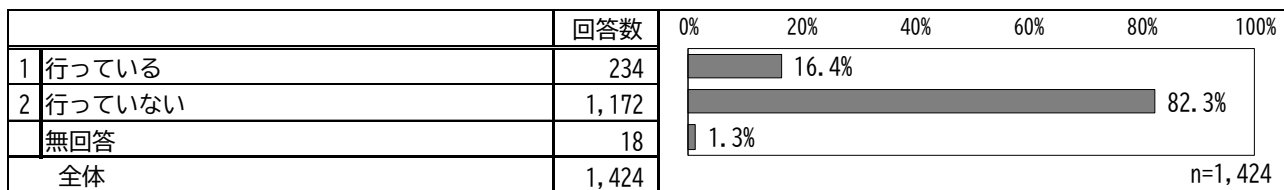
【その他】 (76 件)

- ・ 日々の生活に精一杯で、余裕がない..... 42 件
- ・ 体調や加齢など、健康面の理由で関わるのが難しい..... 10 件
- ・ 将来に希望がない・老い先の短さを意識..... 5 件
- ・ 他の趣味や活動に時間や関心を向けており、優先度が低い..... 4 件
- ・ 身体的制約・障害のため..... 3 件
- ・ 居住年数が短いため..... 2 件
- ・ 家族が参加・家族に任せている..... 1 件
- ・ その他..... 9 件

II 調査結果

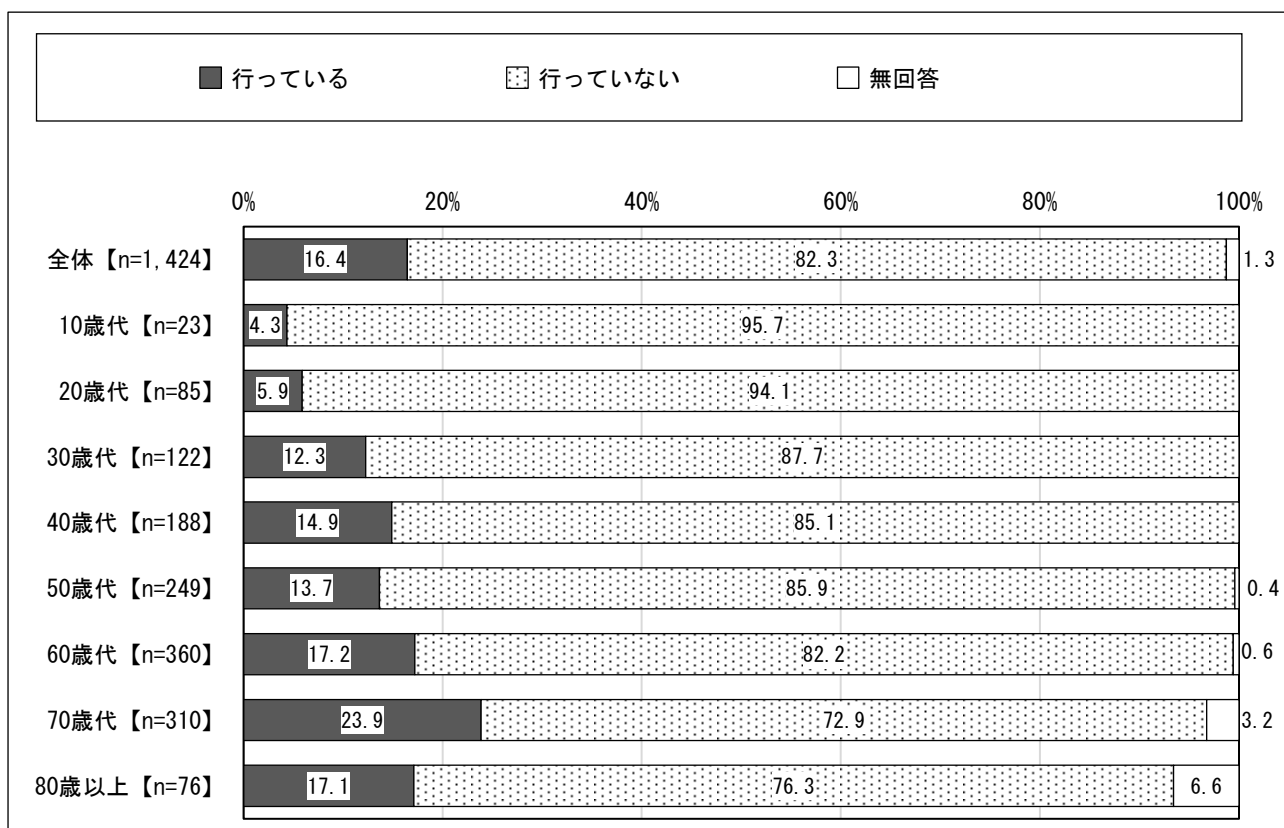
(17) よりよい三田のまちのための取り組み状況

問 17 あなたは、よりよい三田のまちのため意識して行っていることはありますか。(○は1つ)



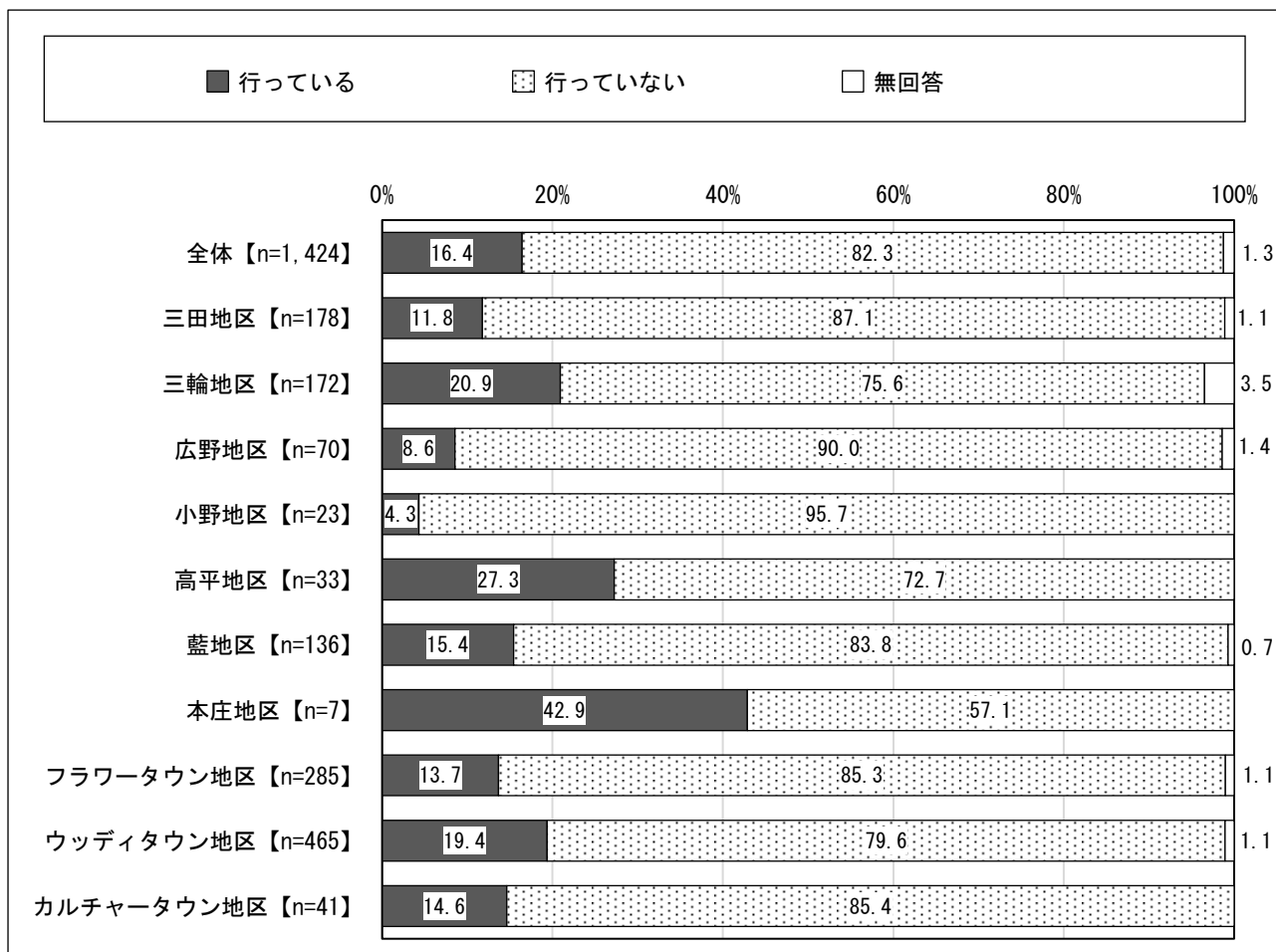
よりよい三田のまちのための取り組み状況について、「行っている」が16.4%、「行っていない」が82.3%となっています。

【年代別】



年代別にみると、「行っている」は、70歳代が23.9%と最も高くなっています。次いで、約17%で60歳代及び80歳以上の順となっています。10歳代及び20歳代は他の年代に比べて低く、10歳代は4.3%と最も低くなっています。

【地区別】



地区別にみると、「行っている」は本庄地区が42.9%と最も高くなっています。次いで、高平地区(27.3%)、三輪地区(20.9%)の順となっています。

一方、「行っていない」は、小野地区が95.7%と最も高く、次いで、広野地区(90.0%)、三田地区(87.1%)の順となっています。

(18) よりよい三田のまちのためにやっている事例

問18 問17で「1 行っている」を選択した方にお聞きします。

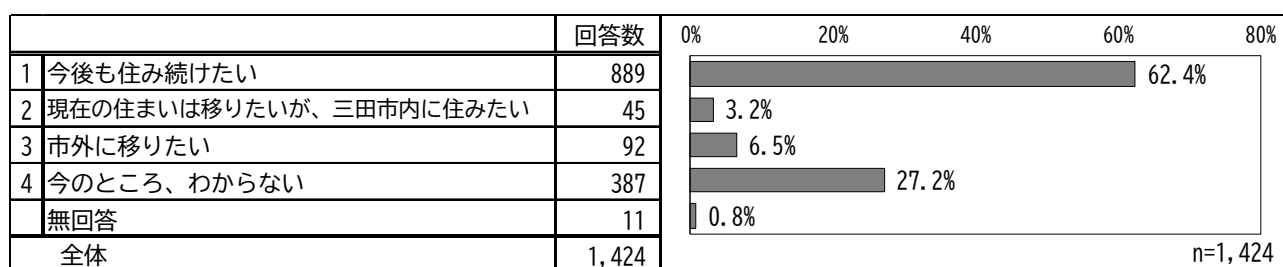
あなたが行っていることをご記入ください。(30文字まで)

問17でよりよい三田のまちのため意識して「行っている」と回答した234名を対象に、その内容を尋ねたところ、263件の意見があり、以下のとおりとなっています。

・地域の行事、イベントに参加している.....	62件
・地域の緑化と美化に向けた環境整備活動を行っている.....	48件
・区、自治会、まちづくり協議会などの地域の活動に関わっている.....	21件
・クリーンデーに参加している.....	19件
・ボランティア活動に参加している.....	19件
・高齢者や子どもの見守り、声かけをしている.....	18件
・子どもたちの健やかな成長のために活動している.....	17件
・市民活動団体に所属・協力している.....	9件
・交通法規など、社会のルールを守っている.....	8件
・近隣住民と挨拶や交流を心がけている.....	8件
・リサイクルに積極的に取り組んでいる.....	7件
・健康づくり（運動・検診）に参加している.....	4件
・文化活動（サークル・学習会）に参加している.....	4件
・高齢者、障害者、外国人へのサポートをしている.....	4件
・三田市内での買い物、三田産のものを購入するよう意識している.....	3件
・三田市の良さをPRしている.....	2件
・周囲の方とのコミュニケーションを大切にしている.....	2件
・三田市に関する情報収集をしている.....	1件
・まちの担い手として活動している.....	1件
・公共交通機関を利用している.....	1件
・その他.....	5件

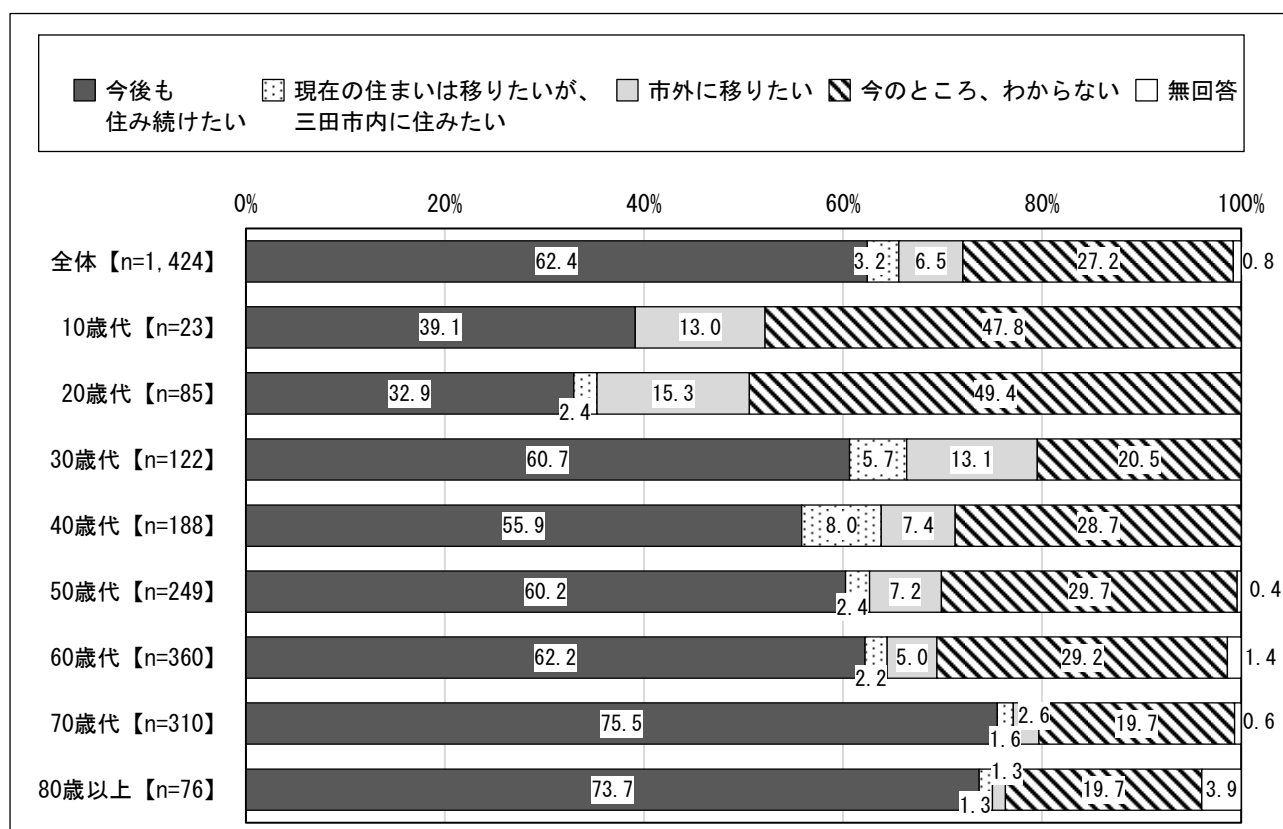
(19) 今後の三田市での居留意向

問 19 あなたは、これからも三田市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)



今後の三田市での居留意向について、「今後も住み続けたい」が62.4%と最も高くなっています。次いで、「今のところ、わからない」(27.2%)、「市外に移りたい」(6.5%)、「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」(3.2%)の順となっています。

【年代別】

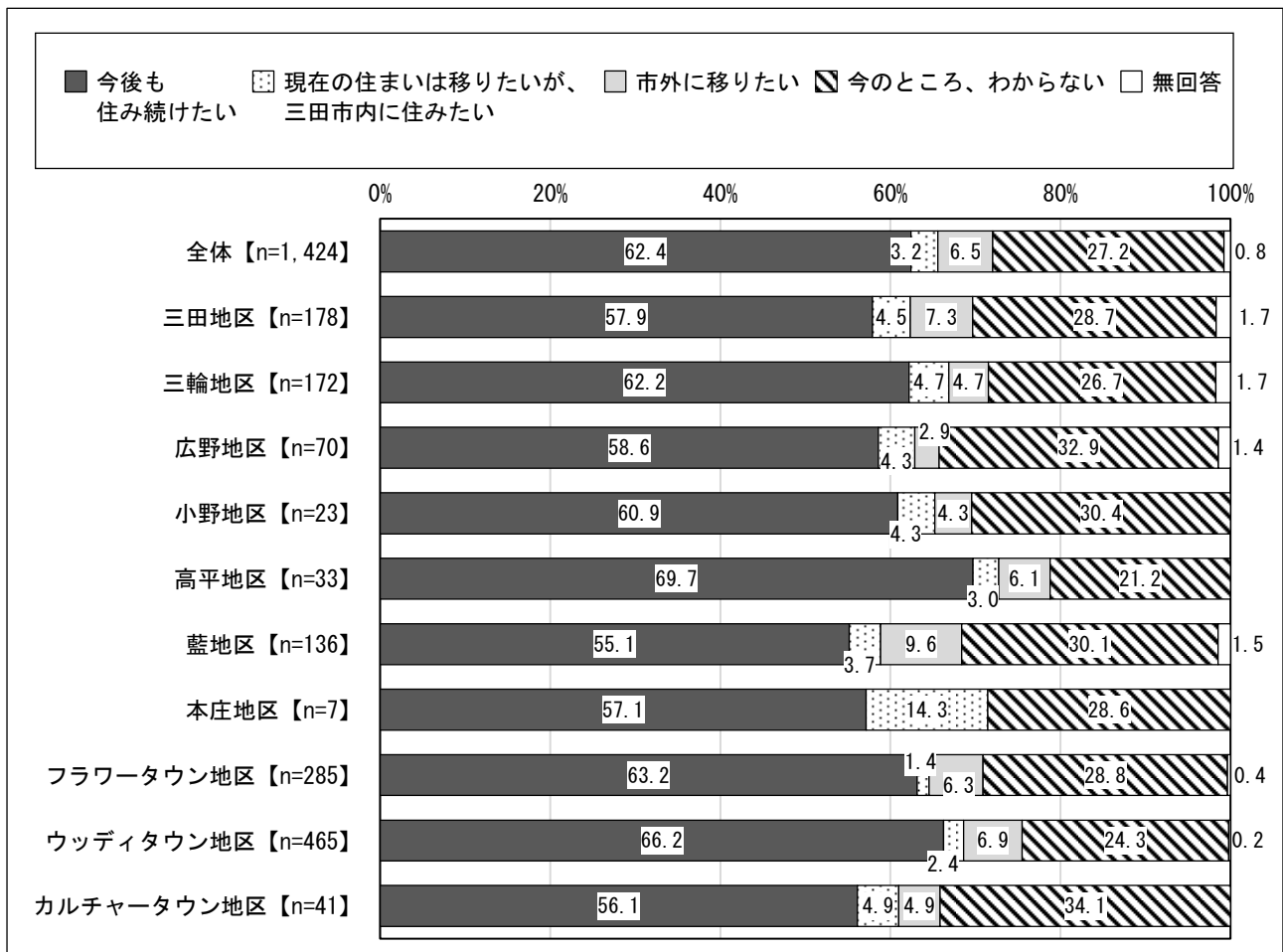


年代別にみると、「今後も住み続けたい」が30歳代以上で半数を超えており、70歳代で75.5%と最も高くなっています。「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」は、40歳代で8.0%と最も高く、次いで、30歳代(5.7%)、20歳代及び50歳代(2.4%)の順となっています。

一方、「市外に移りたい」は、20歳代で15.3%と最も高くなっており、次いで30歳代及び10歳代がほぼ同数の約13%となっています。「今のところ、わからない」は、20歳代が49.4%と最も高くなっており、次いで、10歳代(47.8%)、50歳代(29.7%)の順となっています。

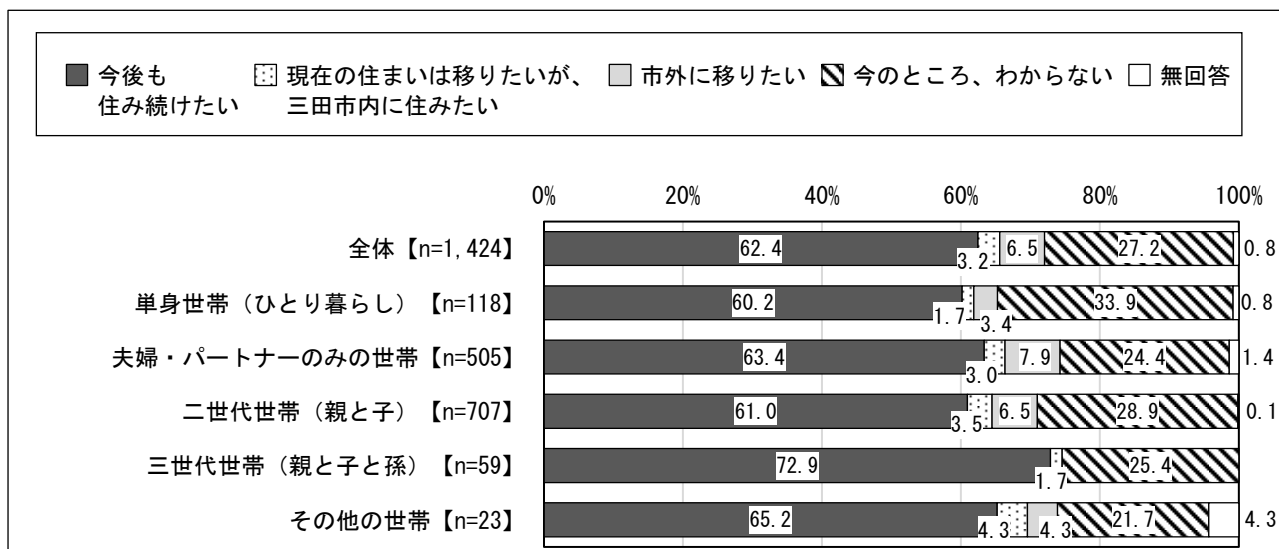
II 調査結果

【地区別】



地区別にみると、全ての地区で「今後も住み続けたい」が最も高くなっており、高平地区が69.7%と最も高く、次いで、ウッディタウン地区（66.2%）、フラワータウン地区（63.2%）の順となっています。「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」は、本庄地区（14.3%）、カルチャータウン地区（4.9%）、三輪地区（4.7%）の順となっています。「市外に移りたい」は、藍地区（9.6%）、三田地区（7.3%）、ウッディタウン地区（6.9%）の順となっています。「今のところ、わからない」は、カルチャータウン地区（34.1%）、広野地区（32.9%）、小野地区（30.4%）の順となっています。

【世帯構成別】

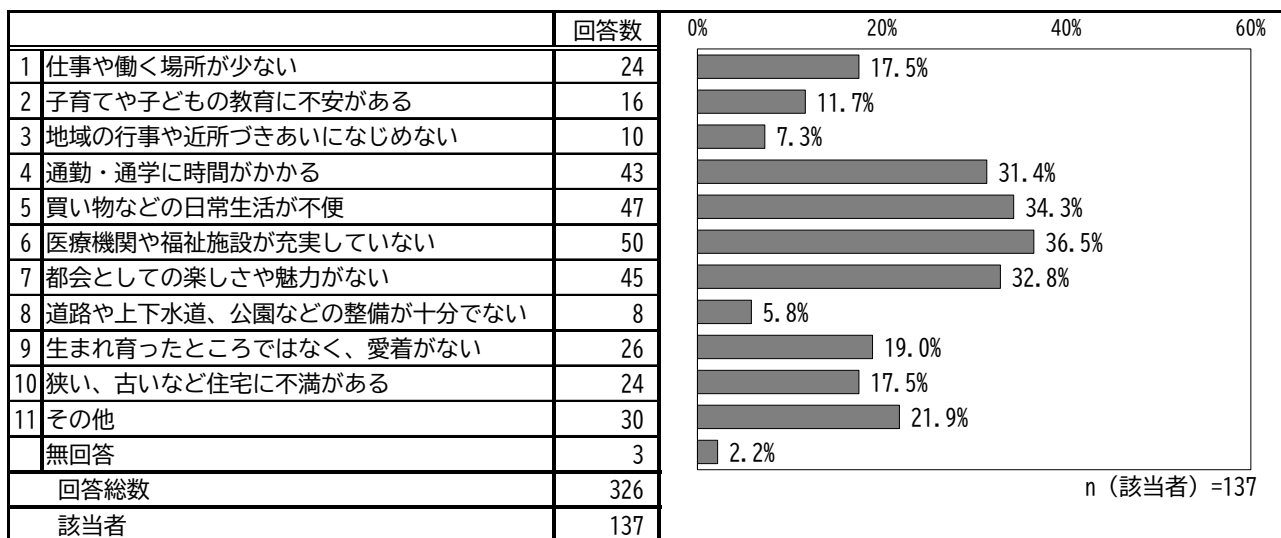


世帯構成別にみると、「今後も住み続けたい」は、三世帯世帯（親と子と孫）が72.9%と最も高くなっています。「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」は、その他の世帯が4.3%と最も高くなっています。「市外に移りたい」は、夫婦・パートナーのみの世帯が7.9%と最も高くなっています。「今のところ、わからない」は、単身世帯（ひとり暮らし）が33.9%と最も高くなっています。

Ⅱ 調査結果

(20) 転出・転居したい理由

問 20 問 19 で「2 現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」、「3 市外に移りたい」を選択した方にお聞きします。転出あるいは転居したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)



今後の三田市での居住意向について、「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」と「市外に移りたい」を選択した 137 人を対象に、転出あるいは転居したい理由を尋ねたところ、「医療機関や福祉施設が充実していない」が 36.5%と最も高くなっています。次いで、「買い物などの日常生活が不便」(34.3%)、「都会としての楽しさや魅力がない」(32.8%)の順となっています。

【年代別】

	1 仕事や働く場所が少ない	2 子育てや子どもの教育に不安がある	3 地域の行事や近所づきあいになじめない	4 通勤・通学に時間がかかる	5 買い物などの日常生活が不便	6 医療機関や福祉施設が充実していない	7 都会（まち）として楽しさや魅力がない	8 道路や上下水道、公園などの整備が十分でない	9 生まれ育ったところではなく、愛着がない	10 狭い、古いなど住宅に不満がある	11 その他	無回答
n(該当者) =137	17.5%	11.7%	7.3%	31.4%	34.3%	36.5%	32.8%	5.8%	19.0%	17.5%	21.9%	2.2%
10歳代 【n=3】	66.7%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
20歳代 【n=15】	20.0%	0.0%	0.0%	33.3%	13.3%	13.3%	33.3%	0.0%	13.3%	6.7%	20.0%	0.0%
30歳代 【n=23】	13.0%	30.4%	8.7%	21.7%	17.4%	17.4%	39.1%	8.7%	26.1%	8.7%	30.4%	4.3%
40歳代 【n=29】	24.1%	17.2%	6.9%	37.9%	20.7%	20.7%	27.6%	6.9%	17.2%	34.5%	37.9%	3.4%
50歳代 【n=24】	20.8%	8.3%	8.3%	41.7%	33.3%	45.8%	16.7%	4.2%	16.7%	20.8%	16.7%	0.0%
60歳代 【n=26】	11.5%	7.7%	7.7%	34.6%	42.3%	61.5%	42.3%	7.7%	26.9%	15.4%	7.7%	3.8%
70歳代 【n=13】	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	92.3%	53.8%	38.5%	0.0%	15.4%	15.4%	7.7%	0.0%
80歳以上 【n=2】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

年代別にみると、10歳代は「仕事や働く場所が少ない」及び「通勤・通学に時間がかかる」、20歳代は「通勤・通学に時間がかかる」及び「都会（まち）として楽しさや魅力がない」が最も高くなっています。30歳代は「都会（まち）として楽しさや魅力がない」、40歳代は「通勤・通学に時間がかかる」及び「その他」が最も高くなっています。50歳代、60歳代及び80歳以上は「医療機関や福祉施設が充実していない」、70歳代は「買い物などの日常生活が不便」が最も高くなっています。

Ⅱ 調査結果

【地区別】

	1 仕事や働く場所が少ない	2 子育てや子どもの教育に不安がある	3 地域の行事や近所づきあいになじめない	4 通勤・通学に時間がかかる	5 買い物などの日常生活が不便	6 医療機関や福祉施設が充実していない	7 都会（まち）として楽しさや魅力がない	8 道路や上下水道、公園などの整備が十分でない	9 生まれ育ったところではなく、愛着がない	10 狭い、古いなど住宅に不満がある	11 その他	無回答
n(該当者) =137	17.5%	11.7%	7.3%	31.4%	34.3%	36.5%	32.8%	5.8%	19.0%	17.5%	21.9%	2.2%
三田地区 【n=21】	19.0%	19.0%	9.5%	23.8%	0.0%	14.3%	23.8%	9.5%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%
三輪地区 【n=16】	18.8%	12.5%	18.8%	37.5%	31.3%	12.5%	25.0%	12.5%	25.0%	31.3%	31.3%	6.3%
広野地区 【n=5】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%
小野地区 【n=2】	50.0%	0.0%	0.0%	100%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高平地区 【n=3】	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
藍地区 【n=18】	22.2%	11.1%	11.1%	38.9%	72.2%	55.6%	27.8%	0.0%	16.7%	11.1%	11.1%	5.6%
本庄地区 【n=1】	100%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	0.0%	100%	0.0%	0.0%	100%	0.0%	0.0%
フラワータウン地区 【n=22】	31.8%	13.6%	4.5%	27.3%	63.6%	40.9%	54.5%	0.0%	27.3%	13.6%	18.2%	0.0%
ウッディタウン地区 【n=43】	7.0%	11.6%	0.0%	30.2%	9.3%	41.9%	32.6%	4.7%	18.6%	18.6%	20.9%	2.3%
カルチャータウン地区 【n=23】	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

地区別にみると、「仕事や働く場所が少ない」は、本庄地区、「通勤・通学に時間がかかる」は、三輪地区、小野地区及び高平地区で最も高くなっています。「買い物などの日常生活が不便」は、広野地区、高平地区、藍地区、本庄地区、フラワータウン地区及びカルチャータウン地区で高くなっています。「医療機関や福祉施設が充実していない」は、広野地区、高平地区及びウッディタウン地区で高くなっています。「都会（まち）として楽しさや魅力がない」は、本庄地区、「その他」は、三田地区及び広野地区で高くなっています。

【世帯構成別】

	1 仕事や働く場所が少ない	2 子育てや子どもの教育に不安がある	3 地域の行事や近所づきあいにじみない	4 通勤・通学に時間がかかる	5 買い物などの日常生活が不便	6 医療機関や福祉施設が充実していない	7 都会（まち）として楽しさや魅力がない	8 道路や上下水道、公園などの整備が十分でない	9 生まれ育ったところではなく、愛着がない	10 狭い、古いなど住宅に不満がある	11 その他	無回答
n(該当者) =137	17.5%	11.7%	7.3%	31.4%	34.3%	36.5%	32.8%	5.8%	19.0%	17.5%	21.9%	2.2%
単身世帯（ひとり暮らし） 【n=6】	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%
夫婦・パートナーのみの世帯 【n=55】	12.7%	3.6%	9.1%	29.1%	52.7%	50.9%	40.0%	1.8%	21.8%	12.7%	12.7%	0.0%
二世帯世帯（親と子） 【n=71】	21.1%	19.7%	2.8%	31.0%	19.7%	23.9%	25.4%	8.5%	15.5%	22.5%	29.6%	4.2%
三世帯世帯（親と子と孫） 【n=1】	0.0%	0.0%	0.0%	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	0.0%	0.0%
その他の世帯 【n=2】	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

世帯構成別にみると、単身世帯（ひとり暮らし）は、「医療機関や福祉施設が充実していない」、「都会（まち）として楽しさや魅力がない」及び「生まれ育ったところではなく、愛着がない」が最も高くなっています。夫婦・パートナーのみの世帯は、「買い物などに日常生活が不便」が最も高くなっています。二世帯世帯（親と子）は、「通勤・通学に時間がかかる」が最も高くなっています。三世帯世帯（親と子と孫）は、「通勤・通学に時間がかかる」及び「狭い、古いなど住宅に不満がある」が最も高くなっています。

II 調査結果

【今後の三田市での居留意向別】

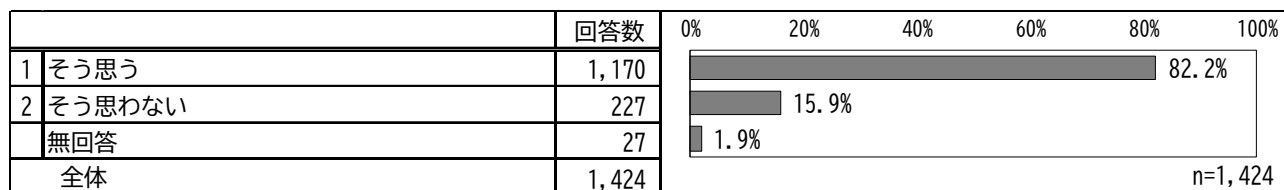
	1 仕事や働く場所が少ない	2 子育てや子どもの教育に不安がある	3 地域の行事や近所づきあいになじめない	4 通勤・通学に時間がかかる	5 買い物などの日常生活が不便	6 医療機関や福祉施設が充実していない	7 都会（まち）として楽しさや魅力がない	8 道路や上下水道、公園などの整備が十分でない	9 生まれ育ったところではなく、愛着がない	10 狭い、古いなど住宅に不満がある	11 その他	無回答
n(該当者) =137	17.5%	11.7%	7.3%	31.4%	34.3%	36.5%	32.8%	5.8%	19.0%	17.5%	21.9%	2.2%
現在の住まいは移りたいが、 三田市内に住みたい【n=45】	6.7%	6.7%	11.1%	13.3%	31.1%	20.0%	17.8%	4.4%	2.2%	46.7%	24.4%	6.7%
市外に移りたい 【n=92】	22.8%	14.1%	5.4%	40.2%	35.9%	44.6%	40.2%	6.5%	27.2%	3.3%	20.7%	0.0%

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

今後の三田市での居留意向別にみると、「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」は、「狭い、古いなど住宅に不満がある」がもっとも高く、「市外に移りたい」は、「医療機関や福祉施設が充実していない」が最も高くなっています。

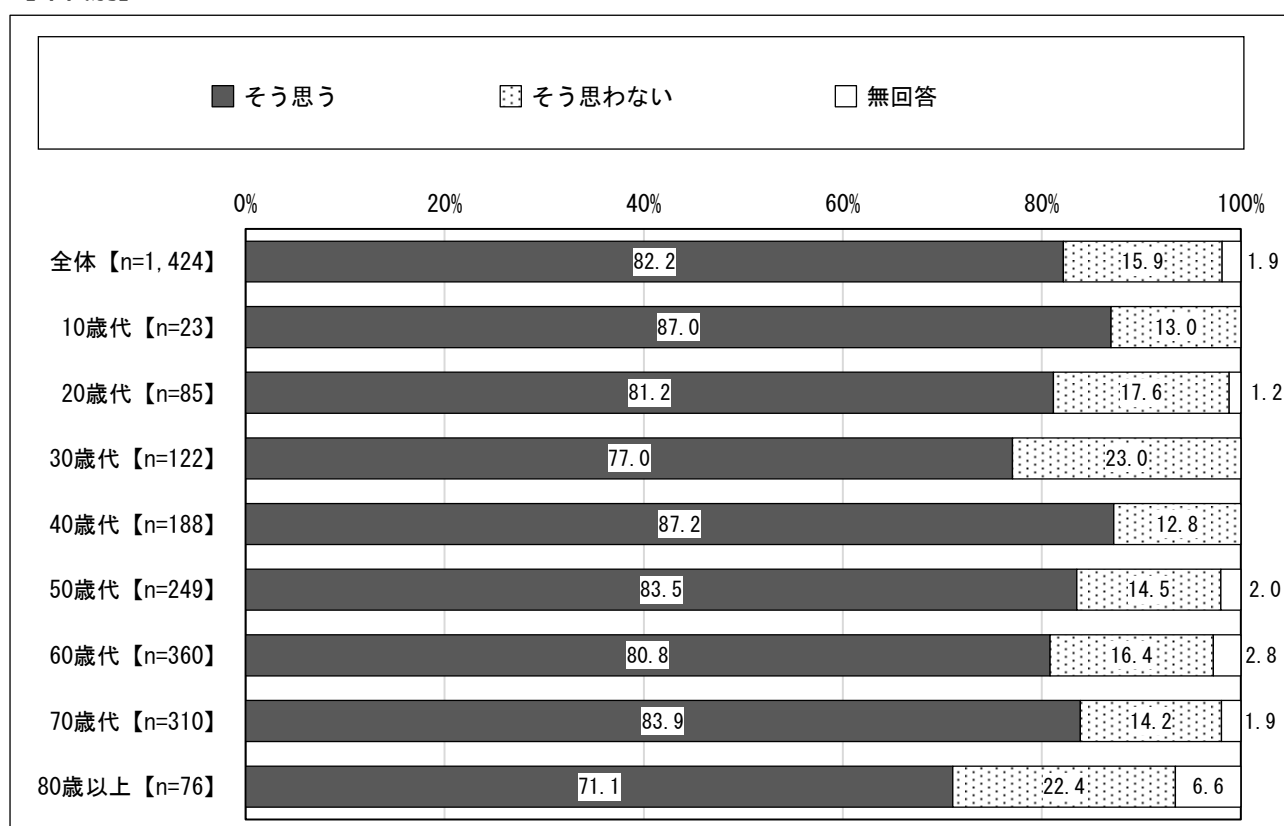
(21) 人権問題の解決に向けての自分の努力

問 21 あなたは、人権問題の解決に向けて、社会全体で取り組むとともに、自分も努力すべきだと思いますか。(〇は1つ)



人権問題の解決に向けて、社会全体で取り組むとともに、自分も努力すべきだと思うかについて、「そう思う」が82.2%、「そう思わない」が15.9%となっています。

【年代別】



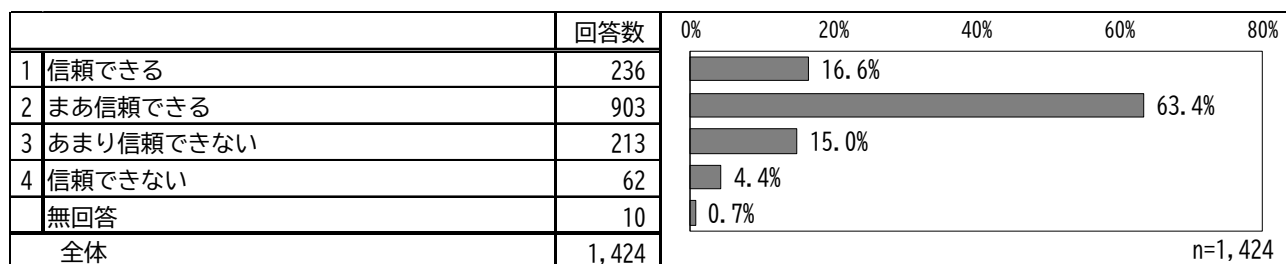
年代別にみると、全ての年代で「そう思う」が最も高くなっており、最も高い割合は40歳代の87.2%となっています。

一方、「そう思わない」は、30歳代の23.0%が最も高く、次いで、80歳以上(22.4%)、20歳代(17.6%)の順となっています。

II 調査結果

(22) 三田市役所に対する信頼の程度

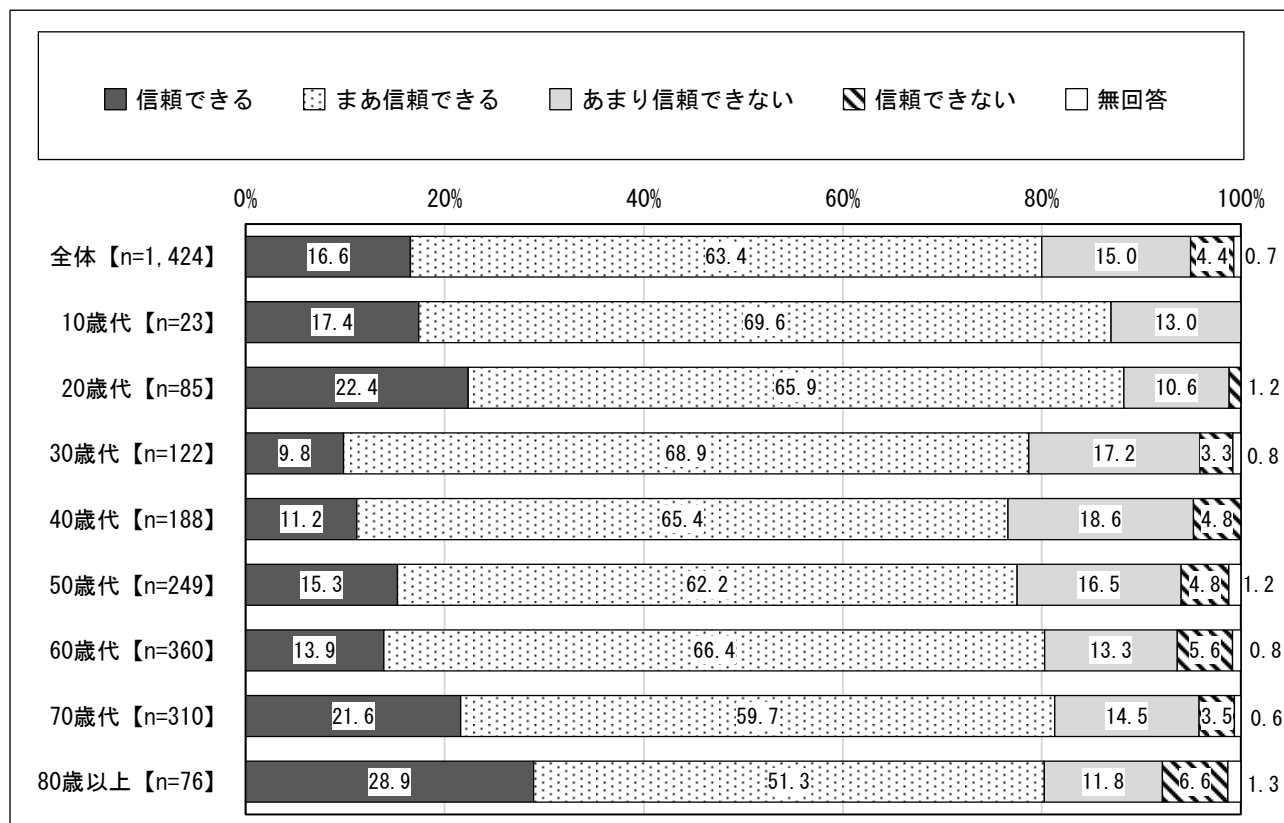
問 22 あなたは、三田市役所を信頼できますか。(○は1つ)



三田市役所に対する信頼の程度は、「まあ信頼できる」が63.4%と最も高くなっています。次いで、「信頼できる」(16.6%)、「あまり信頼できない」(15.0%)の順となっています。「信頼できる」と「まあ信頼できる」を合わせた『信頼できる』は80.0%、となっています。

一方、「あまり信頼できない」と「信頼できない」を合わせた『信頼できない』は19.3%となっています。

【年代別】



年代別にみると、すべての年代で「まあ信頼できる」が最も高くなっています。『信頼できる』は20歳代が88.3%と最も高く、次いで10歳代(87.0%)、70歳代(81.3%)の順となっています

一方、『信頼できない』は、40歳代(23.4%)、50歳代(21.3%)、30歳代(20.5%)の順となっています。

(23) 三田市役所を信頼できない理由

問 23 問 22 で「4 信頼できない」を選択した方にお聞きします。

三田市役所を信頼できない理由をご記入ください。(30 文字まで)

問 22 で三田市役所を「信頼できない」と回答した 62 名を対象に、その理由を尋ねたところ、60 件の意見があり、以下のとおりとなっています。

【行政経営について】(36 件)

- ・政策等に不満や不信がある..... 24 件
- ・県や外部への依存・責任転嫁..... 2 件
- ・税金の使い方に納得できない..... 2 件
- ・必要な説明、情報が不十分である..... 2 件
- ・教育・子ども施策の不安、不満..... 2 件
- ・判断基準に客観性がない..... 1 件
- ・市政の目標・情報発信の不明確さ..... 1 件
- ・市民からの意見や提案が形だけで、実際に反映されない..... 1 件
- ・行政に自主性が感じられない..... 1 件

【市職員の対応について】(19 件)

- ・職員の対応への不信感（努力不足、高圧的、対応の遅れなど）..... 15 件
- ・部署ごとの対応の質の違い、縦割りの弊害を感じた..... 3 件
- ・市の対応が適切でないと感じたから..... 1 件

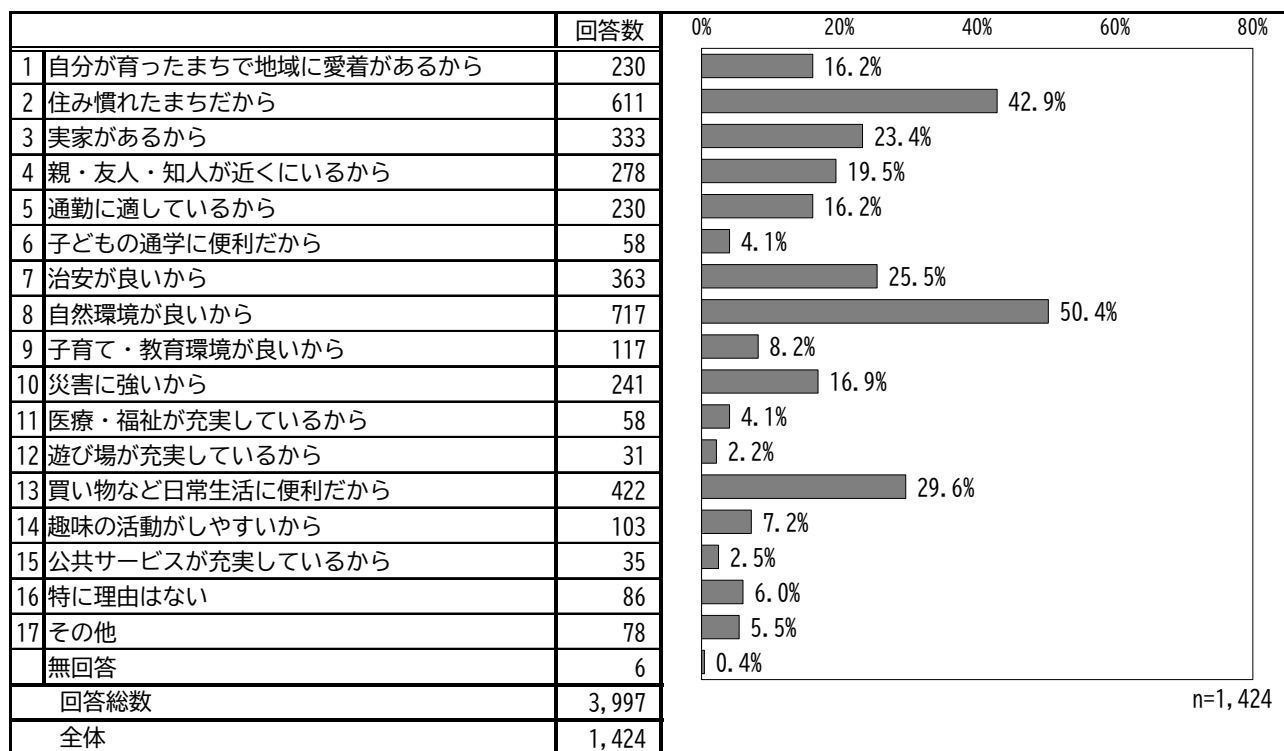
【その他】(5 件)

- ・その他 5 件

Ⅱ 調査結果

(24) 三田市に住んでいる理由

問 24 あなたが三田市に住んでいる理由を教えてください。(〇はいくつでも)



三田市に住んでいる理由について、「自然環境が良いから」が50.4%と最も高くなっています。次いで、「住み慣れたまちだから」(42.9%)、「買い物など日常生活に便利だから」(29.6%)の順となっています。

【年代別】

	1 自分が育ったまちで地域に愛着があるから	2 住み慣れたまちだから	3 実家があるから	4 親・友人・知人が近くにいるから	5 通勤に適しているから	6 子どもの通学に便利だから	7 治安が良いから	8 自然環境が良いから	9 子育て・教育環境が良いから	10 災害に強いから	11 医療・福祉が充実しているから	12 遊び場が充実しているから	13 買い物など日常生活に便利だから	14 趣味の活動がしやすいから	15 公共サービスが充実しているから	16 特に理由はない	17 その他	無回答
n(該当者) =1424	16.2%	42.9%	23.4%	19.5%	16.2%	4.1%	25.5%	50.4%	8.2%	16.9%	4.1%	2.2%	29.6%	7.2%	2.5%	6.0%	5.5%	0.4%
10歳代 【n=23】	21.7%	39.1%	87.0%	34.8%	21.7%	0.0%	34.8%	30.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	34.8%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代 【n=85】	34.1%	36.5%	67.1%	25.9%	27.1%	0.0%	23.5%	21.2%	0.0%	9.4%	3.5%	1.2%	17.6%	4.7%	1.2%	2.4%	3.5%	0.0%
30歳代 【n=122】	34.4%	40.2%	50.8%	33.6%	25.4%	6.6%	33.6%	36.9%	16.4%	14.8%	0.8%	8.2%	28.7%	1.6%	0.8%	1.6%	9.0%	0.0%
40歳代 【n=188】	17.6%	28.7%	34.0%	25.5%	28.7%	11.7%	26.1%	38.8%	19.7%	10.6%	2.7%	4.8%	25.5%	2.7%	2.7%	5.9%	2.7%	0.0%
50歳代 【n=249】	16.1%	37.8%	20.1%	20.1%	20.5%	6.0%	30.1%	46.6%	10.8%	15.3%	1.6%	2.0%	27.3%	7.2%	2.4%	6.4%	6.4%	0.0%
60歳代 【n=360】	8.9%	50.8%	9.7%	15.0%	12.8%	1.4%	23.3%	59.2%	5.6%	16.7%	3.1%	1.1%	31.9%	7.8%	2.2%	6.7%	6.4%	0.3%
70歳代 【n=310】	12.6%	50.0%	11.3%	15.2%	4.8%	1.6%	21.9%	61.9%	3.5%	22.9%	8.4%	0.6%	33.9%	11.6%	3.5%	8.1%	5.2%	1.0%
80歳以上 【n=76】	11.8%	40.8%	10.5%	9.2%	5.3%	2.6%	21.1%	63.2%	1.3%	31.6%	10.5%	0.0%	31.6%	10.5%	3.9%	7.9%	5.3%	1.3%

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

年代別にみると、10～30歳代は、「実家があるから」が最も高く、40～80歳以上は、「自然環境が良いから」が最も高くなっています。また、「住み慣れたまちだから」は、40歳代では3番目、それ以外の年代では2番目に高くなっています。

II 調査結果

【地区別】

	1 自分が育ったまちで地域に愛着があるから	2 住み慣れたまちだから	3 実家があるから	4 親・友人・知人が近くににいるから	5 通勤に適しているから	6 子どもの通学に便利だから	7 治安が良いから	8 自然環境が良いから	9 子育て・教育環境が良いから	10 災害に強いから	11 医療・福祉が充実しているから	12 遊び場が充実しているから	13 買い物など日常生活に便利だから	14 趣味の活動がしやすいから	15 公共サービスが充実しているから	16 特に理由はない	17 その他	無回答
n(該当者) =1124	16.2%	42.9%	23.4%	19.5%	16.2%	4.1%	25.5%	50.4%	8.2%	16.9%	4.1%	2.2%	29.6%	7.2%	2.5%	6.0%	5.5%	0.4%
三田地区 (n=178)	28.7%	43.3%	31.5%	27.5%	23.0%	1.7%	21.9%	31.5%	2.8%	16.9%	5.1%	1.7%	28.1%	7.3%	2.8%	3.9%	5.6%	1.7%
三輪地区 (n=172)	22.7%	47.7%	29.1%	25.0%	17.4%	5.2%	23.3%	43.6%	2.3%	10.5%	8.1%	0.6%	27.3%	7.0%	1.7%	4.7%	5.2%	0.6%
広野地区 (n=70)	30.0%	34.3%	44.3%	25.7%	22.9%	2.9%	17.1%	38.6%	2.9%	8.6%	5.7%	1.4%	18.6%	1.4%	1.4%	12.9%	2.9%	0.0%
小野地区 (n=23)	13.0%	30.4%	39.1%	17.4%	0.0%	0.0%	8.7%	34.8%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	17.4%	8.7%	0.0%
高平地区 (n=33)	30.3%	45.5%	42.4%	27.3%	6.1%	0.0%	15.2%	63.6%	6.1%	15.2%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	6.1%	6.1%	0.0%
藍地区 (n=136)	11.8%	45.6%	19.1%	10.3%	8.1%	0.7%	19.1%	58.8%	1.5%	16.2%	0.0%	0.0%	6.6%	8.8%	0.0%	10.3%	4.4%	0.0%
本庄地区 (n=7)	28.6%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%
フラワータウン地区 (n=285)	12.3%	46.7%	17.5%	20.4%	17.2%	4.6%	26.7%	50.2%	3.9%	17.9%	2.5%	2.1%	25.3%	8.1%	3.5%	6.7%	3.9%	0.0%
ウッドィタウン地区 (n=465)	10.5%	40.4%	17.2%	16.3%	15.9%	6.0%	32.3%	58.7%	18.3%	21.5%	4.5%	4.1%	45.8%	8.6%	3.0%	4.5%	6.5%	0.2%
カルチャータウン地区 (n=41)	7.3%	39.0%	26.8%	9.8%	14.6%	2.4%	26.8%	63.4%	9.8%	17.1%	7.3%	2.4%	22.0%	2.4%	4.9%	2.4%	9.8%	0.0%

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

地区別にみると、「住み慣れたまちだから」は、全ての地区で高くなっており、地域への愛着や、まちへの愛着を感じながら住んでいる人が多いことがうかがえます。また、「自然環境が良いから」についても、全ての地区で高くなっており、三田市の自然環境に魅力を感じている人が多いと考えられます。

(25) 三田市に住んでいてよかったと思う事

問 25 あなたが三田市に住んでいてよかったと思う瞬間や出来事があれば教えてください。(50 文字まで)

604 人から 826 件の意見があり、以下のとおりとなっています。

【自然・景観について】(336 件)

・自然が豊か	145 件
・自然と都市が共存している	45 件
・静かで落ち着いた住環境	44 件
・景観や街並みがきれい	35 件
・四季折々の魅力がある	24 件
・空気がきれいで清々しい環境	23 件
・地産地消・農産物が豊富・食べ物がおいしい	15 件
・景観や街並み、散歩コースが魅力的	4 件
・気候が暮らしやすい	1 件

【生活・利便性・子育て・医療について】(309 件)

・生活しやすい	59 件
・都心部へのアクセスが便利	50 件
・子育てがしやすい	48 件
・買い物が便利で生活しやすい	44 件
・交通の便が良い(鉄道、高速道路)	33 件
・公園や緑地が充実している	22 件
・道路が整備されていて幅が広い	16 件
・教育環境が良い	10 件
・福祉や各種支援の充実	9 件
・通勤に適している	6 件
・公共交通機関が発達している	5 件
・医療機関・病院が近く安心できる	4 件
・お気に入りのお店がある	3 件

【災害・治安について】(80 件)

・災害に強い、災害が少ない	43 件
・治安が良く安心できる	37 件

【地域・文化について】(84 件)

・人が親切・温かい	22 件
・趣味活動ができる環境	12 件
・まちへの愛着	12 件
・イベントや祭りが活発	8 件
・近隣住民のつながりが強い	6 件
・家族が近くにいる	6 件
・歴史的文化財や伝統行事に恵まれている	6 件
・長年住んでいる安心感	4 件
・まちの活気に惹かれた	2 件
・ボランティアや自治会活動に積極的	2 件
・マナーが良い	2 件
・図書館・文化施設が充実している	2 件

【その他】(17 件)

・市役所職員の対応が丁寧で安心できた	3 件
・その他	14 件

Ⅱ 調査結果

(26) 「住みたいまち」として重視すること

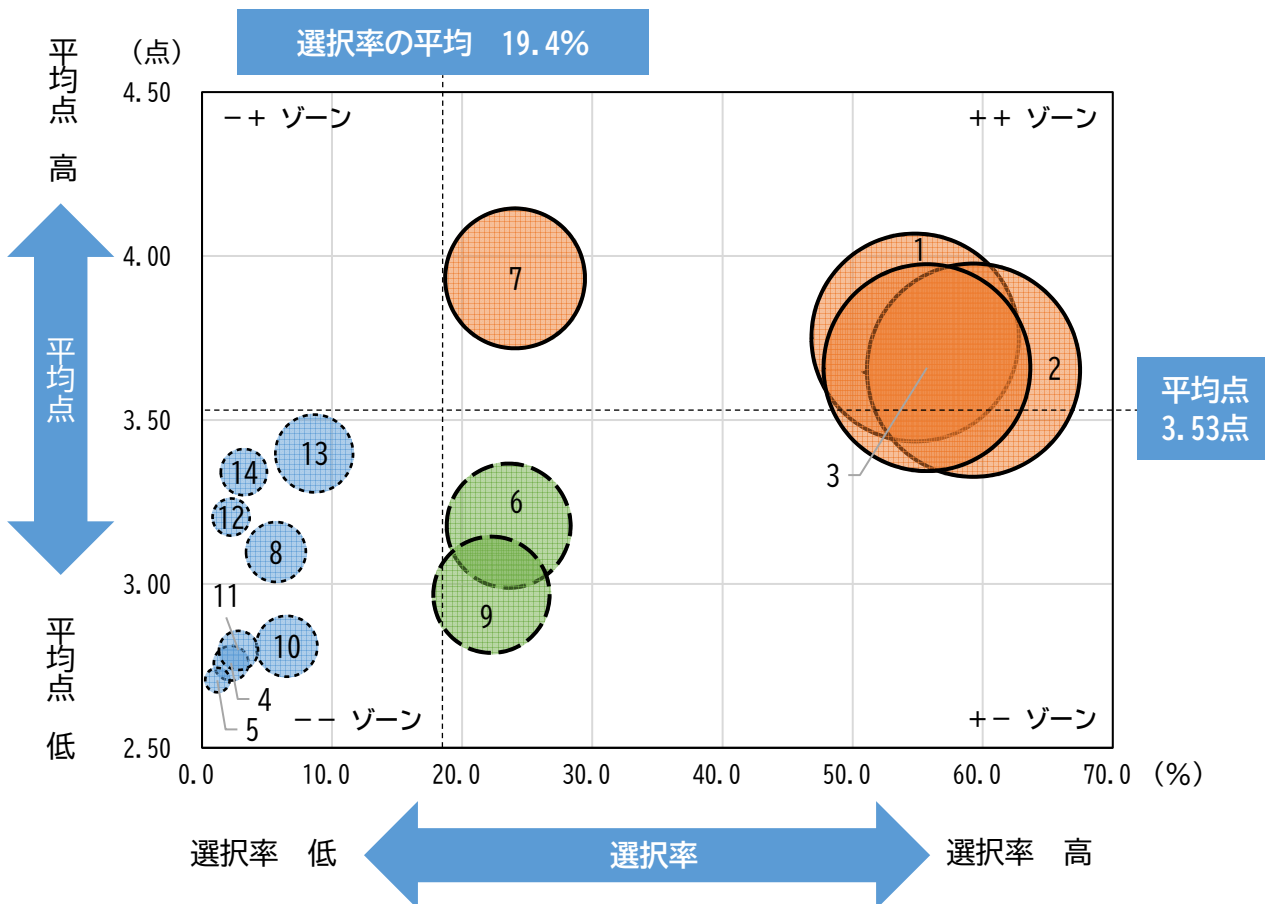
問 26 あなたが思う『住みたいまち』に該当する項目に3つまで○をつけてください。また、選んだ項目を重視する度合いを 10点満点で記入してください。(3つの選択肢の合計点が10点)

【回答数・平均点・合計点】

	回答数	平均点	合計点				
			0点	1,000点	2,000点	3,000点	4,000点
1 交通の便が良い(電車やバスなどの公共交通機関が充実)	781	3.75点	2,930点				
2 買い物施設が便利(スーパーマーケット、商店街、ショッピングモール) 日常的に楽しめるカフェやレストランが多い	845	3.65点	3,085点				
3 自然環境が豊か、公園や緑地、里山が近い	794	3.66点	2,906点				
4 多様な働き方(テレワーク、サテライトオフィス、男性育休等)の支援が充実している	32	2.76点	88点				
5 起業や新規就農の支援制度が充実している	17	2.71点	46点				
6 地元で取れた新鮮な農産物が手に入る	336	3.18点	1,068点				
7 家族・友達・知人が近くに住んでいる	343	3.93点	1,349点				
8 地域コミュニティが活発である、または、地域に助け合える 土壌がある	81	3.10点	251点				
9 防災対策、防犯対策が整っており、治安が良い	317	2.97点	940点				
10 生涯学習や趣味の活動ができる場所がある	93	2.81点	261点				
11 地域の伝統文化・祭りが盛んである	40	2.80点	112点				
12 安心して出産できる場所がある、または、近くにある	32	3.20点	103点				
13 就学前保教育(保育園・幼稚園等)、学校教育(小中学校・高校・専門学校・大学等)が充実している	123	3.40点	418点				
14 地域の子育て支援が充実している(子育て支援センター、相談窓口等)	46	3.34点	154点				
無回答	55	—					
回答総数	3,935	—					
全体	1,424	3.53点					

住みたいまちとして重視することについて、合計点は「買い物施設が便利(スーパーマーケット、商店街、ショッピングモール) 日常的に楽しめるカフェやレストランが多い」が3,085点と最も高くなっていますが、平均点では「家族・友達・知人が近くに住んでいる」が3.93点と最も高くなっています。全体としては「買い物施設が便利(スーパーマーケット、商店街、ショッピングモール) 日常的に楽しめるカフェやレストランが多い」の回答数が最も多い(最も重視されている)ものの、「家族・友達・知人が近くに住んでいる」では回答数が4番目に多いが、高得点をつけた人が多く、平均点が最も高くなっています。

-+ ゾーン 少数が高い点数で支持している項目	++ ゾーン 多数が高い点数で支持している項目
-- ゾーン 少数が低い点数で支持している項目	+ - ゾーン 多数が低い点数で支持している項目



- 1 交通の便が良い（電車やバスなどの公共交通機関が充実）
- 2 買い物施設が便利（スーパーマーケット、商店街、ショッピングモール）日常的に楽しめるカフェやレストランが多い
- 3 自然環境が豊か、公園や緑地、里山が近い
- 4 多様な働き方（テレワーク、サテライトオフィス、男性育休等）の支援が充実している
- 5 起業や新規就農の支援制度が充実している
- 6 地元で取れた新鮮な農産物が手に入る
- 7 家族・友達・知人が近くに住んでいる
- 8 地域コミュニティが活発である、または、地域に助け合える土壌がある
- 9 防災対策、防犯対策が整っており、治安が良い
- 10 生涯学習や趣味の活動ができる場所がある
- 11 地域の伝統文化・祭りが盛んである
- 12 安心して出産できる場所がある、または、近くにある
- 13 就学前保教育（保育園・幼稚園等）、学校教育（小中学校・高校・専門学校・大学等）が充実している
- 14 地域の子育て支援が充実している（子育て支援センター、相談窓口等）

P54の集計表について、選択率（全体に対する回答数の割合）を横軸、平均点を縦軸、合計点をバブルサイズに取って散布図を作成すると、選択率と平均点との比較で「++ ゾーン」「+- ゾーン」「-- ゾーン」「-+ ゾーン」の4象限を作成することができます。このうち、多くの人から強く支持されている「++ ゾーン」には「交通の便が良い（電車やバスなどの公共交通機関が充実）」、「買い物施設が便利（スーパーマーケット、商店街、ショッピングモール）日常的に楽しめるカフェやレストランが多い」、「自然環境が豊か、公園や緑地、里山が近い」、「家族・友達・知人が近くに住んでいる」が含まれます。

(27) まちづくりの各分野の満足度と重要度

問 27 第5次総合計画で定める次の施策体系のうち、三田市がこれまで進めてきたまちづくりの各分野に関する「満足度」と、これからのまちづくりを進めていくうえでの「重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

※各分野に関する「満足度」及び「重要度」の平均値について、回答1件あたりにそれぞれ以下のとおりに配点し、これらを合計したものを回答合計数で除した。

満足度	重要度	配点
5 (満足)	5 (重要)	5ポイント
4 (やや満足)	4 (やや重要)	4ポイント
3 (どちらでもない)	3 (どちらでもない)	3ポイント
2 (やや不満)	2 (あまり重要でない)	2ポイント
1 (不満)	1 (重要でない)	1ポイント

(満足度)

	0pt	1pt	2pt	3pt	4pt	5pt	6pt
① 人権・共生のまちづくり							①3.10pt
② 地域で支えるまちづくり							②3.01pt
③ 健康づくり							③3.29pt
④ 乳幼児期の育ち							④3.12pt
⑤ 地域ぐるみの子育て							⑤3.13pt
⑥ 学校教育の充実							⑥3.11pt
⑦ 若者が集うまち							⑦2.71pt
⑧ いつまでも学び、活躍できるまちづくり							⑧3.15pt
⑨ 地域医療の安心							⑨2.99pt
⑩ 生活の安全安心・非常時への備え							⑩3.25pt
⑪ 子ども・子育ての安心							⑪3.02pt
⑫ 高齢者の安心							⑫3.05pt
⑬ 障害のある人の安心							⑬3.00pt
⑭ 心つながる暮らしの安心							⑭2.93pt
⑮ 商工業の振興							⑮2.87pt
⑯ 農業の振興							⑯3.05pt
⑰ 観光・交流・文化の振興							⑰2.76pt
⑱ まちの再生							⑱3.01pt
⑲ 良好な住まい							⑲3.29pt
⑳ 交通ネットワーク							⑳2.98pt
㉑ 水の保全							㉑3.60pt
㉒ 里山・自然の保全							㉒3.52pt
㉓ 持続可能な環境づくり							㉓3.06pt
㉔ 協働・共創のまちづくり							㉔2.97pt
㉕ 行政経営							㉕2.92pt

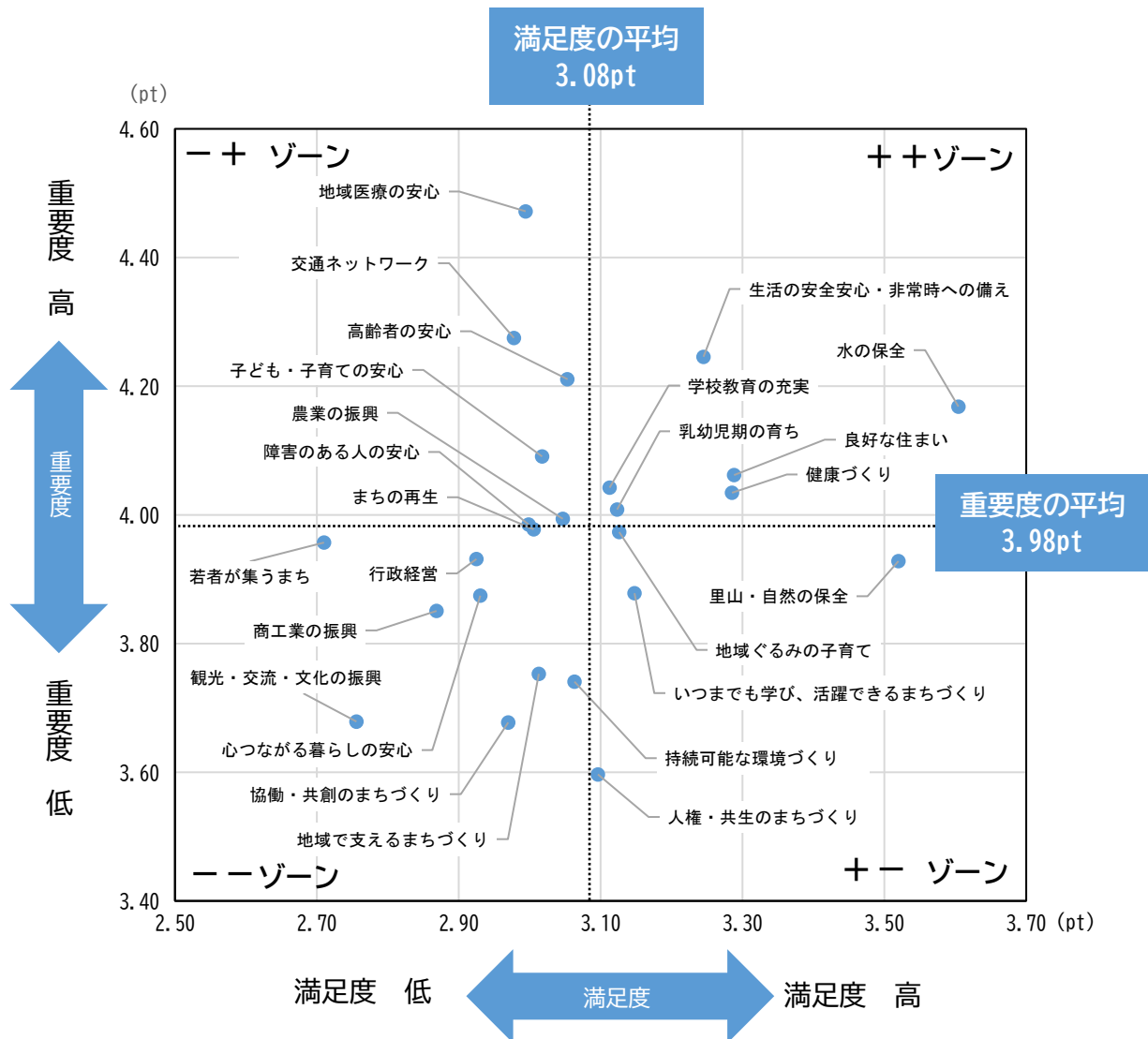
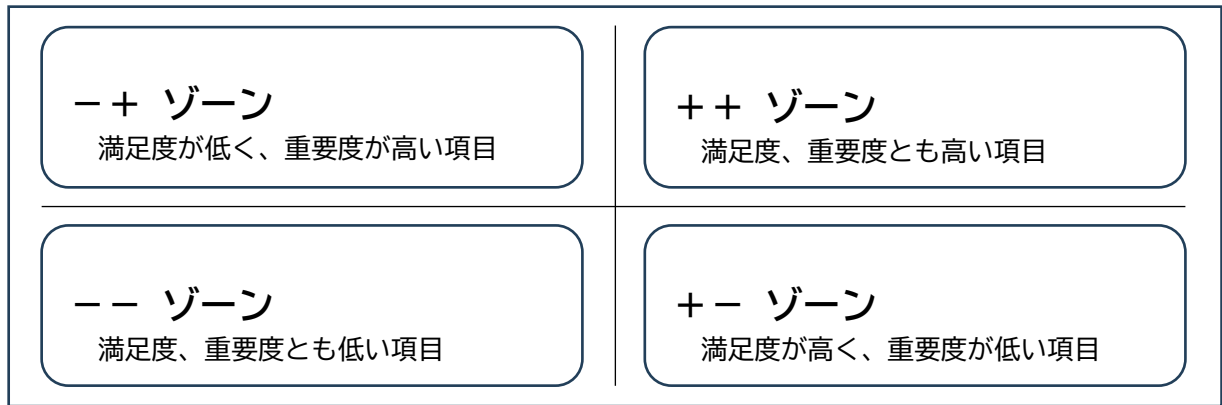
まちづくりの各分野の満足度について、「㉑水の保全」が 3.60 ポイントと最も高くなっています。次いで、「㉒里山・自然の保全」(3.52 ポイント)、「㉑良好な住まい」及び「㉓健康づくり」(3.29 ポイント)の順となっています。

(重要度)

	0pt	1pt	2pt	3pt	4pt	5pt	6pt
① 人権・共生のまちづくり							①3.60pt
② 地域で支えるまちづくり							②3.75pt
③ 健康づくり							③4.03pt
④ 乳幼児期の育ち							④4.01pt
⑤ 地域ぐるみの子育て							⑤3.97pt
⑥ 学校教育の充実							⑥4.04pt
⑦ 若者が集うまち							⑦3.96pt
⑧ いつまでも学び、活躍できるまちづくり							⑧3.88pt
⑨ 地域医療の安心							⑨4.47pt
⑩ 生活の安全安心・非常時への備え							⑩4.25pt
⑪ 子ども・子育ての安心							⑪4.09pt
⑫ 高齢者の安心							⑫4.21pt
⑬ 障害のある人の安心							⑬3.99pt
⑭ 心つながる暮らしの安心							⑭3.87pt
⑮ 商工業の振興							⑮3.85pt
⑯ 農業の振興							⑯3.99pt
⑰ 観光・交流・文化の振興							⑰3.68pt
⑱ まちの再生							⑱3.98pt
⑲ 良好な住まい							⑲4.06pt
⑳ 交通ネットワーク							⑳4.28pt
㉑ 水の保全							㉑4.17pt
㉒ 里山・自然の保全							㉒3.93pt
㉓ 持続可能な環境づくり							㉓3.74pt
㉔ 協働・共創のまちづくり							㉔3.68pt
㉕ 行政経営							㉕3.93pt

まちづくりの重要度について、「⑨地域医療の安心」が4.47ポイントと最も高くなっています。次いで、「⑳交通ネットワーク」(4.28ポイント)、「⑩生活の安全安心・非常時への備え」(4.25ポイント)の順となっています。

II 調査結果



満足度を横軸、重要度を縦軸に取って散布図を作成すると、各平均との比較で「++ ゾーン」「+- ゾーン」「-- ゾーン」「-+ ゾーン」の4象限を作成することができます。このうち、満足度が低く、重要度が高い「-+ ゾーン」には、「地域医療の安心」、「交通ネットワーク」、「高齢者の安心」、「子ども・子育ての安心」「農業の振興」、「障害のある人の安心」、「まちの再生」が含まれます。

【年代別】

(満足度)

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
1	人権・共生のまちづくり	3.10	3.55	3.38	3.18	3.09	3.06	3.05	3.04	3.03
2	地域で支えるまちづくり	3.01	3.14	3.19	3.18	3.02	3.01	2.99	2.94	2.97
3	健康づくり	3.29	3.68	3.51	3.45	3.27	3.26	3.20	3.23	3.36
4	乳幼児期の育ち	3.12	3.27	3.31	3.18	3.19	3.19	3.04	3.03	3.04
5	地域ぐるみの子育て	3.13	3.64	3.35	3.13	3.16	3.22	3.04	3.03	2.96
6	学校教育の充実	3.11	3.55	3.35	3.13	3.12	3.16	3.03	3.04	3.10
7	若者が集うまち	2.71	2.86	2.85	2.61	2.73	2.76	2.69	2.66	2.68
8	いつまでも学び、活躍できるまちづくり	3.15	3.50	3.35	3.23	3.23	3.18	3.06	3.04	3.11
9	地域医療の安心	2.99	3.55	3.34	2.91	2.91	2.93	2.89	3.07	3.18
10	生活の安全安心・非常時への備え	3.25	3.73	3.39	3.41	3.41	3.27	3.16	3.11	3.12
11	子ども・子育ての安心	3.02	3.36	3.16	3.08	3.03	3.08	2.92	2.97	3.00
12	高齢者の安心	3.05	3.41	3.35	3.16	3.11	3.05	2.93	3.01	3.11
13	障害のある人の安心	3.00	3.41	3.22	3.03	3.02	3.02	2.94	2.93	3.02
14	心つながる暮らしの安心	2.93	3.36	3.20	2.98	2.94	2.88	2.91	2.85	2.95
15	商工業の振興	2.87	3.27	3.00	2.96	2.96	2.89	2.81	2.77	2.76
16	農業の振興	3.05	3.41	3.14	3.08	3.14	3.13	3.00	2.91	2.98
17	観光・交流・文化の振興	2.76	2.86	2.76	2.81	2.80	2.78	2.79	2.63	2.76
18	まちの再生	3.01	3.36	3.31	3.14	3.09	2.98	2.94	2.86	3.09
19	良好な住まい	3.29	4.05	3.55	3.31	3.29	3.29	3.25	3.17	3.45
20	交通ネットワーク	2.98	3.50	3.16	3.19	2.98	3.00	2.93	2.89	2.77
21	水の保全	3.60	4.05	3.82	3.84	3.62	3.60	3.49	3.53	3.61
22	里山・自然の保全	3.52	4.14	3.67	3.78	3.65	3.65	3.38	3.33	3.38
23	持続可能な環境づくり	3.06	3.41	3.16	3.15	3.18	3.07	3.02	2.95	3.02
24	協働・共創のまちづくり	2.97	3.41	3.14	2.98	3.00	3.00	2.91	2.91	2.98
25	行政経営	2.92	3.36	3.06	2.95	2.91	2.96	2.86	2.87	3.02
	平均	3.08	3.47	3.27	3.15	3.11	3.10	3.01	2.99	3.06

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

満足度について年代別にみると、「21:水の保全」、「22:里山・自然の保全」が全ての年代で上位となっています。

また、「19:良好な住まい」は30歳代、40歳代及び70歳代を除いた年代で2位または3位となっています。

Ⅱ 調査結果

(重要度)

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
1	人権・共生のまちづくり	3.60	4.00	3.67	3.58	3.56	3.67	3.52	3.58	3.75
2	地域で支えるまちづくり	3.75	4.05	3.86	3.70	3.65	3.80	3.74	3.72	3.98
3	健康づくり	4.03	4.18	4.13	4.16	3.95	4.06	4.05	3.97	3.97
4	乳幼児期の育ち	4.01	4.14	4.29	4.43	4.08	3.97	3.93	3.84	3.82
5	地域ぐるみの子育て	3.97	4.05	4.15	4.26	4.02	3.96	3.94	3.84	3.84
6	学校教育の充実	4.04	4.36	4.23	4.29	4.14	4.09	3.95	3.87	3.94
7	若者が集うまち	3.96	4.18	4.17	4.13	3.91	4.03	3.93	3.81	3.87
8	いつまでも学び、活躍できるまちづくり	3.88	4.09	3.96	3.94	3.84	3.92	3.81	3.86	3.98
9	地域医療の安心	4.47	4.50	4.45	4.46	4.42	4.60	4.51	4.37	4.42
10	生活の安全安心・非常時への備え	4.25	4.23	4.37	4.33	4.30	4.32	4.25	4.09	4.22
11	子ども・子育ての安心	4.09	4.27	4.38	4.37	4.07	4.12	4.02	3.95	4.04
12	高齢者の安心	4.21	3.86	3.93	4.03	4.03	4.31	4.36	4.21	4.34
13	障害のある人の安心	3.99	4.05	3.89	3.86	3.87	4.02	4.02	4.02	4.23
14	心つながる暮らしの安心	3.87	4.00	3.85	3.83	3.79	3.98	3.87	3.85	3.94
15	商工業の振興	3.85	4.14	3.88	3.86	3.85	4.00	3.79	3.80	3.60
16	農業の振興	3.99	3.91	3.83	4.16	3.96	4.15	3.93	3.93	4.04
17	観光・交流・文化の振興	3.68	3.59	3.67	3.76	3.56	3.72	3.61	3.75	3.73
18	まちの再生	3.98	4.27	4.07	4.13	3.92	4.04	3.91	3.94	3.92
19	良好な住まい	4.06	4.18	4.21	4.19	4.01	4.13	4.01	4.00	4.09
20	交通ネットワーク	4.28	4.27	4.42	4.33	4.30	4.34	4.26	4.20	4.16
21	水の保全	4.17	4.00	4.33	4.27	4.18	4.19	4.12	4.12	4.21
22	里山・自然の保全	3.93	3.86	3.90	4.02	3.91	3.96	3.91	3.86	4.09
23	持続可能な環境づくり	3.74	3.82	3.76	3.72	3.60	3.79	3.68	3.84	3.82
24	協働・共創のまちづくり	3.68	3.45	3.69	3.59	3.59	3.77	3.65	3.71	3.80
25	行政経営	3.93	4.05	3.99	3.89	3.89	3.98	3.91	3.95	3.97
	平均	3.98	4.06	4.04	4.05	3.94	4.04	3.95	3.92	3.99

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

重要度について年代別にみると、「9:地域医療の安心」が全ての年代で1位となっています。そして、「20:交通ネットワーク」は30歳代及び80歳以上を除いた年代で2位または3位となっています。また、「11:子ども・子育ての安心」が10歳代、20歳代及び30歳代で3位であるのに対し、「12:高齢者の安心」が60歳代、70歳代及び80歳以上で2位となっており、年代ごとの特徴が伺えます。

【地区別】

(満足度)

		全体	三田地区	三輪地区	広野地区	小野地区	高平地区	藍地区	本庄地区	フラワータウン地区	ウッディタウン地区	カルチャータウン地区
1	人権・共生のまちづくり	3.10	3.11	3.10	3.15	2.77	3.06	3.06	2.86	3.08	3.10	3.26
2	地域で支えるまちづくり	3.01	2.94	3.04	3.04	2.96	3.23	2.99	2.86	2.98	3.05	3.15
3	健康づくり	3.29	3.31	3.32	3.24	3.09	3.23	3.15	3.29	3.23	3.34	3.41
4	乳幼児期の育ち	3.12	3.08	3.18	3.12	2.45	2.64	2.94	2.83	3.12	3.23	3.13
5	地域ぐるみの子育て	3.13	3.08	3.15	2.99	2.84	2.81	2.98	2.67	3.11	3.24	3.05
6	学校教育の充実	3.11	3.12	3.11	3.14	2.70	2.74	2.99	2.43	3.07	3.23	2.92
7	若者が集うまち	2.71	2.77	2.79	2.68	2.52	2.26	2.48	2.33	2.67	2.79	2.68
8	いつまでも学び、活躍できるまちづくり	3.15	3.08	3.17	3.18	2.91	3.07	3.01	3.00	3.07	3.27	3.05
9	地域医療の安心	2.99	3.10	2.95	3.06	2.91	2.50	2.71	2.83	3.07	3.06	2.80
10	生活の安全安心・非常時への備え	3.25	3.21	3.20	3.28	2.96	3.23	3.07	2.71	3.26	3.33	3.37
11	子ども・子育ての安心	3.02	3.00	3.07	3.02	2.74	2.56	2.80	2.33	3.01	3.13	3.00
12	高齢者の安心	3.05	3.08	2.99	3.19	3.00	2.87	2.83	2.86	3.04	3.14	3.07
13	障害のある人の安心	3.00	2.99	2.99	3.06	2.65	2.69	2.83	2.86	3.03	3.06	3.10
14	心つながる暮らしの安心	2.93	2.89	2.87	3.02	2.78	2.93	2.76	2.83	2.96	2.98	3.03
15	商工業の振興	2.87	2.82	2.81	2.97	2.73	2.74	2.75	2.50	2.83	2.97	2.90
16	農業の振興	3.05	2.99	3.09	3.02	2.64	2.70	2.88	2.17	3.06	3.14	3.15
17	観光・交流・文化の振興	2.76	2.66	2.79	2.72	2.55	2.37	2.66	2.50	2.79	2.82	2.82
18	まちの再生	3.01	3.02	3.01	3.09	2.59	2.90	2.83	2.67	2.99	3.07	3.15
19	良好な住まい	3.29	3.25	3.19	3.06	2.77	3.13	3.04	2.33	3.30	3.48	3.45
20	交通ネットワーク	2.98	3.01	2.90	2.58	2.09	2.17	2.35	2.33	3.09	3.29	2.80
21	水の保全	3.60	3.59	3.59	3.60	3.70	3.10	3.50	3.17	3.59	3.69	3.61
22	里山・自然の保全	3.52	3.54	3.48	3.40	3.35	3.58	3.41	3.17	3.49	3.60	3.54
23	持続可能な環境づくり	3.06	2.99	3.12	2.94	2.64	3.04	3.00	3.00	3.08	3.11	3.15
24	協働・共創のまちづくり	2.97	2.95	2.96	2.89	2.64	2.85	2.95	2.67	3.01	2.99	2.98
25	行政経営	2.92	2.84	2.87	3.02	2.82	2.82	2.84	2.67	2.97	2.97	2.93
	平均	3.08	3.06	3.07	3.06	2.79	2.85	2.91	2.71	3.08	3.16	3.10

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

満足度について地区別にみると、「22:里山・自然の保全」が全ての地区で1位または2位となっています。「21:水の保全」は高平地区を除いた地区で1位または2位となっています。また、広野地区、フラワータウン地区、ウッディタウン地区、カルチャータウン地区を除く地区で「3:健康づくり」が上位、フラワータウン地区、ウッディタウン地区、カルチャータウン地区で「19:良好な住まい」が3位となっており、地域ごとの特徴が伺えます。

Ⅱ 調査結果

(重要度)

		全体	三田地区	三輪地区	広野地区	小野地区	高平地区	藍地区	本庄地区	フラワータウン地区	ウッディタウン地区	カルチャータウン地区
1	人権・共生のまちづくり	3.60	3.65	3.51	3.59	3.81	3.84	3.46	4.14	3.66	3.58	3.62
2	地域で支えるまちづくり	3.75	3.71	3.70	3.68	4.04	3.94	3.67	4.14	3.77	3.78	3.88
3	健康づくり	4.03	3.98	4.01	3.88	4.17	4.07	3.95	3.86	4.01	4.11	4.20
4	乳幼児期の育ち	4.01	4.01	3.94	3.95	3.91	4.18	3.97	3.83	3.97	4.06	4.18
5	地域ぐるみの子育て	3.97	3.88	3.95	3.86	3.90	3.96	3.96	4.00	3.95	4.04	4.18
6	学校教育の充実	4.04	4.01	4.02	3.89	3.95	3.93	4.00	4.00	3.98	4.13	4.28
7	若者が集うまち	3.96	3.85	3.89	3.90	3.86	3.96	4.00	4.00	4.00	3.99	4.03
8	いつまでも学び、活躍できるまちづくり	3.88	3.73	3.83	3.76	3.68	3.93	3.89	3.50	3.90	3.96	3.90
9	地域医療の安心	4.47	4.37	4.39	4.46	4.48	4.27	4.52	4.00	4.46	4.55	4.68
10	生活の安全安心・非常時への備え	4.25	4.20	4.23	4.25	4.26	4.20	4.20	4.00	4.23	4.31	4.24
11	子ども・子育ての安心	4.09	4.06	4.02	3.97	3.81	4.12	4.18	3.83	4.10	4.12	4.28
12	高齢者の安心	4.21	4.04	4.21	4.17	4.26	4.26	4.26	4.29	4.24	4.24	4.28
13	障害のある人の安心	3.99	3.92	3.98	3.97	4.13	4.00	4.03	3.86	4.03	3.96	4.00
14	心つながる暮らしの安心	3.87	3.88	3.83	3.83	4.09	4.17	3.82	3.60	3.90	3.86	3.88
15	商工業の振興	3.85	3.76	3.80	3.87	3.73	3.74	3.91	3.67	3.82	3.91	3.98
16	農業の振興	3.99	3.81	4.07	4.06	4.14	4.19	3.96	4.17	3.97	4.02	4.10
17	観光・交流・文化の振興	3.68	3.64	3.66	3.42	3.50	3.81	3.66	3.83	3.76	3.67	3.80
18	まちの再生	3.98	3.87	3.92	3.81	4.05	3.97	3.97	3.83	4.11	3.98	4.05
19	良好な住まい	4.06	4.01	3.97	3.99	4.14	4.17	3.98	3.67	4.05	4.13	4.32
20	交通ネットワーク	4.28	4.13	4.24	4.18	4.22	4.30	4.41	3.83	4.29	4.29	4.63
21	水の保全	4.17	4.17	4.17	4.11	4.22	4.00	4.13	4.00	4.11	4.23	4.27
22	里山・自然の保全	3.93	3.92	3.88	3.70	3.91	4.23	3.95	3.67	3.89	3.96	4.15
23	持続可能な環境づくり	3.74	3.69	3.69	3.56	3.64	4.00	3.83	3.67	3.73	3.77	3.78
24	協働・共創のまちづくり	3.68	3.59	3.61	3.52	3.73	3.70	3.72	3.50	3.72	3.70	3.78
25	行政経営	3.93	3.91	3.91	3.74	4.14	3.93	3.92	3.67	3.90	3.98	4.08
	平均	3.98	3.91	3.94	3.89	3.99	4.03	3.97	3.86	3.98	4.01	4.10

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

重要度について地区ごとにみると、「9:地域医療の安心」が本庄地区を除く地区で1位または2位となっています。「20:交通ネットワーク」は三田地区、本庄地区を除く地区で上位となっています。

調 査 票

調査票 ID :

回答所要時間 : 約 5 分

三田市 市民意識調査

日頃は、市政の各般にわたりご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
この調査は、三田市総合計画（※）に掲げるまちづくりを進めるために実施する「一年に一度の調査」であり、今後の市政運営に役立てることを目的に実施しています。

三田市内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に3,000人を抽出し、調査票をお送りしています。回答の内容はプライバシーを保護し、他の目的に利用することは一切ございませんので、皆さまの率直なお声をお聴かせくださいますようお願いいたします。

令和7年6月

三田市長 田村克也



（※）三田市総合計画とは

三田市に「住んでよかった」「住み続けたい」と思える取り組みを行うための計画で、令和4年度から第5次三田市総合計画がスタートしています。

▼概要版はこちら



【まちづくりの基本目標】 「ひと」 × 「まち」 × 「さと」 が織りなす未来都市 三田

— 市民意識調査に回答するとどうなるの？ —

①市民意識調査票を記入



市政への
皆さまの思いを回答として
市に伝えることができます！

②市は結果を分析し、まちづくりを計画



皆さまの回答をもとに
市の「これから」を考えます！

③「住みたい」「住み続けたい」と
思えるまちへ



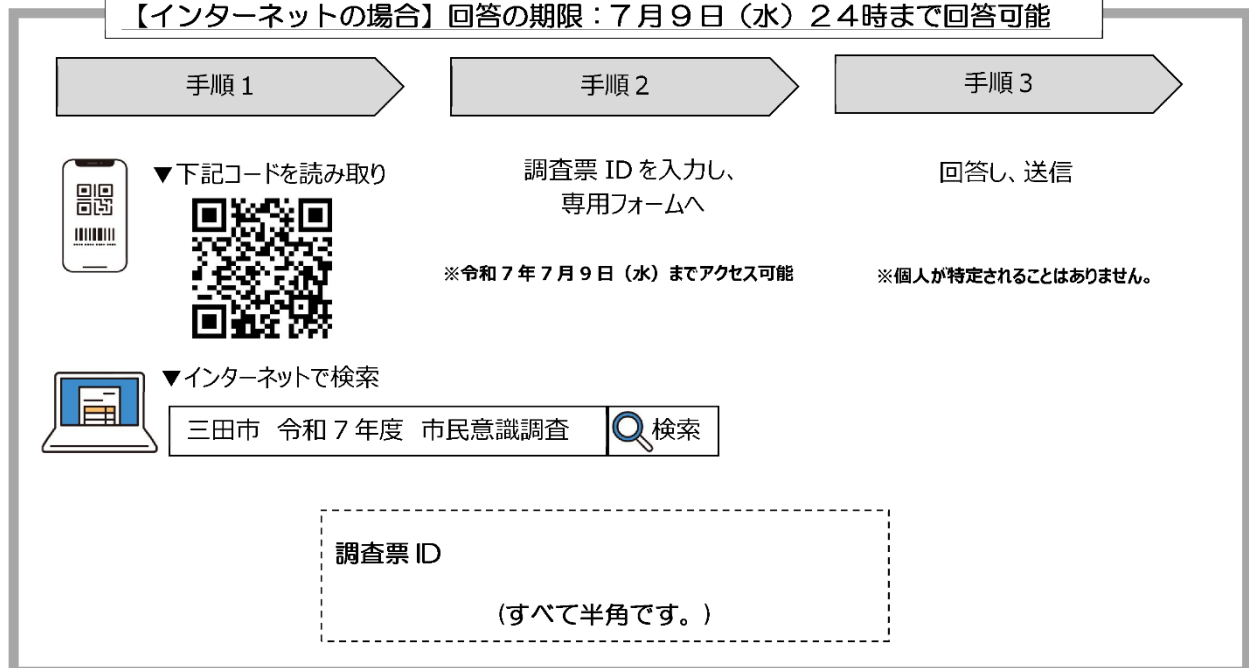
皆さまのご協力で
よりよい三田市に！

この機会にぜひ回答のご協力をお願いします！

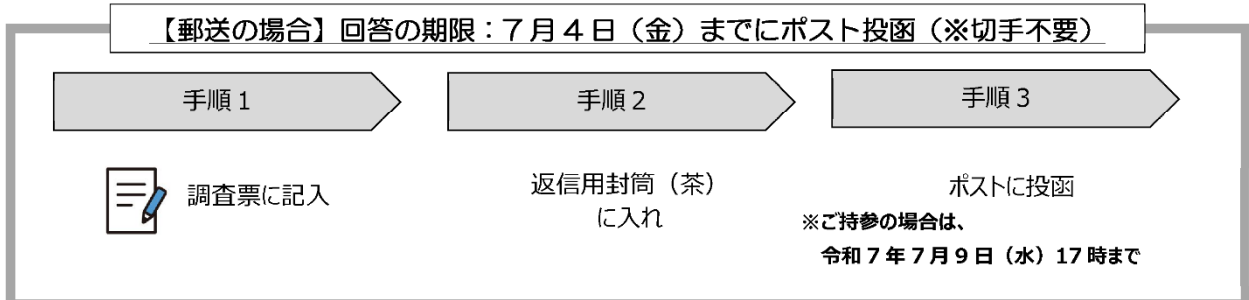
「市政参加市民名簿への登録」(別紙)のご案内を同封していますので、あわせてご覧ください。

— 回答方法 —

【インターネットの場合】回答の期限：7月9日（水）24時まで回答可能



【郵送の場合】回答の期限：7月4日（金）までにポスト投函（※切手不要）



調査結果の概要は、調査報告書が完成次第、市のホームページなどを通じて報告いたします。

◎ご質問などがございましたら、下記までお問い合わせください。

三田市 総合政策部 政策課

電話 (079) 559-5038 (直通)

ファクス (079) 563-1366

1. あなたご自身のことについて

問1 あなたがお住まいの地区を選んでください。(○は1つ)

- | | | | | |
|--------|--------|--------|-------------|---------------|
| 1 三田地区 | 3 広野地区 | 5 高平地区 | 7 本庄地区 | 9 ウッディタウン地区 |
| 2 三輪地区 | 4 小野地区 | 6 藍地区 | 8 フラワータウン地区 | 10 カルチャータウン地区 |

問2 令和7年6月1日現在のあなたの年齢を選んでください。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1 10歳代 | 3 30歳代 | 5 50歳代 | 7 70歳代 |
| 2 20歳代 | 4 40歳代 | 6 60歳代 | 8 80歳以上 |

問3 あなたの世帯構成を選んでください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|----------------|----------|
| 1 単身世帯(ひとり暮らし) | 3 二世帯世帯(親と子) | 5 その他の世帯 |
| 2 夫婦・パートナーのみの世帯 | 4 三世帯世帯(親と子と孫) | () |

問4 あなたのご家族に次の方はおられますか。該当するものを選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 小学校入学前の乳幼児 | 3 65歳以上の方 |
| 2 小学生～18歳未満の子ども | 4 「1」～「3」に当てはまる家族はいない |

問5 あなたの職業を選んでください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|----------|
| 1 自営業(農業を含む) | 3 パート・アルバイト | 5 家事専業 |
| 2 勤め人 | 4 学生 | 6 無職 |
| | | 7 その他() |

【問5で「1 自営業(農業を含む)」、「2 勤め人」、「3 パート・アルバイト」、「4 学生」を選択した方にお聞きます。】

問6 通勤・通学先や事業を営んでいる場所を選んでください。(○は1つ)

- | | | |
|--------|--------------|--------|
| 1 三田市内 | 2 三田市以外の兵庫県内 | 3 兵庫県外 |
|--------|--------------|--------|

2. 健康づくりについて

問7 あなたは、日常生活で健康づくりに取り組んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 大いに取り組んでいる | 3 あまり取り組んでいない |
| 2 少しは取り組んでいる | 4 何も取り組んでいない |

問8 あなたは、週一回以上運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

問9 あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

3. 市政情報や地域の方との関わりについて

問 10 あなたは、広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等を読んでいますか。(○は1つ)

- 1 読んでいる 2 読んでいない

問 11 あなたは、隣近所の人と「困った時に助け合うことができる」と思いますか。(○は1つ)

- 1 思う 2 思わない

問 12 あなたは、隣近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(○は1つ)

- 1 困った時に助け合っている 2 世間話や立ち話をする程度 3 会えば挨拶をする程度 4 全く付き合いをしていない

問 13 あなたは、地域活動(自治会の活動やボランティアの活動など)に参加していますか。(○は1つ)

- 1 現在参加している 2 現在参加していないが、今後参加したい 3 現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない

4. まちづくりへの関心について

問 14 あなたは、三田市のまちづくりにどの程度関心がありますか。(○は1つ)

- 1 非常に関心がある 2 ある程度関心がある 3 あまり関心がない 4 まったく関心がない

【問 14 で「1 非常に関心がある」、「2 ある程度関心がある」を選択した方にお聞きます。】

問 15 三田市のまちづくりで関心のある分野は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 多様性・多文化共生や地域活動について 2 心・身体の健康や食育について 3 乳幼児期の子育て・就学前教育・学校教育について 4 多世代の学び、活躍について 5 交通安全・災害時等の対応について 6 地域医療・高齢者や障害者などの福祉について 12 その他 () 7 産業・観光・文化の振興について 8 交通ネットワークについて 9 住まい・土地利用・まちの基盤の整備について 10 里山・自然の保全・持続可能な環境づくりについて 11 市財政や行政サービスなどの行政経営について

【問 14 で「3 あまり関心がない」、「4 まったく関心がない」を選択した方にお聞きます。】

問 16 三田市のまちづくりに関心がない理由をご記入ください。(30文字まで)

Table with 10 columns and 2 rows for writing reasons.

問 27 第 5 次総合計画で定める次の施策のうち、三田市がこれまで進めてきたまちづくりの各分野に関する「満足度」と、これからのまちづくりを進めていくうえでの「重要度」について、それぞれ 5 段階であなたの考えに最も近い番号を 1 つずつ選んで○をつけてください。

施策の名称		現在の満足度					今後の重要度				
		満足←		③		→不満	重要←	④			→重要でない
1	人権・共生のまちづくり あらゆる差別をはじめとする人権侵害が解消し、すべての人の人権が尊重され、一人ひとりの多様性を認め合っていますか。 例:人権問題、男女共同参画、多様な性、多文化共生 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	地域で支えるまちづくり 地域で多様な住民が参加し、自分たちの手で住みたい・住み続けたいと思えるような地域づくりが進んでいますか。 例:近隣の助け合い、区・自治会活動 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	健康づくり 健康的な生活を送り、心豊かに生活できる環境が整っていますか。 例:定期健診(検診)の充実、感染症の予防 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	乳幼児期の育ち 子育てをしやすく、子どもが健やかに育つ環境が整っていますか。 例:保育サービスの充足・充実、幼児期の教育・保育の推進 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	地域ぐるみの子育て 子どもが安心して過ごせる環境が整い、子どもたちが地域に愛着をもって成長できていますか。 例:地域における子どもの居場所づくり(放課後児童クラブ、放課後子ども教室) など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	学校教育の充実 児童や生徒の個性を尊重し、能力をのばす学校教育が行われていますか。 例:確かな学力の育成、豊かな心の育成、健やかな体の育成 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	若者が集うまち 若い世代(高校生～30歳代)がやりたいことにチャレンジでき、活躍できる土壌・環境がありますか。 例:若い世代に魅力ある「若者が集うまち」(若い世代の地域活動、起業・新規就農支援) など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	いつまでも学び、活躍できるまちづくり すべての市民が、生涯を通じて、学ぶ楽しさを感じたり、スポーツや運動を行い、心身ともに健康に暮らせる環境ですか。 例:生涯学習施設(図書館、市民センター等)、生涯スポーツ支援 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	地域医療の安心 地域で安心して必要な医療を受けることができていますか。 例:かかりつけ医、休日診療・救急医療 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	生活の安全安心・非常時への備え 犯罪や交通事故が少ない、安全で安心な環境が整っていますか。災害への備えが整っていますか。 例:防災、防犯、交通安全、消費者被害の防止 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11	子ども・子育ての安心 安心して出産・子育てができ、子どもたちが夢と希望をもって、いきいきと成長できると感じられますか。 例:ネウボラ*の充実(妊娠・出産から就学前までの切れ目のない支援)、児童虐待防止、子どもの貧困対策 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	高齢者の安心 必要な介護保険等公的サービスを利用しながら、高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できていますか。 例 介護予防、三田安心ケアシステムの推進*、介護サービスの充実 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13	障害のある人の安心 障害のある人もない人も、互いに尊重しあい、自分らしく安心して生活を送ることができる環境が整っていますか。 例:障害のある人がチャレンジし活躍できる社会づくり など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施策の名称	現在の満足度					今後の重要度				
	満足←		③		→不満	重要←		④		→重要でない
14 心つながる暮らしの安心 すべての人が社会的に孤立することなく過ごすことができますか。 例:孤独・孤立対策の推進、生活困窮対策 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 商工業の振興 市内の商業や工業が活発に行われ、地域経済が活性化していますか。 例:産業拠点の整備促進、産業人材確保 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 農業の振興 三田市の農畜産物の生産や流通が盛んですか。 例:農業の担い手の確保、農畜産物のブランド力強化 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 観光・交流・文化の振興 地域資源を活かした「観光・文化」により地域が盛り上がり、市民・来訪者が観光や体験等を楽しむことができますか。 例:観光・文化、地域資源の保存継承、観光情報の発信 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 まちの再生 地域の特性を活かした、快適な都市空間と恵まれた自然環境が調和した住みよいまち、魅力のあるまちと感じられていますか。 例:三田駅前再開発、良好な景観形成の促進 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 良好な住まい 安全・安心な住まいに住んでいますか。 例:住み替え・空き家の利活用支援、地震に備えた安全・安心な住まいづくりのための支援・啓発 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 交通ネットワーク 道路、鉄道、バスなどの交通ネットワークにより、安心して移動ができますか。 例:歩道や道路の整備、地域公共交通の充実 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 水の保全 安全安心で安定した上下水道サービスが提供されていますか。 例:水道水の安定供給、上下水道施設の適切な維持管理 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 里山・自然の保全 花と緑があふれ、里山などの豊かな自然環境が守られていますか。 例:里山保全、生物多様性の保全 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23 持続可能な環境づくり 一人ひとりが環境にやさしい行動をすることで、持続可能なまちに向けて進んでいますか。 例:ゼロカーボンシティ、環境教育、循環型社会 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24 協働・共創のまちづくり 市民や事業者、行政がそれぞれの強みを発揮しながら、協働によるまちづくりが行われていますか。 例:地域づくりを担う地域人財の育成、まちの魅力や課題・課題解決への取り組み等の情報発信 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25 行政経営 健全な財政運営のもと、効率的に行政サービスが行われていますか。 例:行政サービスのデジタル化、公民連携*の推進 など	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

※ニューボラ…フランス語で「アドバイスする場所」という意味で、行政が妊娠や出産、子育てでの支援をする拠点のことをいう。
妊娠・出産から長期かつ継続的に支援するのが特徴である。
※三田安心ケアシステム…医療・住まい・介護・予防・生活支援等が一体的に提供される仕組みのこと。
地域課題に合わせた生活支援体制や医療と介護の切れ目のない提供を目指して取り組むこと。
※公民連携…行政と民間事業者等が目標を共有し、その実現に向け力を合わせ公共サービスの提供等を行うこと。



質問は以上で終わりです、ご協力ありがとうございました。
この調査票を、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
7月4日(金)までにポストへ投函してください。